

茨木市次世代育成支援に関するニーズ調査

結果報告書

(就学前児童・小学生児童)

平成31年（2019年）3月

茨木市

目次

I. 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査設計	1
3 回収結果	1
4 調査結果の見方	1
II. 調査結果	2
1 家族構成・保護者の就労状況などについて	2
2 平日の定期的な施設やサービス利用の状況	24
3 学童保育の利用について	31
4 子どもが病気になったときの対応について	38
5 平日の定期的な施設やサービスの利用希望について	44
6 幼稚園や保育所などの土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の利用について	48
7 仕事と子育ての両立について	52
8 就学前児童（5歳以上）の小学校就学後の放課後の過ごし方について	66
9 子どもを預かるサービスの不定期的な利用について	73
10 地域子育て支援サービスの利用について	82
11 市役所などへの要望について	89
12 子どもの生活習慣について	92
13 子どものふだんの過ごし方	94
14 子どもの地域での自然体験などへの参加などについて	95
15 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保について	98
16 子育てに対する意識について	101
17 自由意見	118
III. 調査結果からみえてきた今後の課題	122

I. 調査概要

1 調査目的

現行の「茨木市次世代育成支援行動計画」が2019年度末で終了することから、子ども・子育て支援法に基づく「子ども・子育て支援事業計画」を含めた、次世代育成支援施策の新たな計画として「茨木市次世代育成支援行動計画（第4期）」を策定することとしている。本調査は、新たな計画策定にあたって、市民の子ども・子育て支援施策の利用状況と今後の利用希望、また子育て世帯の生活実態、意見・要望などを把握することを目的に実施した。

2 調査設計

- (1) 調査地域 茨木市全域
- (2) 調査対象
 - ・市内在住の就学前児童の保護者
 - ・市内在住の小学生の保護者
- (3) 対象者数 住民基本台帳から、就学前児童の保護者 2,000 人、小学生の保護者 2,000人の合計4,000人を無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送配付及び郵送回収による郵送調査法（調査期間中に礼状兼督促はがきを送付）と、インターネット調査
- (5) 調査期間 平成30年12月13日（木）～平成30年12月27日（木）

3 回収結果

区分		配付数	回収数	回収率
就学前児童の保護者	平成30年度調査	2,000	1,139	57.0%
	平成25年度調査	2,000	1,034	51.7%
小学生の保護者	平成30年度調査	2,000	1,087	54.4%
	平成25年度調査	2,000	958	47.9%
計	平成30年度調査	4,000	2,226	55.7%
	平成25年度調査	4,000	1,992	49.8%

4 調査結果の見方

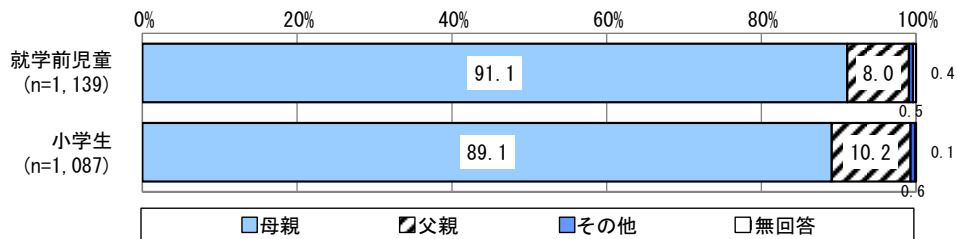
- (1) 図中の「n」は、設問に対する回答者数のことを示す。
- (2) 回答比率（%）は回答者数（n）を100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して表示している。小数点以下の端数処理の関係で、内訳の合計が計に一致しないことがある。
- (3) 複数回答（すべてに○、3つまでに○等）を依頼した質問は、回答比率（%）の計は100.0%を超える。
- (4) 図表において、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。

Ⅱ. 調査結果

1 家族構成・保護者の就労状況などについて

(1) 調査票回答者〔就学前児童・小学生…問2〕

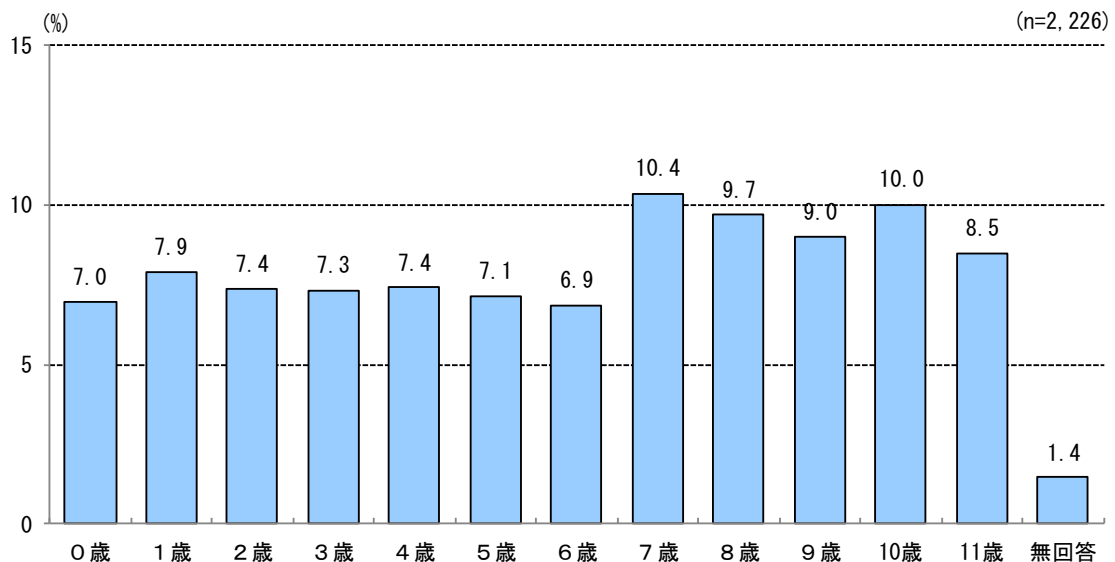
調査票回答者は、就学前児童は「母親」が91.1%を占め、「父親」が8.0%となっている。一方、小学生は、「母親」が89.1%で、「父親」は10.2%となっている。



(2) 対象の子どもの年齢・学年〔就学前児童・小学生…問3〕

就学前児童に該当する年齢（0～5歳）では、「1歳」が7.9%、「2歳」「4歳」が各々7.4%となっている。

小学生に該当する年齢（6～11歳）では、「7歳」は10.4%、「10歳」が10.0%、「8歳」が9.7%となっている。



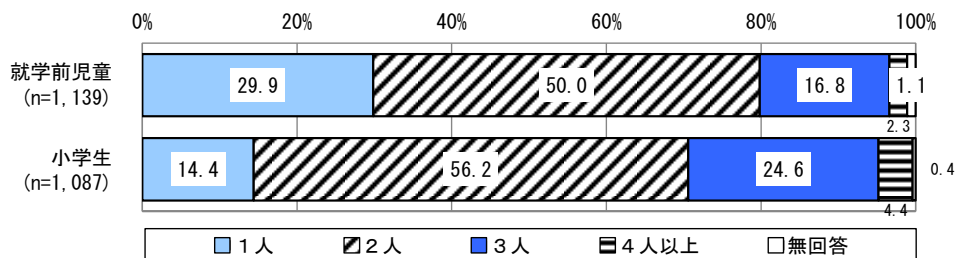
※割合は就学前児童と小学生の回答を合算して算出

(3) 子どもの人数〔就学前児童・小学生…問4〕

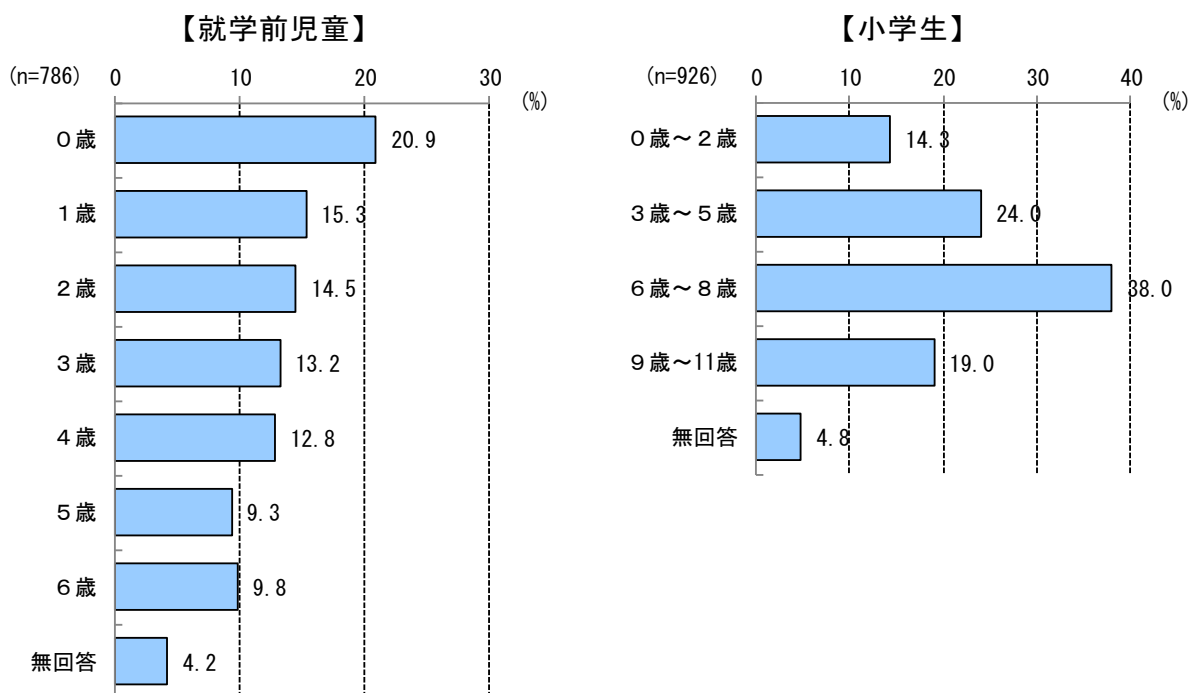
就学前児童は、「2人」が50.0%で最も多く、次いで、「1人」が29.9%、「3人」が16.8%、「4人以上」が2.3%となっている。一方、小学生も「2人」が56.2%と最も多く、次いで、「3人」が24.6%、「1人」が14.4%、「4人以上」が4.4%となっている。

末子の年齢は、就学前児童は「0歳」が20.9%と最も多く、小学生は「6～8歳」が38.0%で最も多い。

□子どもの人数

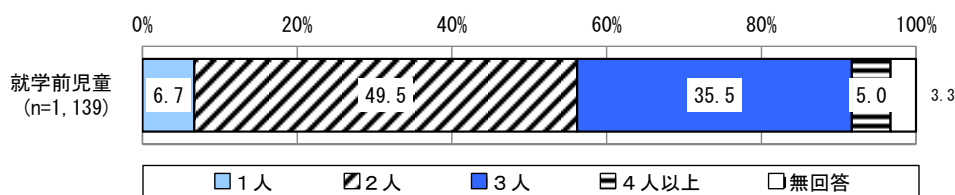


□末子の年齢



(4) 希望の子どもの数〔就学前児童…問5〕

「2人」が49.5%と最も多く、次いで、「3人」が35.5%となっている。



現在の子どもの人数 × 希望の子どもの人数別〔就学前児童〕

希望の子どもの人数別にみると、希望の子どもの人数が2人までは希望どおりの人数の子どもを生育している割合が高い。しかし、『3人』では「2人」が、『4人以上』では「3人」の各割合の方が高くなっている。

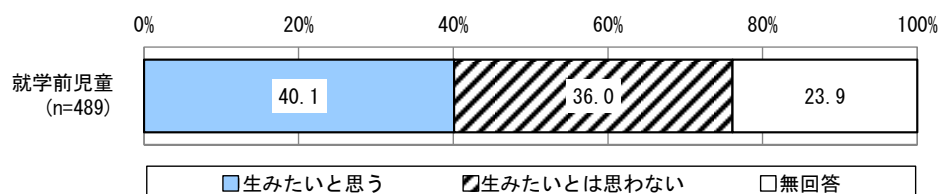
		現在の子どもの人数					
		合計	1人	2人	3人	4人以上	無回答
上段：件数 下段：%	全体	1,139	341	569	191	26	12
		100.0	29.9	50.0	16.8	2.3	1.1
希望の子どもの人数	1人	76	68	7	-	-	1
		100.0	89.5	9.2	-	-	1.3
	2人	564	215	337	8	-	4
		100.0	38.1	59.8	1.4	-	0.7
	3人	404	47	202	150	4	1
		100.0	11.6	50.0	37.1	1.0	0.2
4人以上	57	5	12	21	19	-	
	100.0	8.8	21.1	36.8	33.3	-	
無回答	38	6	11	12	3	6	
	100.0	15.8	28.9	31.6	7.9	15.8	

(5) 現在の家庭・教育環境等において、もう1人以上子どもを生むことについて

希望するお子さんの数が現在のお子さんの数より多い方

①もう1人以上子どもを生むことに対する意向〔就学前児童…問6〕

「生みたいと思う」が40.1%に対し、「生みたいと思わない」が36.0%となっている。



もう1人以上子どもを生むことに対する意向 × 希望の子どもの人数別〔就学前児童〕

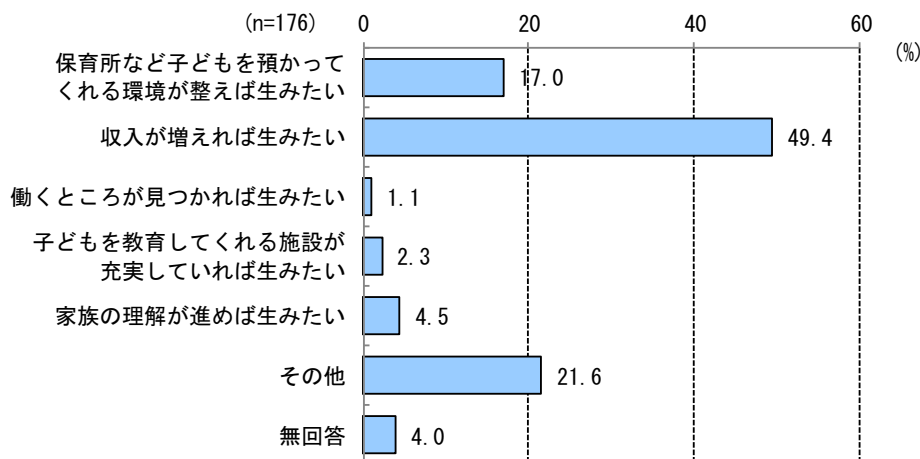
希望の子どもの人数別にみると、希望の子どもの人数が『2人』『4人以上』では「生みたいと思う」が多くなっている。希望の子どもの人数が『3人』では「生みたいとは思わない」が多い。

上段：件数 下段：%	合計	生 み た い と	生 み た い と は な い	無 回 答
全 体	506 100.0	200 39.5	186 36.8	120 23.7
2人	215 100.0	100 46.5	56 26.0	59 27.4
3人	249 100.0	82 32.9	115 46.2	52 20.9
4人以上	42 100.0	18 42.9	15 35.7	9 21.4
無回答	-	-	-	-

「①で生みたいと思わない」を選んだ方

②もう1人以上子どもを生むために必要な環境〔就学前児童…問6-1〕

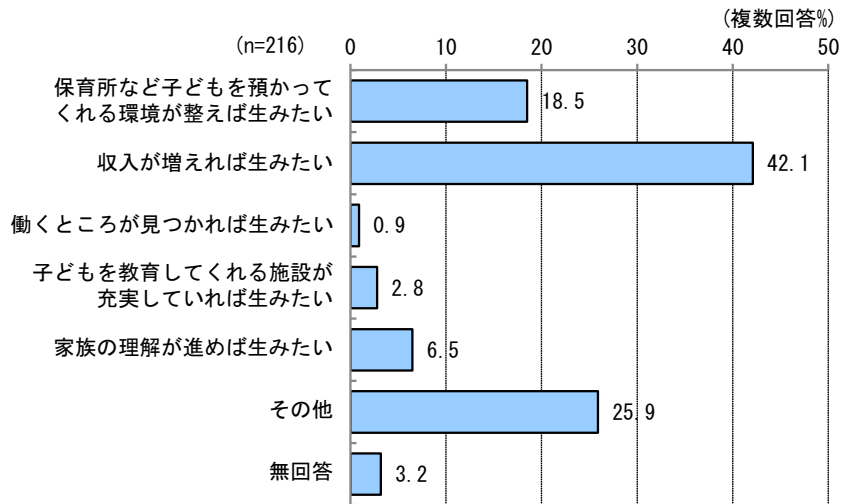
「収入が増えれば生みたい」が49.4%で最も多い。



□その他記述

	件数	%
年齢の問題(もう高齢、もっと若ければ)	16	41.0
体力・体調の問題	4	10.3
子育て支援が不十分、もっと充実すれば(医療費等)	8	20.5
家族等の子育てへの協力、家事等の負担軽減	4	10.3
子育てに対する職場の理解、協力	2	5.1
子どもを産むのがつらい、子育てに苦勞している、子どもに手がかかる	2	5.1
その他	3	7.7
合計	39	100.0

【参考】平成25年度調査



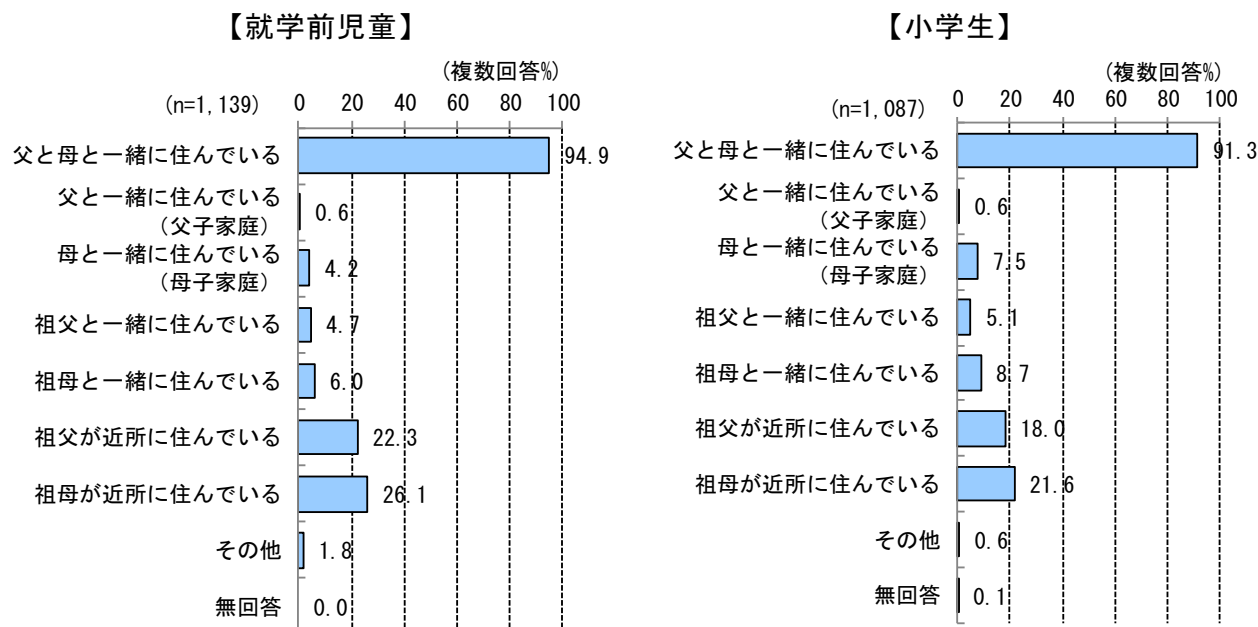
もう1人以上子どもを生むために必要な環境 × 希望の子どもの人数別〔就学前児童〕

希望の子どもの人数別にみると、希望の子どもの人数にかかわらず「収入が増えれば生きたい」が多くなっている。

上段：件数 下段：%	合計	えか保 ばつ育 生て所 みくな たれど いる子 環ど 境も がを 整預	い入 が 増 え れ ば 生 み た	ば働 生く みと たい い ろ が 見 つ か れ	ばる子 生施ど み設も たがを たい充教 実育し してて いくれ	み家 た族 たいの 理 解 が 進 め ば 生	そ の 他	無 回 答
全 体	186 100.0	32 17.2	93 50.0	2 1.1	4 2.2	8 4.3	40 21.5	7 3.8
2人	56 100.0	6 10.7	26 46.4	-	2 3.6	4 7.1	17 30.4	1 1.8
3人	115 100.0	23 20.0	62 53.9	2 1.7	2 1.7	4 3.5	18 15.7	4 3.5
4人以上	15 100.0	3 20.0	5 33.3	-	-	-	5 33.3	2 13.3
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

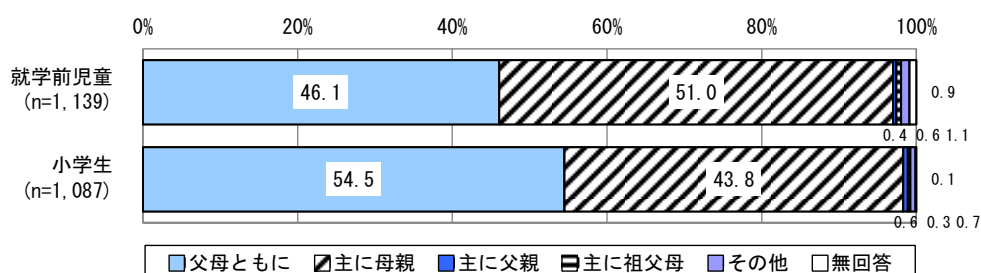
(6) 同居・近居者の状況〔就学前児童…問7、小学生…問5〕

就学前児童、小学生とも「父と母と一緒に住んでいる」が9割を占めている。父子家庭は、就学前児童、小学生とも0.6%、母子家庭は就学前児童が4.2%、小学生は7.5%となっている。



(7) 子育てや子どもの教育を主に行っている人〔就学前児童…問8、小学生…問6〕

就学前児童は、「主に母親」が51.0%で半数を超えているのに対し、小学生では「父母ともに」が54.5%となっている。

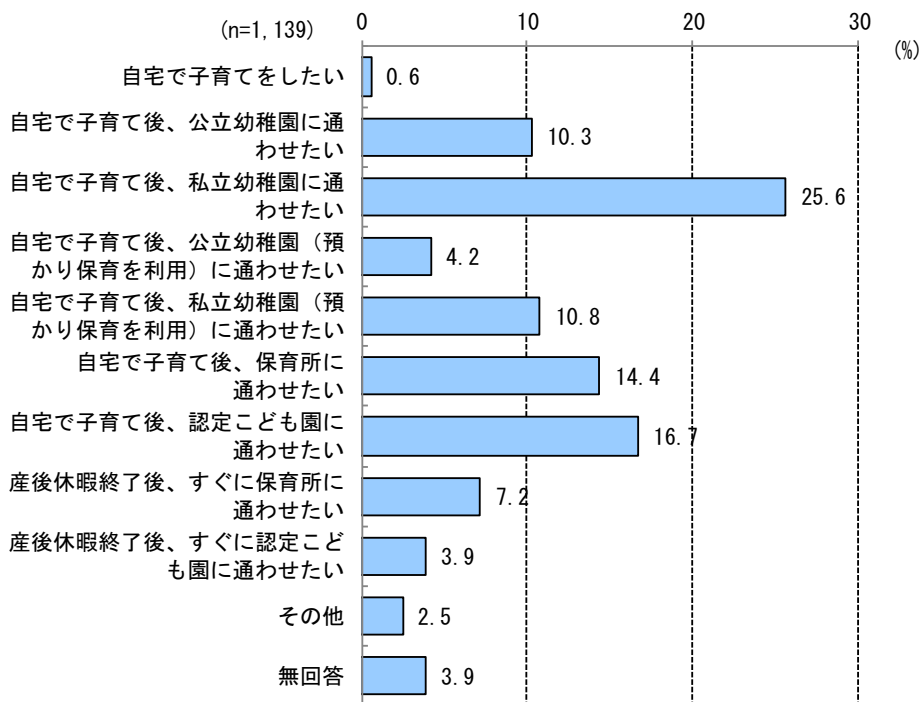


(8) 希望する子育ての環境〔就学前児童…問9〕

「自宅で子育て後、私立幼稚園に通わせたい」が25.6%で最も多い。これに次いで「自宅で子育て後、認定こども園に通わせたい」が16.7%、「自宅で子育て後、保育所に通わせたい」(14.4%)などが続く。

自宅で子育てしたい子どもの年齢をみると、『自宅で子育て後、保育所に通わせたい』は「1歳まで」(51.2%)が、『自宅で子育て後、認定こども園に通わせたい』は「1歳まで」(32.6%)と「3歳まで」(33.2%)が多い。それ以外の項目はいずれも「3歳まで」が最も多くなっている。

□希望する子育ての環境



□子育て支援施設に通わせたい子どもの年齢

上段：件数 下段：%	合計	0歳まで	1歳まで	2歳まで	3歳まで	4歳まで	5歳まで	6歳まで	無回答
自宅で子育て後、公立幼稚園に通わせたい	117 100.0	- -	1 0.9	21 17.9	75 64.1	16 13.7	2 1.7	2 1.7	- -
自宅で子育て後、私立幼稚園に通わせたい	292 100.0	- -	3 1.0	59 20.2	216 74.0	10 3.4	1 0.3	1 0.3	2 0.7
自宅で子育て後、公立幼稚園（預かり保育を利用）に通わせたい	48 100.0	- -	2 4.2	11 22.9	33 68.8	1 2.1	- -	- -	1 2.1
自宅で子育て後、私立幼稚園（預かり保育を利用）に通わせたい	123 100.0	- -	7 5.7	34 27.6	79 64.2	1 0.8	- -	1 0.8	1 0.8
自宅で子育て後、保育所に通わせたい	164 100.0	6 3.7	84 51.2	47 28.7	25 15.2	2 1.2	- -	- -	- -
自宅で子育て後、認定こども園に通わせたい	190 100.0	2 1.1	62 32.6	57 30.0	63 33.2	3 1.6	- -	1 0.5	2 1.1

希望する子育て環境 × 家庭類型別〔就学前児童〕

家庭類型別にみると、『ひとり親』は「産後休暇終了後、すぐに保育所に通わせたい」、『フルタイム共働きの家庭』では「自宅で子育て後、認定こども園に通わせたい」、『フルタイム・パートタイム共働きの家庭』と『夫婦の一方が家事に専念している家庭』では「自宅で子育て後、私立幼稚園に通わせたい」が、それぞれ最も多くなっている。

上段：件数 下段：%	合計	自宅で子育てをしたい	自宅で子育て後、公立幼稚園に通わせたい	自宅で子育て後、私立幼稚園に通わせたい	自宅で子育て後、公立幼稚園（預かり保育を利用）に通わせたい	自宅で子育て後、私立幼稚園（預かり保育を利用）に通わせたい	自宅で子育て後、保育所に通わせたい	自宅で子育て後、認定こども園に通わせたい	産後休暇終了後、すぐに保育所に通わせたい	産後休暇終了後、すぐに認定こども園に通わせたい	その他	無回答
全体	1,139 100.0	7 0.6	117 10.3	292 25.6	48 4.2	123 10.8	164 14.4	190 16.7	82 7.2	44 3.9	28 2.5	44 3.9
ひとり親	20 100.0	- -	2 10.0	1 5.0	1 5.0	3 15.0	3 15.0	1 5.0	4 20.0	2 10.0	1 5.0	2 10.0
フルタイム共働きの家庭	299 100.0	1 0.3	14 4.7	26 8.7	6 2.0	19 6.4	68 22.7	80 26.8	42 14.0	26 8.7	10 3.3	7 2.3
フルタイム・パートタイム共働きの家庭	285 100.0	1 0.4	16 5.6	67 23.5	19 6.7	33 11.6	48 16.8	48 16.8	23 8.1	9 3.2	8 2.8	13 4.6
夫婦の一方が家事に専念している家庭	405 100.0	1 0.2	69 17.0	165 40.7	17 4.2	55 13.6	25 6.2	46 11.4	6 1.5	1 0.2	7 1.7	13 3.2
その他	3 100.0	1 33.3	- -	1 33.3	- -	- -	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -
無回答	127 100.0	3 2.4	16 12.6	32 25.2	5 3.9	13 10.2	19 15.0	15 11.8	7 5.5	6 4.7	2 1.6	9 7.1

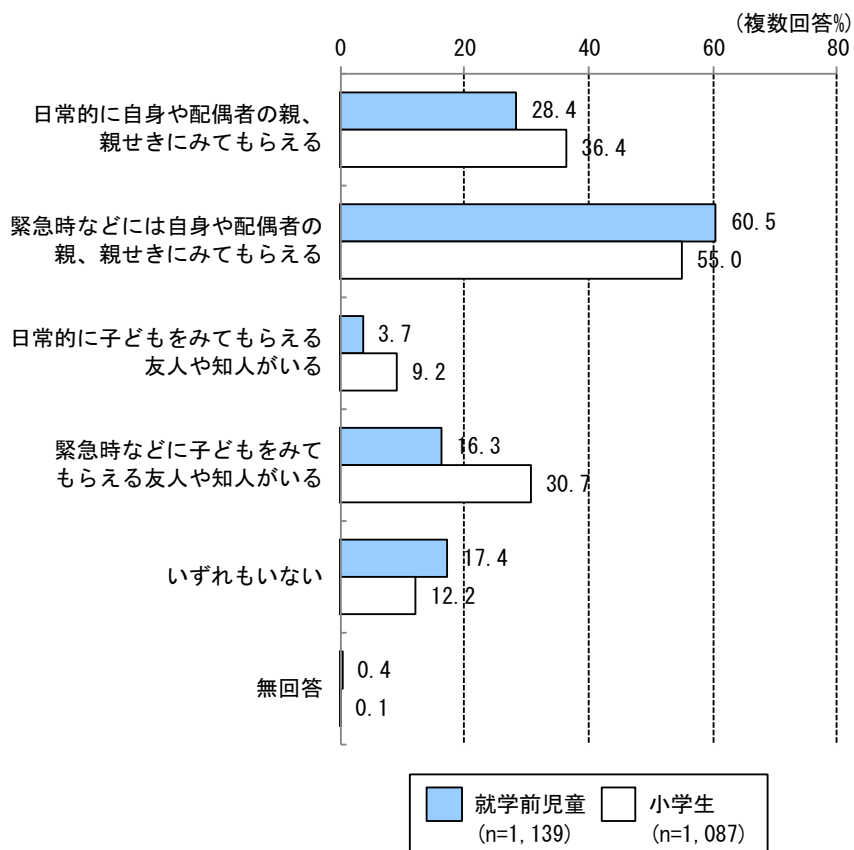
施設に通わせるまで自宅で子育てをする子どもの年齢 × 家庭類型別〔就学前児童〕

家庭類型別にみると、『フルタイム共働きの家庭』で「1歳まで」が最も多く、それ以外では「3歳まで」が最も多くなっている。

上段：件数 下段：%	合計	0歳まで	1歳まで	2歳まで	3歳まで	4歳まで	5歳まで	6歳まで	無回答
全体	934 100.0	8 0.9	159 17.0	229 24.5	491 52.6	33 3.5	3 0.3	5 0.5	6 0.6
ひとり親	11 100.0	- -	1 9.1	4 36.4	6 54.5	- -	- -	- -	- -
フルタイム共働きの家庭	213 100.0	4 1.9	85 39.9	53 24.9	60 28.2	6 2.8	1 0.5	1 0.5	3 1.4
フルタイム・パートタイム共働きの家庭	231 100.0	3 1.3	41 17.7	61 26.4	118 51.1	5 2.2	1 0.4	1 0.4	1 0.4
夫婦の一方が家事に専念している家庭	377 100.0	- -	16 4.2	84 22.3	256 67.9	17 4.5	1 0.3	2 0.5	1 0.3
その他	2 100.0	- -	1 50.0	- -	1 50.0	- -	- -	- -	- -
無回答	100 100.0	1 1.0	15 15.0	27 27.0	50 50.0	5 5.0	- -	1 1.0	1 1.0

(9) 日頃、子どもの面倒をみてもらえる人の有無〔就学前児童…問10、小学生…問7〕

就学前児童、小学生とも「緊急時などには自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」（就学前60.5%、小学生55.0%）が最も多く、これに次いで「日常的に自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」（就学前28.4%、小学生36.4%）となっている。「緊急時などに子どもをみてもらえる友人や知人がいる」の割合は、就学前児童（16.3%）に比べ、小学生（30.7%）のほうが14.4ポイント高い。



日頃、子どもの面倒をみてもらえる人の有無 × 子どもの年齢別〔就学前児童〕

子どもの年齢別にみると、年齢に関わらず「緊急時などには自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が最も多くなっている。

【就学前児童】 上段：件数 下段：%	合計	えせ配日 るき偶常 に者の的 みにの て親、自 も、身 ら親や えせ配 るき偶 に者に みの	て親、自 も、身 ら親や えせ配 るき偶 に者に みの	る友を日 人み常 やて的 知もに 人ら子 がえど いるも る友を 人みや やてど 知もに 人ら子	がえど緊 いるも急 る友を時 人みや やてな 知もに 人ら子	い ず れ も い ない	無 回 答
全 体	1,139 100.0	323 28.4	689 60.5	42 3.7	186 16.3	198 17.4	5 0.4
0 歳	155 100.0	36 23.2	104 67.1	5 3.2	13 8.4	26 16.8	-
1 歳	176 100.0	51 29.0	105 59.7	8 4.5	15 8.5	43 24.4	1 0.6
2 歳	164 100.0	45 27.4	103 62.8	2 1.2	25 15.2	25 15.2	1 0.6
3 歳	163 100.0	55 33.7	99 60.7	5 3.1	29 17.8	28 17.2	-
4 歳	165 100.0	49 29.7	100 60.6	8 4.8	36 21.8	21 12.7	1 0.6
5 歳	159 100.0	42 26.4	95 59.7	2 1.3	31 19.5	27 17.0	1 0.6
6 歳	149 100.0	41 27.5	81 54.4	12 8.1	36 24.2	27 18.1	-
無回答	8 100.0	4 50.0	2 25.0	-	1 12.5	1 12.5	1 12.5

日頃、子どもの面倒をみてもらえる人の有無 × 子どもの学年別〔小学生〕

子どもの学年別にみると、低学年・高学年に関わらず「緊急時などには自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が最も多くなっている。

【小学生】 上段：件数 下段：%	合計	えせ配日 るき偶常 に者の的 みにの て親、自 も、身 ら親や えせ配 るき偶 に者に みの	て親、自 も、身 ら親や えせ配 るき偶 に者に みの	る友を日 人み常 やて的 知もに 人ら子 がえど いるも る友を 人みや やてど 知もに 人ら子	がえど緊 いるも急 る友を時 人みや やてな 知もに 人ら子	い ず れ も い ない	無 回 答
全 体	1,087 100.0	396 36.4	598 55.0	100 9.2	334 30.7	133 12.2	1 0.1
低学年	451 100.0	158 35.0	244 54.1	38 8.4	135 29.9	58 12.9	-
高学年	612 100.0	228 37.3	341 55.7	58 9.5	194 31.7	72 11.8	-
無回答	24 100.0	10 41.7	13 54.2	4 16.7	5 20.8	3 12.5	1 4.2

日頃、子どもの面倒をみてもらえる人の有無 × 家庭類型別

□就学前児童

家庭類型別にみると、どの家庭類型でも「緊急時などには自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が最も多くなっている。

【就学前児童】 上段：件数 下段：%	合計	えせ配日常 るき偶常 に者的 みにの て親自 も身急 ら親や えせ配 るき偶 に者に みのは	て親自緊 も身急 ら親や えせ配 るき偶 に者に みのは	る友を日 人み常 やて的 知もに 人ら子 がえど いるも	がえど緊 いるも急 友を時 人みな やてど 知もに 人ら子	い ず れ も い ない	無 回 答
全 体	1,139 100.0	323 28.4	689 60.5	42 3.7	186 16.3	198 17.4	5 0.4
ひとり親	20 100.0	7 35.0	10 50.0	- -	2 10.0	4 20.0	- -
フルタイム共働きの家庭	299 100.0	66 22.1	192 64.2	3 1.0	29 9.7	52 17.4	2 0.7
フルタイム・パートタイム 共働きの家庭	285 100.0	88 30.9	157 55.1	13 4.6	51 17.9	55 19.3	1 0.4
夫婦の一方が家事に 専念している家庭	405 100.0	108 26.7	255 63.0	15 3.7	78 19.3	74 18.3	- -
その他	3 100.0	1 33.3	3 100.0	1 33.3	- -	- -	- -
無回答	127 100.0	53 41.7	72 56.7	10 7.9	26 20.5	13 10.2	2 1.6

□小学生

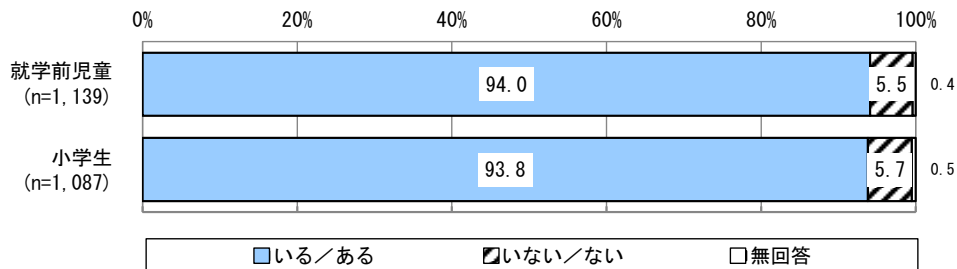
家庭類型別にみると、どの家庭類型でも「緊急時などには自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が最も多くなっている。『フルタイム共働き家庭』では「緊急時などに子どもをみてもらえる友人や知人がいる」の割合が低い。

【小学生】 上段：件数 下段：%	合計	えせ配日常 るき偶常 に者的 みにの て親自 も身急 ら親や えせ配 るき偶 に者に みのは	て親自緊 も身急 ら親や えせ配 るき偶 に者に みのは	る友を日 人み常 やて的 知もに 人ら子 がえど いるも	がえど緊 いるも急 友を時 人みな やてど 知もに 人ら子	い ず れ も い ない	無 回 答
全 体	1,087 100.0	396 36.4	598 55.0	100 9.2	334 30.7	133 12.2	1 0.1
ひとり親	40 100.0	7 17.5	22 55.0	3 7.5	12 30.0	7 17.5	- -
フルタイム共働きの家庭	204 100.0	79 38.7	100 49.0	13 6.4	45 22.1	30 14.7	- -
フルタイム・パートタイム 共働きの家庭	467 100.0	146 31.3	275 58.9	44 9.4	149 31.9	53 11.3	- -
夫婦の一方が家事に 専念している家庭	232 100.0	85 36.6	132 56.9	25 10.8	90 38.8	28 12.1	- -
その他	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	- -
無回答	142 100.0	78 54.9	68 47.9	14 9.9	37 26.1	14 9.9	1 0.7

(10) 子育てや子どもの教育についての相談の状況

①気軽に相談できる人や場所の有無〔就学前児童…問11、小学生…問8〕

就学前児童、小学生とも「いる／ある」が9割を占めているが、「いない／ない」と回答した保護者が6%程度存在する。



子育てや教育についての相談先の有無 × 家庭類型別

□就学前児童

家庭類型別にみると、どの家庭類型でも「いる／ある」が最も多くなっている。

【就学前児童】 上段：件数 下段：%	合計	／い ある	／い ない	無 回 答
全 体	1,139 100.0	1,071 94.0	63 5.5	5 0.4
ひとり親	20 100.0	20 100.0	-	-
フルタイム共働きの家庭	299 100.0	275 92.0	24 8.0	-
フルタイム・パートタイム 共働きの家庭	285 100.0	269 94.4	15 5.3	1 0.4
夫婦の一方が家事に 専念している家庭	405 100.0	383 94.6	22 5.4	-
その他	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-
無回答	127 100.0	122 96.1	1 0.8	4 3.1

□小学生

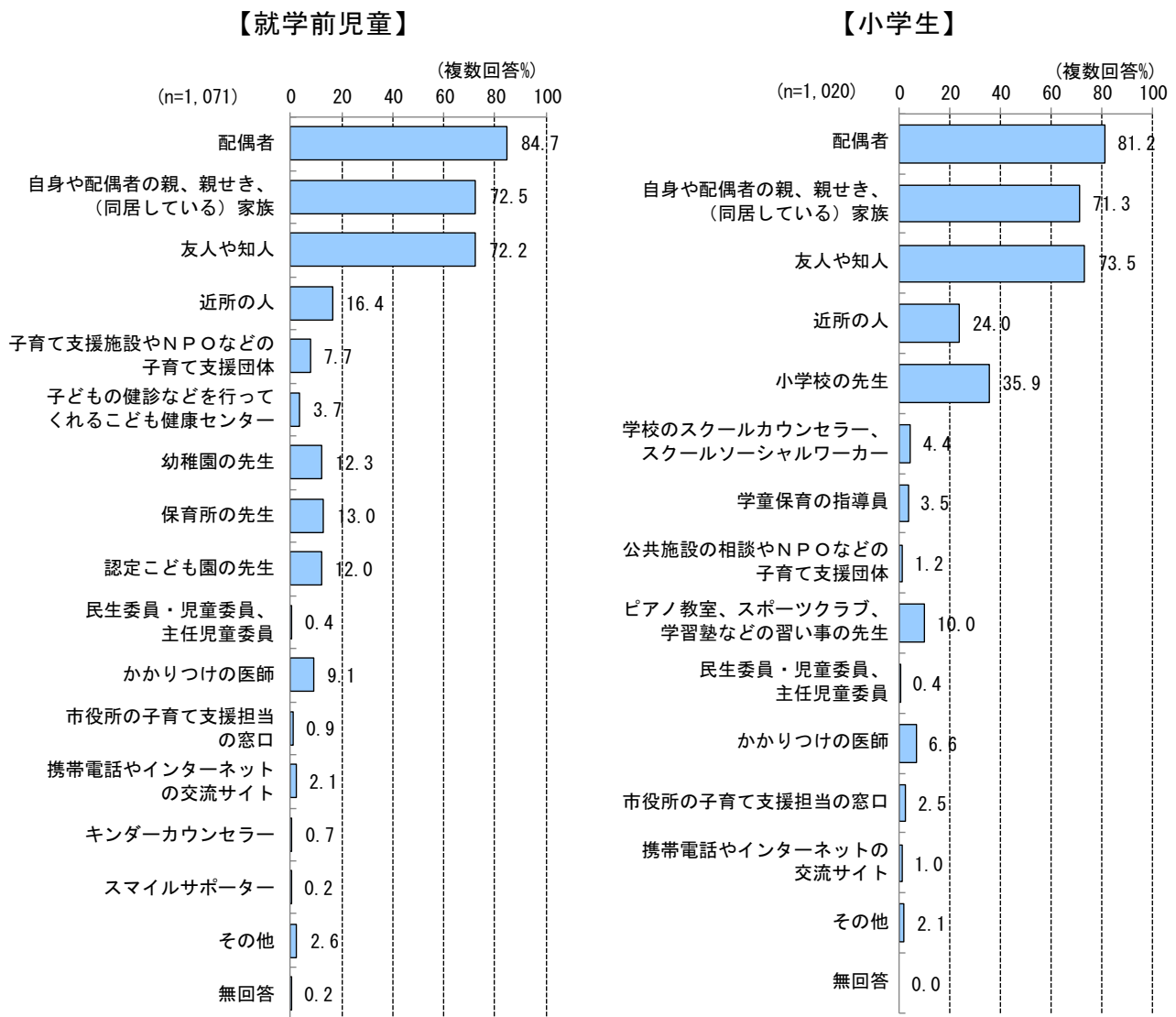
家庭類型別にみると、どの家庭類型でも「いる／ある」が最も多くなっている。

【小学生】 上段：件数 下段：%	合計	／い ある	／い ない	無 回 答
全 体	1,087 100.0	1020 93.8	62 5.7	5 0.5
ひとり親	40 100.0	37 92.5	2 5.0	1 2.5
フルタイム共働きの家庭	204 100.0	185 90.7	19 9.3	-
フルタイム・パートタイム 共働きの家庭	467 100.0	452 96.8	15 3.2	-
夫婦の一方が家事に 専念している家庭	232 100.0	215 92.7	16 6.9	1 0.4
その他	2 100.0	2 100.0	-	-
無回答	142 100.0	129 90.8	10 7.0	3 2.1

①で「いる／ある」を選んだ方

②具体的な相談先〔就学前児童…問11-1、小学生…問8-1〕

就学前児童、小学生とも「配偶者」がそれぞれ8割を占め最も多い。これに次いで、就学前児童、小学生とも「ご自身や配偶者の親、親せき、(同居している)家族」(就学前72.5%、小学生71.3%)、「友人や知人」(就学前72.2%、小学生73.5%)が上位となっている。



具体的な相談先 × 家庭類型別

□就学前児童

家庭類型別にみると、『ひとり親』では「ご自身や配偶者の親、親せき、(同居している)家族」が最も多くなっている。それ以外の家庭類型では「配偶者」が最も多くなっている。

【就学前児童】 上段：件数 下段：%	合計	配偶者 (同居している)家族	自身や配偶者の親、親せき	友人や知人	近所の人	子育て支援施設やNPOなどの子育て支援団体	子どもの健診などを行うことができる子ども健康センター	幼稚園の先生	保育所の先生	認定こども園の先生	児童委員・児童委員、主任	民生委員・児童委員、主任	かかりつけの医師	窓口	市役所の子育て支援担当の窓口	携帯電話やインターネットの交流サイト	キンダーカウンセラー	スマイルサポーター	その他	無回答
全体	1,071 100.0	907 84.7	777 72.5	773 72.2	176 16.4	82 7.7	40 3.7	132 12.3	139 13.0	129 12.0	4 0.4	97 9.1	10 0.9	22 2.1	7 0.7	2 0.2	28 2.6	2 0.2		
ひとり親	20 100.0	1 5.0	13 65.0	10 50.0	1 5.0	-	-	2 10.0	6 30.0	1 5.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2 10.0	-
フルタイム共働きの家庭	275 100.0	250 90.9	204 74.2	188 68.4	29 10.5	19 6.9	9 3.3	9 3.3	69 25.1	65 23.6	1 0.4	29 10.5	2 0.7	7 2.5	-	2 0.7	-	2 0.7	8 2.9	-
フルタイム・パートタイム共働きの家庭	269 100.0	229 85.1	183 68.0	206 76.6	51 19.0	12 4.5	5 1.9	41 15.2	39 14.5	36 13.4	-	19 7.1	3 1.1	5 1.9	2 0.7	-	-	-	5 1.9	-
夫婦の一方が家事に専念している家庭	383 100.0	342 89.3	294 76.8	279 72.8	77 20.1	45 11.7	21 5.5	66 17.2	2 0.5	17 4.4	3 0.8	35 9.1	4 1.0	8 2.1	5 1.3	-	-	-	9 2.3	1 0.3
その他	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
無回答	122 100.0	84 68.9	82 67.2	90 73.8	18 14.8	6 4.9	5 4.1	14 11.5	23 18.9	10 8.2	-	14 11.5	1 0.8	2 1.6	-	-	-	-	4 3.3	-

□小学生

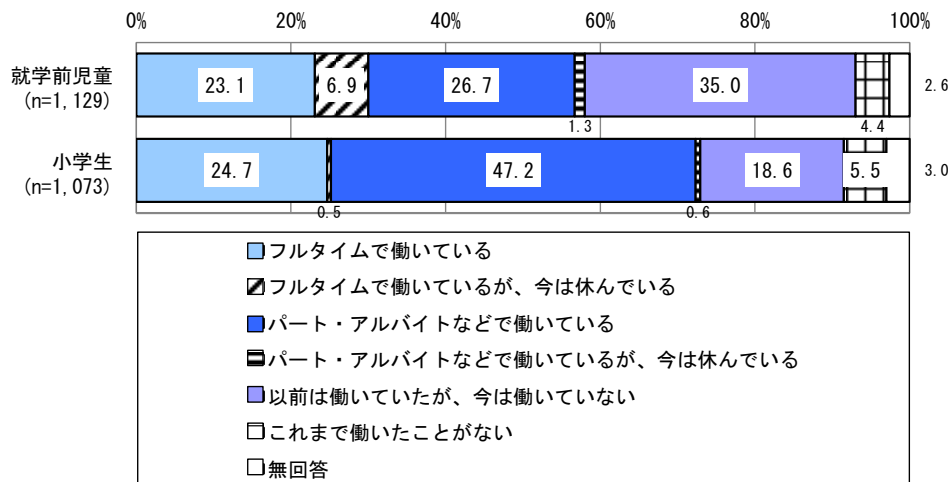
家庭類型別にみると、『ひとり親』では「友人や知人」が最も多くなっている。それ以外の家庭類型では「配偶者」が最も多くなっている。

【小学生】 上段：件数 下段：%	合計	配偶者 (同居している)家族	自身や配偶者の親、親せき	友人や知人	近所の人	小学校の先生	学校のスクールソーシャルワーカー、スクールソーシャルカウンセラー	学童保育の指導員	公共施設の相談やNPOなどの子育て支援団体	ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾などの習い事の先生	児童委員・児童委員、主任	民生委員・児童委員、主任	かかりつけの医師	市役所の子育て支援担当の窓口	携帯電話やインターネットの交流サイト	その他	無回答
全体	1,020 100.0	828 81.2	727 71.3	750 73.5	245 24.0	366 35.9	45 4.4	36 3.5	12 1.2	102 10.0	4 0.4	67 6.6	25 2.5	10 1.0	21 2.1	-	-
ひとり親	37 100.0	1 2.7	24 64.9	26 70.3	7 18.9	13 35.1	2 5.4	-	2 5.4	5 13.5	-	-	2 5.4	1 2.7	-	2 5.4	-
フルタイム共働きの家庭	185 100.0	160 86.5	120 64.9	130 70.3	39 21.1	54 29.2	7 3.8	18 9.7	2 1.1	16 8.6	2 1.1	11 5.9	2 1.1	-	6 3.2	-	-
フルタイム・パートタイム共働きの家庭	452 100.0	399 88.3	327 72.3	345 76.3	109 24.1	172 38.1	20 4.4	12 2.7	3 0.7	40 8.8	-	31 6.9	12 2.7	6 1.3	8 1.8	-	-
夫婦の一方が家事に専念している家庭	215 100.0	195 90.7	161 74.9	159 74.0	66 30.7	79 36.7	11 5.1	1 0.5	4 1.9	31 14.4	-	16 7.4	2 0.9	2 0.9	-	-	-
その他	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-	-
無回答	129 100.0	71 55.0	93 72.1	88 68.2	24 18.6	47 36.4	5 3.9	5 3.9	1 0.8	10 7.8	2 1.6	7 5.4	3 2.3	2 1.6	3 2.3	-	-

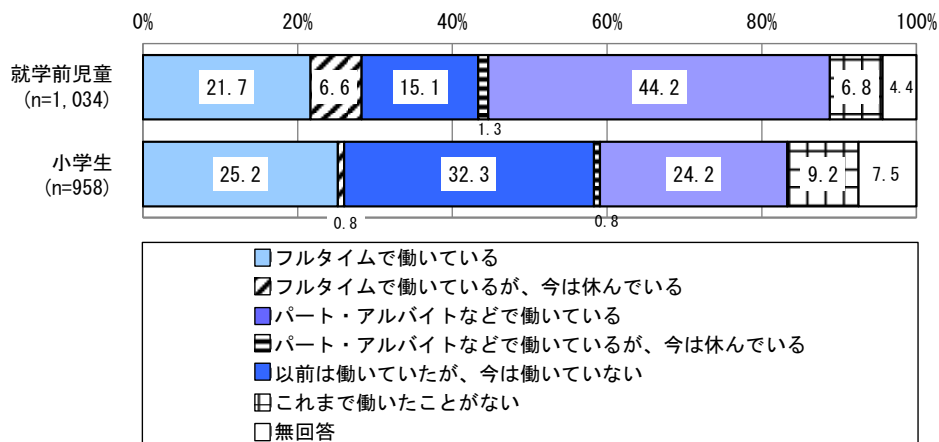
(11) 母親の就労状況

① 就労形態〔就学前児童…問12、小学生…問9〕

就学前児童の母で、育休等で休んでいる場合を含めた就労者は58.0%で、そのうちフルタイム就労者が30.0%、パート等就労者が28.0%となっている。一方、「以前は働いていたが、今は働いていない」が35.0%となっている。一方、小学生の母の就労者は73.0%で、そのうちパート等の就労者が47.8%となっており、就学前児童の母に比べ非正規雇用の割合が高い。



【参考】平成25年度調査



母親の就労状況 × 一緒に住んでいる人別

□就学前児童

一緒に住んでいる人別にみると、『母と一緒に住んでいる（母子家庭）』『祖父と一緒に住んでいる』『祖母と一緒に住んでいる』では「フルタイムで働いている」が最も多いが、それ以外は「以前は働いていたが、今は働いていない」が最も多い。

【就学前児童】 上段：件数 下段：%	合計	フルタイムで働いている	フルタイムで働いているが、今は休んでいる	パート・アルバイトで働いている	パート・アルバイトで働いているが、今は休んでいる	以前は働いていたが、今は働いていない	これまで働いたことがない	無回答
全体	1,129 100.0	261 23.1	78 6.9	301 26.7	15 1.3	395 35.0	50 4.4	29 2.6
父と母と一緒に住んでいる	1,081 100.0	238 22.0	78 7.2	287 26.5	15 1.4	386 35.7	48 4.4	29 2.7
父と一緒に住んでいる (父子家庭)	-	-	-	-	-	-	-	-
母と一緒に住んでいる (母子家庭)	48 100.0	23 47.9	-	14 29.2	-	9 18.8	2 4.2	-
祖父と一緒に住んでいる	51 100.0	16 31.4	4 7.8	14 27.5	-	12 23.5	3 5.9	2 3.9
祖母と一緒に住んでいる	62 100.0	19 30.6	7 11.3	18 29.0	-	13 21.0	3 4.8	2 3.2
祖父が近所に住んでいる	254 100.0	55 21.7	17 6.7	66 26.0	8 3.1	91 35.8	11 4.3	6 2.4
祖母が近所に住んでいる	296 100.0	56 18.9	21 7.1	77 26.0	9 3.0	104 35.1	20 6.8	9 3.0
その他	17 100.0	4 23.5	2 11.8	4 23.5	-	6 35.3	1 5.9	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

□小学生

一緒に住んでいる人別にみると、『母と一緒に住んでいる（母子家庭）』は「フルタイムで働いている」が最も多いが、それ以外は「パート・アルバイトなどで働いている」が最も多い。

【小学生】 上段：件数 下段：%	合計	フルタイムで働いている	フルタイムで働いているが、今は休んでいる	パート・アルバイトで働いている	パート・アルバイトで働いているが、今は休んでいる	以前は働いていたが、今は働いていない	これまで働いたことがない	無回答
全体	1,074 100.0	266 24.8	5 0.5	506 47.1	6 0.6	200 18.6	59 5.5	32 3.0
父と母と一緒に住んでいる	992 100.0	217 21.9	4 0.4	483 48.7	6 0.6	194 19.6	59 5.9	29 2.9
父と一緒に住んでいる (父子家庭)	-	-	-	-	-	-	-	-
母と一緒に住んでいる (母子家庭)	82 100.0	49 59.8	1 1.2	23 28.0	-	6 7.3	-	3 3.7
祖父と一緒に住んでいる	54 100.0	15 27.8	-	25 46.3	-	5 9.3	4 7.4	5 9.3
祖母と一緒に住んでいる	93 100.0	31 33.3	-	45 48.4	1 1.1	6 6.5	6 6.5	4 4.3
祖父が近所に住んでいる	194 100.0	44 22.7	1 0.5	87 44.8	-	41 21.1	14 7.2	7 3.6
祖母が近所に住んでいる	233 100.0	59 25.3	1 0.4	103 44.2	-	45 19.3	17 7.3	8 3.4
その他	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

①で「フルタイム」または「パート・アルバイト」を選んだ方（休業中の方も含む）

②週あたりの就労日数と1日あたりの就労時間〔就学前児童…問12-1、小学生…問9-1〕

週あたりの就労日数は、就学前児童の母では「5日」が57.3%で最も多く、次いで「4日」の17.3%である。小学生の母も「5日」が48.7%で最も多く、就学前児童に比べ「3日」「4日」の各割合が高くなっている。

1日あたりの就労時間は、就学前児童の母では「6時間～8時間未満」が36.8%で最も多く、次いで「8時間～10時間未満」が30.7%となっている。小学生の母では「4時間～6時間未満」（30.6%）と「6時間～8時間未満」（29.0%）が各3割程度となっている。

□週あたりの就労日数

【母親】 就労日数	就学前児童 (n=655)		小学生 (n=782)	
	件数	%	件数	%
1日	14	2.1	13	1.7
2日	22	3.4	37	4.7
3日	47	7.2	104	13.3
4日	113	17.3	175	22.4
5日	375	57.3	381	48.7
6日	67	10.2	52	6.6
7日	5	0.8	3	0.4
無回答	12	1.8	17	2.2

□1日あたりの就労時間

【母親】 就労時間	就学前児童 (n=655)		小学生 (n=782)	
	件数	%	件数	%
4時間未満	37	5.6	46	5.9
4時間～6時間未満	122	18.6	239	30.6
6時間～8時間未満	241	36.8	227	29.0
8時間～10時間未満	201	30.7	211	27.0
10時間以上	29	4.4	27	3.5
無回答	25	3.8	32	4.1

①で「フルタイム」または「パート・アルバイト」を選んだ方（休業中の方も含む）

③家を出る時間と帰宅時間〔就学前児童…問12-2、小学生…問9-2〕

家を出る時間は、就学前児童の母では「8時台」が42.1%で最も多く、次いで「7時台」の31.0%である。小学生の母も「8時台」が50.6%で最も多くなっている。

帰宅時間は、就学前児童の母では「18時台」が32.1%で最も多く、次いで「17時台」の21.2%である。小学生の母の場合は、帰宅時間にばらつきがあり、「18時台」が20.8%で最も多くなっている。

□家を出る時間

【母親】 出発時間	就学前児童 (n=655)		小学生 (n=782)	
	件数	%	件数	%
7時より前	23	3.5	21	2.7
7時台	203	31.0	148	18.9
8時台	276	42.1	396	50.6
9時台	75	11.5	132	16.9
10時以降	36	5.5	47	6.0
無回答	42	6.4	38	4.9

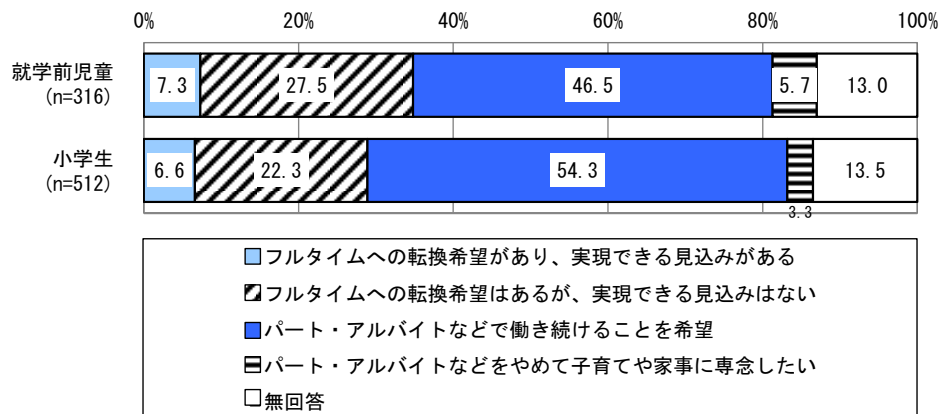
□帰宅時間

【母親】 帰宅時間	就学前児童 (n=655)		小学生 (n=782)	
	件数	%	件数	%
14時より前	38	5.8	82	10.5
14時台	44	6.7	75	9.6
15時台	35	5.3	95	12.1
16時台	32	4.9	74	9.5
17時台	139	21.2	140	17.9
18時台	210	32.1	163	20.8
19時以降	115	17.6	115	14.7
無回答	42	6.4	38	4.9

①で「パート・アルバイト」を選んだ方（休業中の方も含む）

④パート・アルバイト就労者のフルタイムへの転換希望〔就学前児童…問14、小学生…問11〕

現在、パート・アルバイトで働く母の中で、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」する割合は就学前児童、小学生とも半数前後を占めている。一方、フルタイムへ転換希望のある割合は、就学前児童の母では34.8%、小学生の母では28.9%で、いずれも「実現できる見込みはない」の割合が高い。

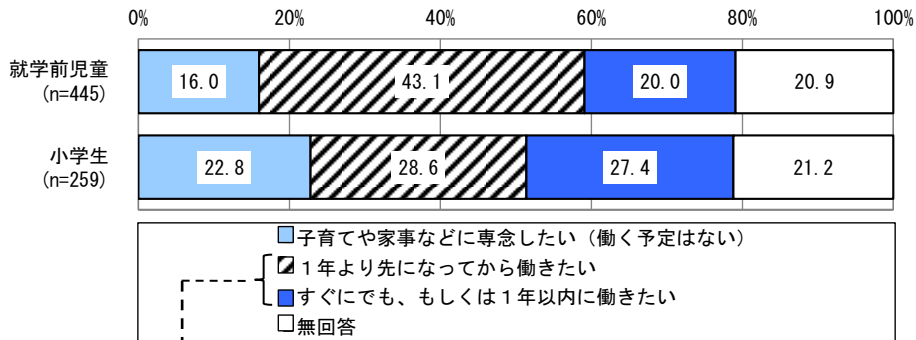


①で「働いていない」を選んだ方

⑤無職の人の就労希望の状況〔就学前児童…問15、小学生…問12〕

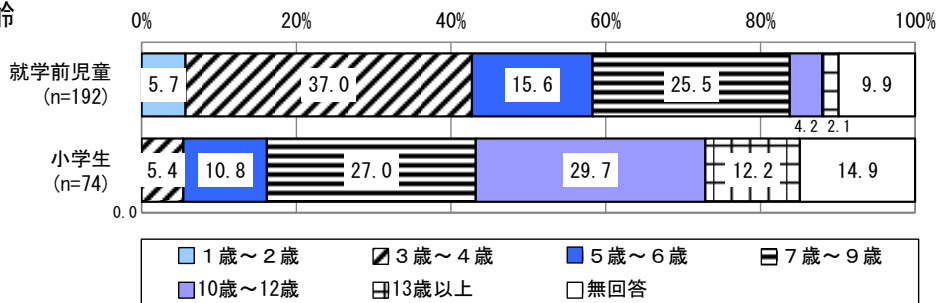
現在働いていない母で、今後就労希望がある割合は、就学前児童では63.1%で、小学生では56.0%となっている。就学前児童の母で就労希望がある人では、1年より先で、一番下の子どもが3～4歳になったところに働きたいという割合が37.0%で最も高い。また小学生の母では、1年より先で、一番下の子どもが7歳～12歳になったところに働きたいという割合が56.7%と高くなっている。

希望する就労形態としては、就学前児童・小学生とも、週に3～4日程度、1日あたり「4時間～6時間未満」ぐらいの「パートタイム、アルバイトなど」が多くなっている。



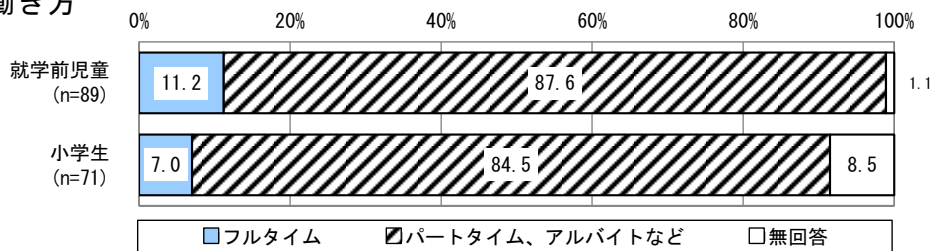
「1年より先になってから働きたい」を選んだ方の

* 末子の年齢



「すぐにも、もしくは1年以内に働きたい」を選んだ方の

* 希望する働き方



* 1週当たりの就労希望日数

【母親】 就労日数	就学前児童 (n=78)		小学生 (n=60)	
	件数	%	件数	%
1日	-	-	1	1.7
2日	8	10.3	6	10.0
3日	30	38.5	24	40.0
4日	28	35.9	19	31.7
5日	10	12.8	8	13.3
6日	-	-	-	-
7日	-	-	-	-
無回答	2	2.6	2	3.3

* 1日当たりの就労希望時間

【母親】 就労時間	就学前児童 (n=78)		小学生 (n=60)	
	件数	%	件数	%
4時間未満	4	5.1	2	3.3
4時間～6時間未満	62	79.5	44	73.3
6時間～8時間未満	8	10.3	12	20.0
8時間～10時間未満	1	1.3	1	1.7
10時間以上	-	-	-	-
無回答	3	3.8	1	1.7

(12) 父親の就労状況

① 就労形態〔就学前児童…問13、小学生…問10〕

就学前児童、小学生のいずれも、育休等で休んでいる場合を含めた就労する父は9割を占めている。

(※父親のグラフ作成は、サンプル数が少ないため割愛しております)

父親の就労状況	(%)	
	就学前児童 n=1,088	小学生 n=998
フルタイムで働いている	92.6	91.7
フルタイムで働いているが、今は休んでいる	0.2	0.2
パート・アルバイトなどで働いている	0.8	1.0
パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる	-	-
以前は働いていたが、今は働いていない	0.3	0.4
これまで働いたことがない	0.1	0.2
無回答	6.1	6.5

①で「フルタイム」または「パート・アルバイト」を選んだ方（休業中の方も含む）

② 週あたりの就労日数と1日あたりの就労時間〔就学前児童…問13-1、小学生…問10-1〕

週あたりの就労日数は、就学前児童、小学生のいずれも「5日」が最も多く、次いで「6日」となっている。

1日あたりの就労時間は、就学前児童、小学生のいずれも「10時間以上」が5割を占め、次いで「8時間～10時間未満」となっている。

□ 週あたりの就労日数

【父親】 就労日数	就学前児童 (n=1,018)		小学生 (n=927)	
	件数	%	件数	%
1日	1	0.1	1	0.1
2日	4	0.4	1	0.1
3日	10	1.0	3	0.3
4日	4	0.4	6	0.6
5日	631	62.0	592	63.9
6日	316	31.0	274	29.6
7日	33	3.2	29	3.1
無回答	19	1.9	21	2.3

□ 1日あたりの就労時間

【父親】 就労時間	就学前児童 (n=1,018)		小学生 (n=927)	
	件数	%	件数	%
4時間未満	-	-	-	-
4時間～6時間未満	3	0.3	5	0.5
6時間～8時間未満	25	2.5	28	3.0
8時間～10時間未満	411	40.4	386	41.6
10時間以上	536	52.7	467	50.4
無回答	43	4.2	41	4.4

①で「フルタイム」または「パート・アルバイト」を選んだ方（休業中の方も含む）

③家を出る時間と帰宅時間〔就学前児童…問13-2、小学生…問10-2〕

家を出る時間は、就学前児童の父、小学生の父とも「7時台」が4割台で最も多くなっている。

帰宅時間は、就学前児童の父、小学生の父とも「19時以降」が8割前後を占めている。

□家を出る時間

【父親】 出発時間	就学前児童 (n=1,018)		小学生 (n=927)	
	件数	%	件数	%
7時より前	218	21.4	226	24.4
7時台	437	42.9	401	43.3
8時台	238	23.4	197	21.3
9時台	46	4.5	26	2.8
10時以降	41	4.0	30	3.2
無回答	38	3.7	47	5.1

□帰宅時間

【父親】 帰宅時間	就学前児童 (n=1,018)		小学生 (n=927)	
	件数	%	件数	%
14時より前	3	0.3	21	2.3
14時台	3	0.3	2	0.2
15時台	2	0.2	-	-
16時台	8	0.8	10	1.1
17時台	29	2.8	39	4.2
18時台	100	9.8	83	9.0
19時以降	835	82.0	725	78.2
無回答	38	3.7	47	5.1

①「パート・アルバイト」を選んだ方（休業中の方も含む）

④パート・アルバイト就労者のフルタイムへの転換希望〔就学前児童…問14、小学生…問11〕

現在、パート・アルバイトで働く父の中で、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」する割合が就学前児童で22.2%（2人）、小学生で30.0%（3人）となっている。

一方、フルタイムへ転換希望のある割合は、就学前児童の父では77.7%（7人）、小学生の父では60.0%（6人）となっている。

（※父親のグラフ作成は、サンプル数が少ないため割愛しております）

【父親】 フルタイムへの転換希望	就学前児童 (n=9)		小学生 (n=10)	
	件数	%	件数	%
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	4	44.4	-	-
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	3	33.3	6	60.0
パート・アルバイトなどで働き続けることを希望	2	22.2	3	30.0
パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい	-	-	-	-
無回答	-	-	1	10.0

①で「働いていない」を選んだ方

⑤無職の人の就労希望の状況〔就学前児童…問15、小学生…問12〕

現在働いていない父で、今後就労希望がある割合は、就学前児童では50.0%（2人）で、小学生では33.4%（2人）となっている。

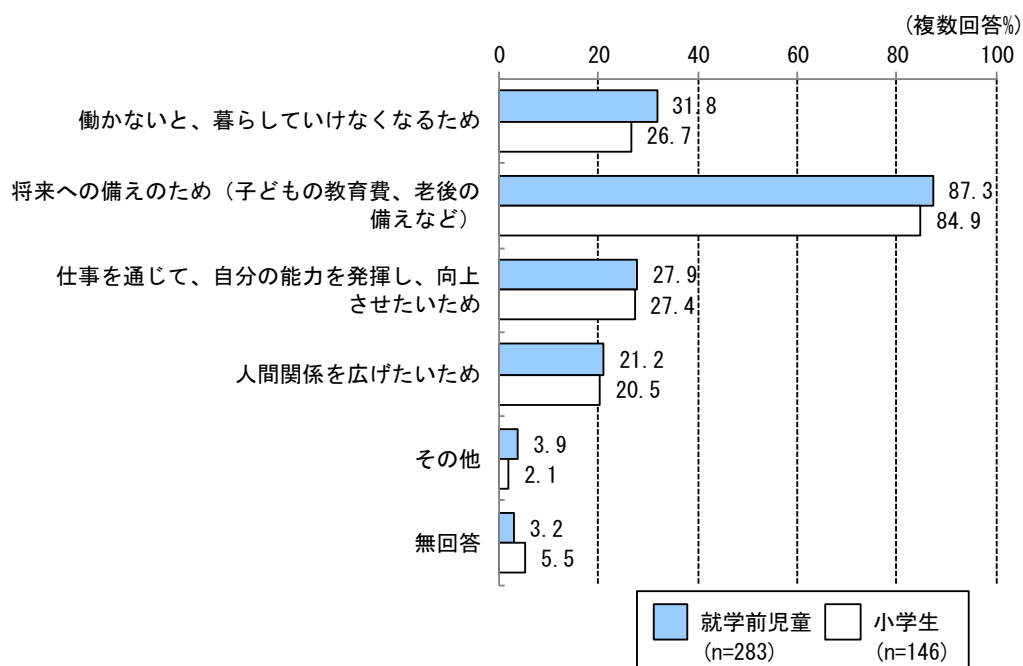
（※父親のグラフ作成は、サンプル数が少ないため割愛しております）

【父親】 就労希望	就学前児童 (n=4)		小学生 (n=6)	
	件数	%	件数	%
子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）	-	-	3	50.0
1年より先になってから働きたい	-	-	1	16.7
すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい	2	50.0	1	16.7
無回答	2	50.0	1	16.7

(11) 母親の就労状況⑤または(12) 父親の就労状況⑤で「今後働きたい」を選んだ方

(13) 働きたい理由〔就学前児童…問15-1、小学生…問12-1〕

今後働きたい理由は、就学前児童、小学生とも「将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど）」が最も多い。

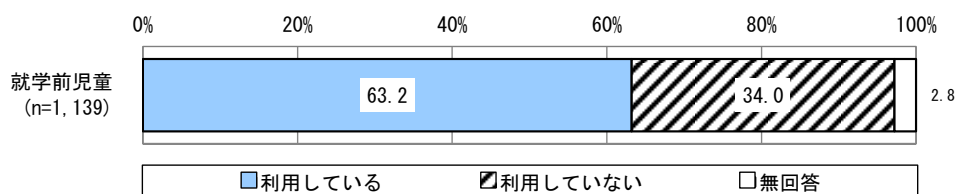


2 平日の定期的な施設やサービス利用の状況

(1) 施設やサービスの利用の有無 [就学前児童…問16]

① 利用の有無

平日に幼稚園や保育所、認定こども園などの子どもを預かる施設やサービスを定期的に利用する家庭は63.2%に対し、利用していない家庭は34.0%である。



施設やサービスの利用の有無 × 家庭類型別 [就学前児童]

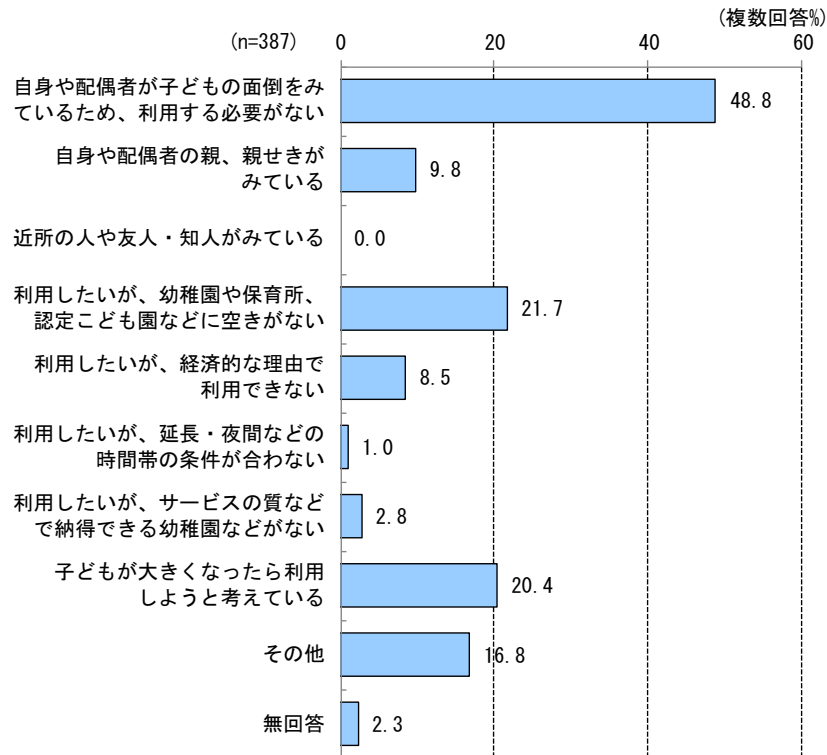
家庭類型別にみると、『ひとり親』『フルタイム共働きの家庭』『フルタイム・パートタイム共働きの家庭』は「利用している」が7割を占めている。『夫婦の一方が家事に専念している家庭』では「利用していない」の割合が高くなっている。

上段：件数 下段：%	合計	利用している	利用していない	無回答
全 体	1,139 100.0	720 63.2	387 34.0	32 2.8
ひとり親	20 100.0	15 75.0	5 25.0	-
フルタイム共働きの家庭	299 100.0	230 76.9	62 20.7	7 2.3
フルタイム・パートタイム共働きの家庭	285 100.0	209 73.3	62 21.8	14 4.9
夫婦の一方が家事に専念している家庭	405 100.0	184 45.4	216 53.3	5 1.2
その他	3 100.0	1 33.3	2 66.7	-
無回答	127 100.0	81 63.8	40 31.5	6 4.7

①で「利用していない」を選んだ方

②平日に定期的に施設やサービス利用していない理由 [就学前児童…問16-1]

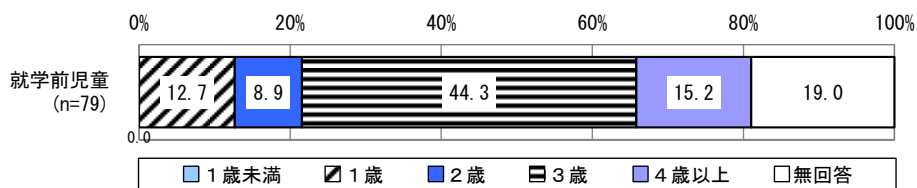
「自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」が48.8%で最も多く、次いで「利用したいが、幼稚園や保育所、認定こども園などに空きがない」が21.7%となっている。「子どもが大きくなったら利用しようと考えている」は20.4%で、そのうち「3歳」になってから利用したいと考えている家庭が44.3%で最も多い。



□その他記述

	件数	%
小学生になった、小学校に入学するため	31	50.8
幼稚園を卒園している	3	4.9
入所申請中、入所予定	4	6.6
在宅で保育中(育休中)	5	8.2
子どもがまだ小さい、子どもが希望しないため	5	8.2
医療的ケアが必要	2	3.3
その他	11	18.0
合計	61	100.0

□子どもが大きくなったら利用しようと考えている場合の子どもの年齢



平日に定期的に施設やサービス利用していない理由 × 子どもの年齢別〔就学前児童〕

子どもの年齢別にみると、0～5歳までは「自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」が最も多く、『5歳』が72.7%で最も高くなっている。「利用したいが、幼稚園や保育所、認定こども園などに空きがない」は『0歳』『1歳』の割合が、「子どもが大きくなったら利用しようと考えている」は『0歳』の割合がそれぞれ高くなっている。

上段：件数 下段：%	合計	がたも自 ないの身や 利用の面や する倒を配 る必み者 要る子者 るど	親自 せ身 せきや が配 み偶 てる者 親、	人近 が所 みの人 てるや 友人・ 知	など園利 もや用 ない保し 園育た など所 ににが 空認 き定 がこ幼 稚	ないの利 な用 理し 由た でい が、 利が 用で で経 き済	帯長利 の・用 条夜し 件間た 間た が合 のど 延 間	ないでビ の用 幼質 稚の 園な でが 納サ が得	えたり子 てらど もが 用し る用 が 大 き く な つ	そ の 他	無 回 答
全体	387 100.0	189 48.8	38 9.8	-	84 21.7	33 8.5	4 1.0	11 2.8	79 20.4	65 16.8	9 2.3
0歳	111 100.0	46 41.4	9 8.1	-	36 32.4	10 9.0	2 1.8	4 3.6	38 34.2	11 9.9	2 1.8
1歳	101 100.0	56 55.4	6 5.9	-	30 29.7	8 7.9	1 1.0	3 3.0	23 22.8	5 5.0	-
2歳	66 100.0	40 60.6	10 15.2	-	14 21.2	8 12.1	1 1.5	3 4.5	14 21.2	3 4.5	1 1.5
3歳	23 100.0	15 65.2	4 17.4	-	4 17.4	3 13.0	-	1 4.3	2 8.7	1 4.3	2 8.7
4歳	5 100.0	3 60.0	1 20.0	-	-	-	-	-	-	2 40.0	-
5歳	11 100.0	8 72.7	3 27.3	-	-	-	-	-	-	2 18.2	-
6歳	65 100.0	19 29.2	5 7.7	-	-	3 4.6	-	-	-	40 61.5	3 4.6
無回答	5 100.0	2 40.0	-	-	-	1 20.0	-	-	2 40.0	1 20.0	1 20.0

□『6歳』のその他記述

	件数	%
小学生になったため	34	91.9
サービスがあることを知らない	1	2.7
本人が希望しないため	1	2.7
働いていないため	1	2.7
合計	37	100

平日に定期的に施設やサービス利用していない理由 × 家庭類型別〔就学前児童〕

家庭類型別にみると、『フルタイム共働きの家庭』は「利用したいが、幼稚園や保育所、認定こども園などに空きがない」が多くなっている。それ以外は、「自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」が最も多くなっている。

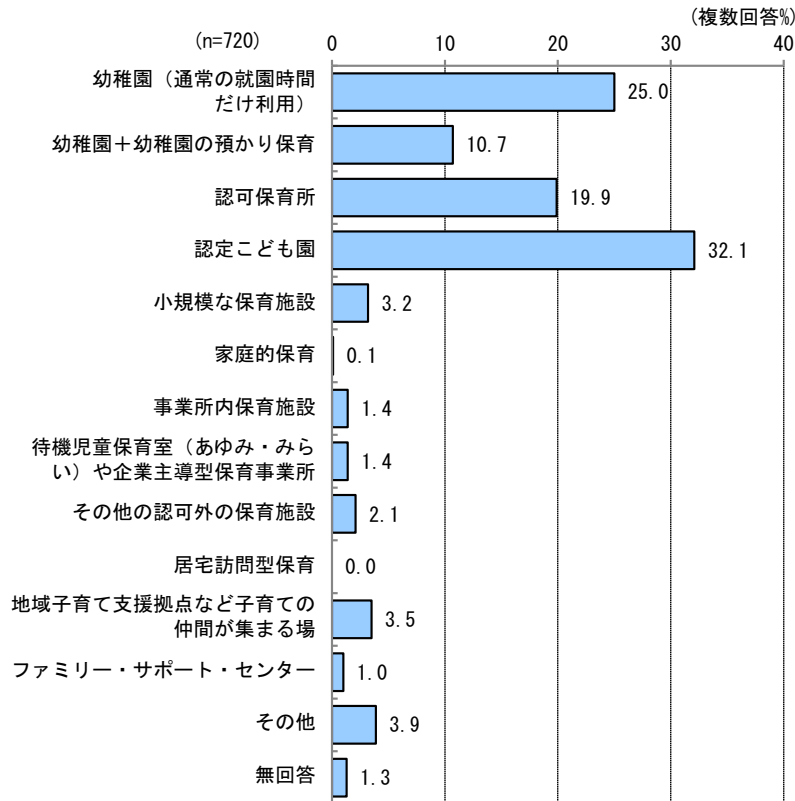
上段：件数 下段：%	合計	がたも自 ないの身や 利用の面や する倒を配 る必み者 要る子者 るど	親自 せ身 せきや が配 み偶 てる者 親、	人近 が所 みの人 てるや 友人・ 知	など園利 もや用 ない保し 園育た など所 ににが 空認 き定 がこ幼 稚	ないの利 な用 理し 由た でい が、 利が 用で で経 き済	帯長利 の・用 条夜し 件間た 間た が合 のど 延 間	ないでビ の用 幼質 稚の 園な でが 納サ が得	えたり子 てらど もが 用し る用 が 大 き く な つ	そ の 他	無 回 答
全体	387 100.0	189 48.8	38 9.8	-	84 21.7	33 8.5	4 1.0	11 2.8	79 20.4	65 16.8	9 2.3
ひとり親	5 100.0	3 60.0	2 40.0	-	1 20.0	-	-	-	1 20.0	1 20.0	-
フルタイム共働きの家庭	62 100.0	15 24.2	3 4.8	-	31 50.0	1 1.6	-	-	11 17.7	13 21.0	1 1.6
フルタイム・パートタイム 共働きの家庭	62 100.0	23 37.1	12 19.4	-	14 22.6	8 12.9	3 4.8	1 1.6	7 11.3	15 24.2	2 3.2
夫婦の一方が家事に 専念している家庭	216 100.0	126 58.3	17 7.9	-	35 16.2	22 10.2	1 0.5	10 4.6	53 24.5	27 12.5	2 0.9
その他	2 100.0	1 50.0	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-
無回答	40 100.0	21 52.5	4 10.0	-	2 5.0	2 5.0	-	-	7 17.5	9 22.5	4 10.0

①で「利用している」を選んだ方

(2) 施設やサービスの利用状況 [就学前児童…問16-2]

①平日に定期的に利用している施設やサービス

平日に定期的に利用している子どもを預かる施設やサービスで最も多いものは、「認定こども園」で32.1%となっている。次いで「幼稚園（通常の就園時間だけ利用）」が25.0%、「認可保育所」が19.9%となっている。



平日に定期的に利用している施設やサービス × 子どもの年齢別 [就学前児童]

子どもの年齢別にみると、0～2歳・4歳・6歳は「認定こども園」が多くなっているが、『3歳』『5歳』は「幼稚園（通常の就園時間だけ利用）」が最も多くなっている。また『0歳』は「認可保育所」も「認定こども園」に次いで多くなっている。

上段：件数 下段：%	合計	幼稚園 時間 間 園 （ 通 常 利 用 ） の 就 園 時 間 だけ 利用	預 か り 保 育 所 の 幼 稚 園 の 保 育	認 可 保 育 所	認 定 こ ど も 園	小 規 模 な 保 育 施 設	家 庭 的 保 育	事 業 所 内 保 育 施 設	保 育 事 業 所 （ あ ゆ み ・ み ら い ） や 企 業 主 導 型 保 育 事 業 所	待 機 児 童 保 育 室 （ あ ゆ み ・ み ら い ）	保 育 施 設 の 認 可 外 の 保 育	居 宅 訪 問 型 保 育	地 域 子 育 て 支 援 拠 点 な ど 子 育 て の 仲 間 が 集 ま る 場	ポ ー ト ・ セ ン タ ー の 子 育 て 支 援	フ ァ ミ リ ー ・ サ ポ ー ト ・ セ ン タ ー	そ の 他	無 回 答
全 体	720 100.0	180 25.0	77 10.7	143 19.9	231 32.1	23 3.2	1 0.1	10 1.4	10 1.4	10 1.4	15 2.1	-	25 3.5	7 1.0	28 3.9	9 1.3	
0歳	42 100.0	1 2.4	1 2.4	13 31.0	14 33.3	2 4.8	-	3 7.1	-	-	2 4.8	-	7 16.7	1 2.4	1 2.4	-	
1歳	74 100.0	-	1 1.4	19 25.7	31 41.9	8 10.8	-	3 4.1	4 5.4	5 6.8	-	-	3 4.1	2 2.7	1 1.4	-	
2歳	97 100.0	10 10.3	-	26 26.8	32 33.0	11 11.3	1 1.0	2 2.1	5 5.2	2 2.1	-	-	7 7.2	1 1.0	7 7.2	1 1.0	
3歳	140 100.0	54 38.6	10 7.1	29 20.7	39 27.9	1 0.7	-	1 0.7	-	-	2 1.4	-	2 1.4	1 0.7	1 0.7	2 1.4	
4歳	157 100.0	51 32.5	22 14.0	24 15.3	54 34.4	-	-	1 0.6	-	-	2 1.3	-	4 2.5	-	5 3.2	2 1.3	
5歳	146 100.0	45 30.8	35 24.0	25 17.1	42 28.8	-	-	-	-	1 0.7	1 0.7	-	1 0.7	1 0.7	5 3.4	2 1.4	
6歳	61 100.0	18 29.5	8 13.1	7 11.5	18 29.5	-	-	-	-	-	1 1.6	-	1 1.6	1 1.6	8 13.1	2 3.3	
無回答	3 100.0	1 33.3	-	-	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

平日に定期的にご利用している施設やサービス × 家庭類型別〔就学前児童〕

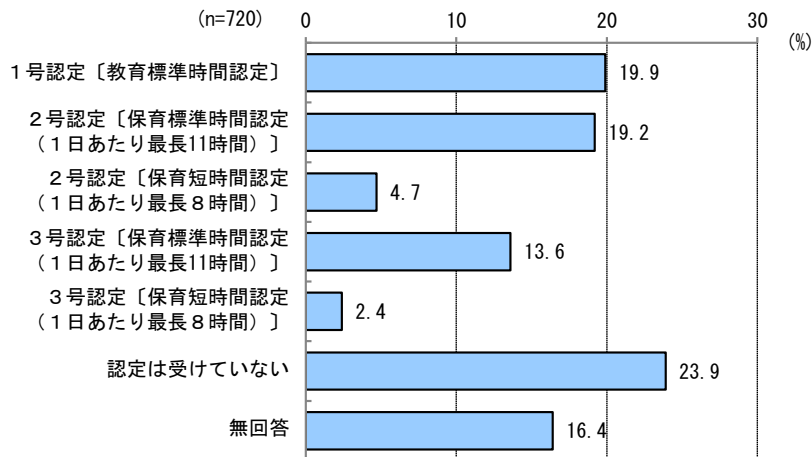
家庭類型別にみると、『ひとり親』は「認可保育所」が、『フルタイム共働きの家庭』『フルタイム・パートタイム共働きの家庭』は「認定こども園」がそれぞれ最も多くなっている。『夫婦の一方が家事に専従している家庭』では「幼稚園（通常の就園時間だけ利用）」が最も多くなっている。

上段：件数 下段：%	合計	幼稚園 （通常の 就園時間 だけ利用）	預かり 幼稚園 （保育 園の就 園時間 以外に 保育）	認可 保育所	認定 こども 園	小規 模な 保育 施設	家 庭 的 保 育	事 業 所 内 保 育 施 設	保 育 事 業 所 （あ ゆ み ・ み ら ） 主 導 型	待 機 児 童 保 育 室	そ の 他 の 認 可 外 の 保 育 施 設	居 宅 訪 問 型 保 育	地 域 子 育 て 支 援 拠 点 等 の 場 所	ポ ー ト ・ セ ン タ ー	そ の 他	無 回 答
全 体	720 100.0	180 25.0	77 10.7	143 19.9	231 32.1	23 3.2	1 0.1	10 1.4	10 1.4	15 2.1	-	-	25 3.5	7 1.0	28 3.9	9 1.3
ひとり親	15 100.0	-	2 13.3	8 53.3	5 33.3	-	-	1 6.7	1 6.7	-	-	-	-	-	-	6 6.7
フルタイム共働きの家庭	230 100.0	3 1.3	8 3.5	77 33.5	117 50.9	7 3.0	-	5 2.2	5 2.2	5 2.2	-	-	3 1.3	5 2.2	6 2.6	3 1.3
フルタイム・パートタイム 共働きの家庭	209 100.0	39 18.7	44 21.1	37 17.7	63 30.1	9 4.3	-	3 1.4	4 1.9	3 1.4	-	-	6 2.9	-	6 2.9	1 0.5
夫婦の一方が家事に 専念している家庭	184 100.0	118 64.1	14 7.6	2 1.1	19 10.3	3 1.6	1 0.5	1 0.5	-	6 3.3	-	-	15 8.2	1 0.5	13 7.1	4 2.2
その他	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	81 100.0	20 24.7	8 9.9	19 23.5	27 33.3	4 4.9	-	-	-	1 1.2	-	-	1 1.2	1 1.2	3 3.7	-

①で「利用している」を選んだ方

②保育の必要性の有無や保育の必要量についての認定（支給認定）状況〔就学前児童…問16-3〕

子どもを預かる施設やサービスを利用する子どもの59.8%が支給認定を受け、そのうち「1号認定（教育標準時間認定）」が19.9%、「2号認定（保育標準時間認定（1日あたり最長11時間）」が19.2%と多くなっている。



①で「利用している」を選んだ方

③利用している施設やサービスの利用日数・利用時間(時間帯) [就学前児童…問16-4]

施設やサービスの利用日数は、実際も希望も「5日」が多い。
施設やサービスの利用時間は、実際は「8時間～10時間未満」が26.3%で最も多く、次いで「4時間～6時間未満」が25.3%となっている。

□ 1週あたりの利用日数 (実際と希望)

【就学前児童】 利用日数	実際 (n=720)		希望 (n=720)	
	件数	%	件数	%
1日	22	3.1	6	0.8
2日	23	3.2	11	1.5
3日	7	1.0	9	1.3
4日	19	2.6	16	2.2
5日	564	78.3	437	60.7
6日	55	7.6	62	8.6
7日	2	0.3	4	0.6
無回答	28	3.9	175	24.3

□ 1日あたりの利用時間 (実際と希望)

【就学前児童】 利用時間	実際 (n=720)		希望 (n=720)	
	件数	%	件数	%
4時間未満	38	5.3	12	1.7
4時間～6時間未満	182	25.3	37	5.1
6時間～8時間未満	104	14.4	160	22.2
8時間～10時間未満	189	26.3	181	25.1
10時間以上	165	22.9	146	20.3
無回答	42	5.8	184	25.6

利用開始時間は、実際も希望も「8時台」～「9時台」が多くなっている。
利用終了時間は、実際は「14時台」が26.4%、「17時台」が24.2%、「18時台」が20.3%となっているが、希望は「17時台」(19.9%)と「18時台」(18.1%)が多くなっている。

□ 利用開始時間帯 (実際と希望)

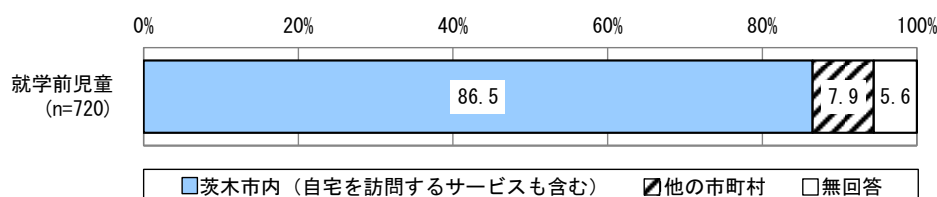
【就学前児童】 利用時間	実際 (n=720)		希望 (n=720)	
	件数	%	件数	%
7時より前	1	0.1	2	0.3
7時台	108	15.0	87	12.1
8時台	251	34.9	207	28.8
9時台	281	39.0	222	30.8
10時以降	47	6.5	23	3.2
無回答	32	4.4	179	24.9

□ 利用終了時間帯 (実際と希望)

【就学前児童】 利用時間	実際 (n=720)		希望 (n=720)	
	件数	%	件数	%
14時より前	28	3.9	7	1.0
14時台	190	26.4	32	4.4
15時台	41	5.7	94	13.1
16時台	87	12.1	87	12.1
17時台	174	24.2	143	19.9
18時台	146	20.3	130	18.1
19時以降	22	3.1	48	6.7
無回答	32	4.4	179	24.9

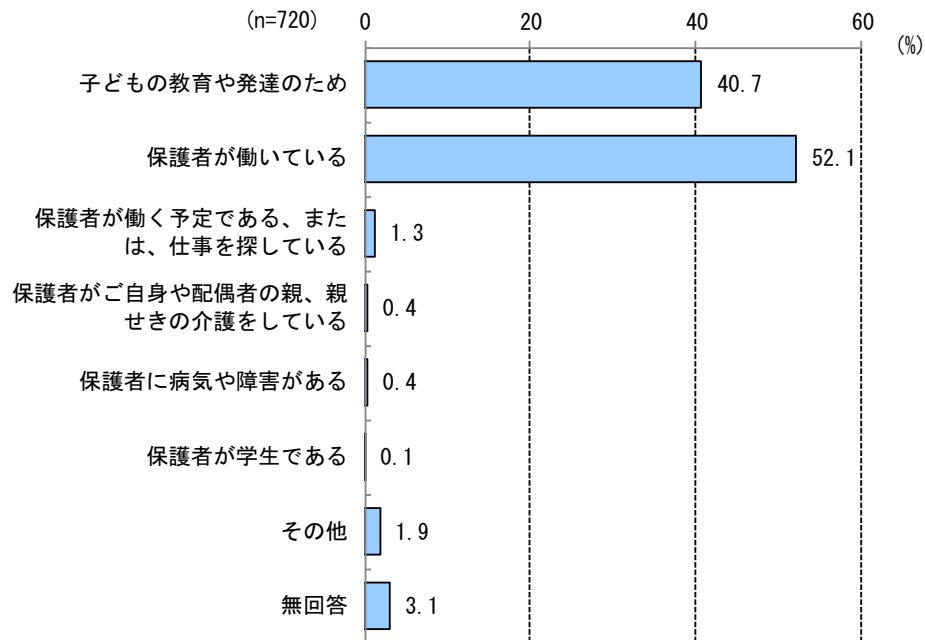
④利用施設等の場所 [就学前児童…問 16-5]

利用施設の場所は、「茨木市内 (自宅を訪問するサービスも含む)」が多い。



⑤施設やサービスの利用理由 [就学前児童…問16-6]

幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスの利用理由は、「保護者が働いている」が52.1%で最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が40.7%となっている。

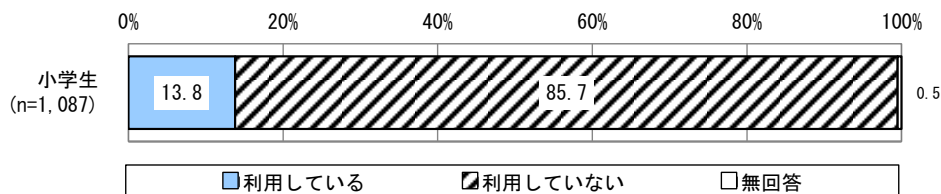


3 学童保育の利用について

(1) 平日の学童保育の利用状況

①学童保育の利用の有無 [小学生…問13]

学童保育を現在利用している家庭は13.8%である。



①で「利用している」を選んだ方

②学童保育の週当たりの利用（希望）日数・利用（希望）時間 [小学生…問14]

学童保育の現在の週当たりの利用日数は、「5日」が64.0%で最も多い。希望でも「5日」が52.7%で最も多くなっている。

また、学校終了後の利用時間帯（終了時間）は、「17時台まで」が54.0%と半数を占め、次いで「18時台まで」が19.3%となっている。希望の利用時間帯（終了時間）も「17時台まで」が35.3%で最も多く、次いで「18時台まで」が20.0%となっている。

□ 1週あたりの利用日数（現状と希望）

【小学生】 利用日数	現在 (n=150)		希望 (n=150)	
	件数	%	件数	%
1日	1	0.7	1	0.7
2日	7	4.7	2	1.3
3日	11	7.3	8	5.3
4日	23	15.3	14	9.3
5日	96	64.0	79	52.7
6日	3	2.0	4	2.7
7日	-	-	-	-
無回答	9	6.0	42	28.0

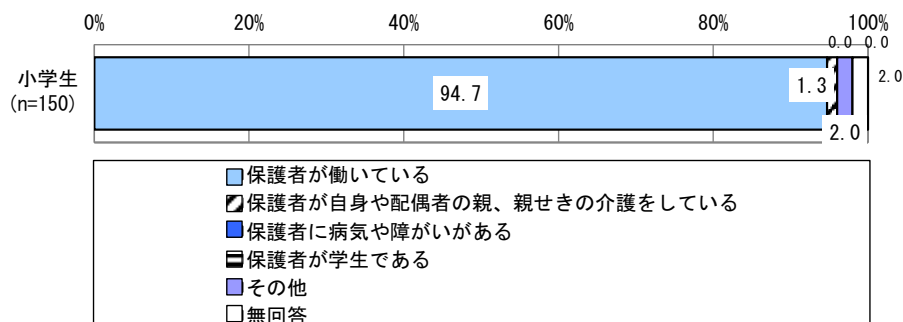
□ 利用終了時間（現状と希望）

【小学生】 利用時間	現在 (n=150)		希望 (n=150)	
	件数	%	件数	%
16時台まで	8	5.3	2	1.3
17時台まで	81	54.0	53	35.3
18時台まで	29	19.3	30	20.0
19時台まで	20	13.3	23	15.3
20時台まで	1	0.7	-	-
無回答	11	7.3	42	28.0

①で「利用している」を選んだ方

③学童保育の利用理由 [小学生…問14-1]

「保護者が働いている」が94.7%で大部分を占めている。

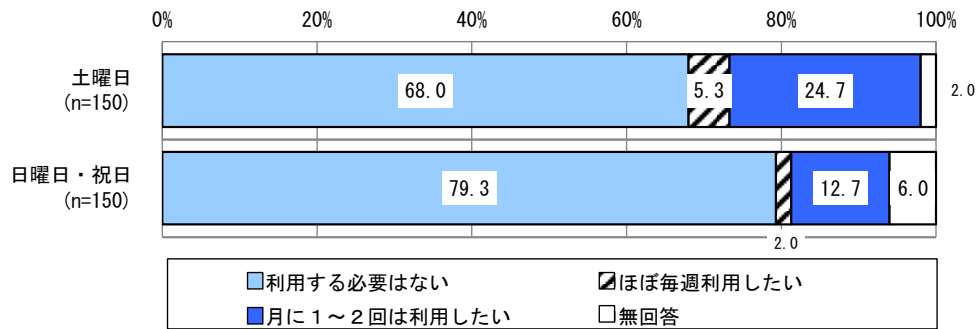


①で「利用している」を選んだ方

④土曜日、日曜日・祝日の学童保育の利用希望 [小学生…問14-2]

土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」が最も多い（土曜日：68.0%、日曜日・祝日：79.3%）。利用したい割合は土曜日が30.0%、日曜日・祝日が14.7%で、どちらも「月に1～2回は利用したい」が大部分を占める。

利用開始希望時間は、土曜日、日曜日・祝日ともに「8時台」が最も多い。利用終了希望時間は、土曜日は「17時台」（37.8%）が多く、日曜日・祝日は「17時台」と「18時台」が多い。



□利用開始希望時間

【小学生】 開始時間	土曜日 (n=45)		日曜日・祝日 (n=22)	
	件数	%	件数	%
7時より前	-	-	-	-
7時台	5	11.1	1	4.5
8時台	25	55.6	15	68.2
9時台	10	22.2	5	22.7
10時以降	2	4.4	1	4.5
無回答	3	6.7	-	-

□利用終了希望時間

【小学生】 終了時間	土曜日 (n=45)		日曜日・祝日 (n=22)	
	件数	%	件数	%
14時より前	1	2.2	-	-
14時台	-	-	-	-
15時台	1	2.2	1	4.5
16時台	4	8.9	1	4.5
17時台	17	37.8	8	36.4
18時台	10	22.2	8	36.4
19時以降	9	20.0	4	18.2
無回答	3	6.7	-	-

土曜日、日曜日・祝日の学童保育の利用希望 × 子どもの学年別 [小学生]

子どもの学年別にみると、土曜日、日曜日・祝日ともに、学年に関わらず「利用する必要はない」が最も多くなっている。「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」は、『低学年』で多くなっている。

【土曜日】

上段：件数 下段：%	合計	な 利 用 す る 必 要 は	た ほ い ほ 毎 週 利 用 し	利 用 し た い 2 回 は	無 回 答
全 体	150 100.0	102 68.0	8 5.3	37 24.7	3 2.0
低学年	135 100.0	91 67.4	8 5.9	34 25.2	2 1.5
高学年	13 100.0	10 76.9	-	2 15.4	1 7.7
無回答	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	-

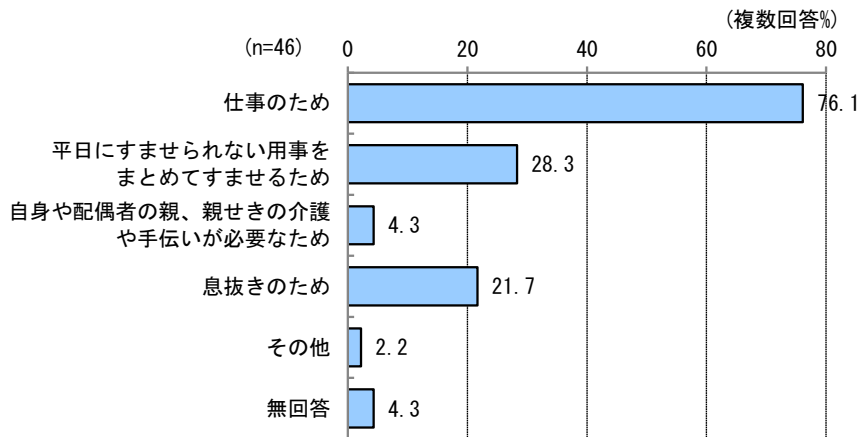
【日曜日・祝日】

合計	な 利 用 す る 必 要 は	た ほ い ほ 毎 週 利 用 し	利 用 し た い 2 回 は	無 回 答
150 100.0	119 79.3	3 2.0	19 12.7	9 6.0
135 100.0	107 79.3	3 2.2	19 14.1	6 4.4
13 100.0	10 76.9	-	-	3 23.1
2 100.0	2 100.0	-	-	-

④で「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」を選んだ方

⑤土曜日、日曜日・祝日に学童保育を利用したい理由 [小学生…問14-3]

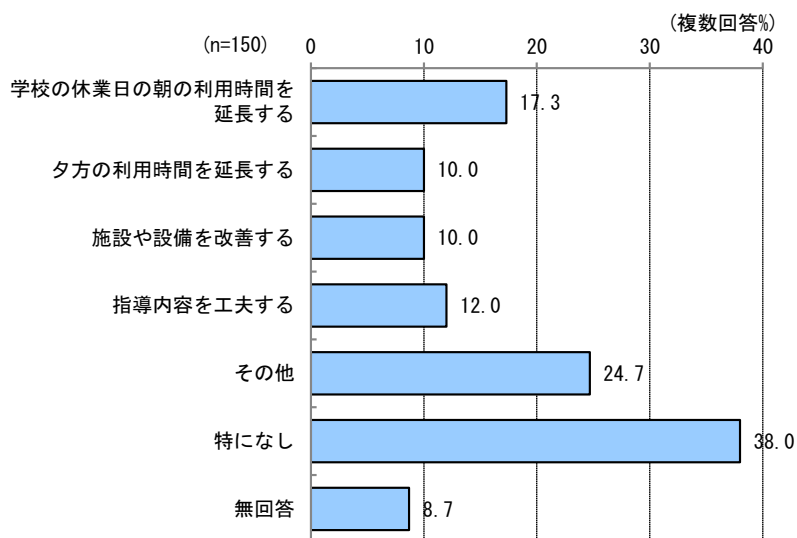
「仕事のため」が76.1%で最も多い。これに次いで「平日にすませられない用事をまとめてすませるため」(28.3%)、「息抜きのため」(21.7%)となっている。



①で「利用している」を選んだ方

⑥現在利用している学童保育に対する希望 [小学生…問14-4]

「特になし」が38.0%となっているが、何らかの希望がある利用者は49.3%を占めている。希望としては、「学校の休業日の朝の利用時間を延長する」が17.3%で最も多い。



□その他記述

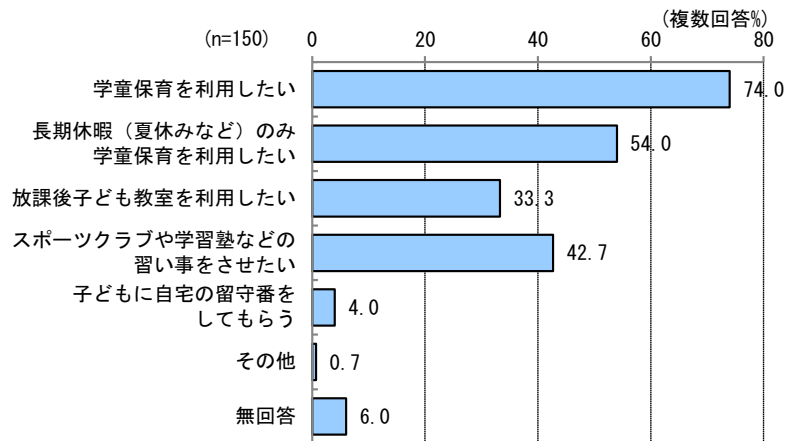
	件数	%
4年生以降も利用できるようにしてほしい	12	30.0
長期休暇のみの利用ができるようにしてほしい	4	10.0
長期休み時の給食の導入	3	7.5
保護者会、役員などの負担軽減	3	7.5
指導員の増員、質の向上	3	7.5
学習指導の充実	3	7.5
学級閉鎖時に学童を実施してほしい	2	5.0
その他	10	25.0
合計	40	100.0

①で「利用している」を選んだ方

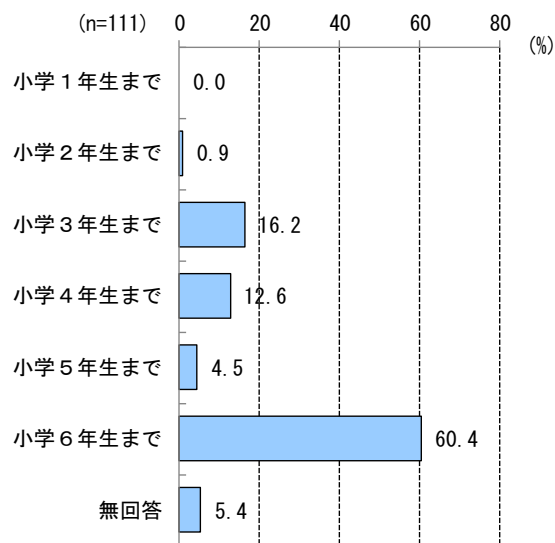
⑦放課後の過ごし方についての希望 [小学生…問14-5]

学童保育を利用している家庭の子どもの放課後の過ごし方の希望として、「学童保育を利用したい」が74.0%で最も多い。これに次いで「長期休暇（夏休みなど）のみ学童保育を利用したい」（54.0%）、「スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい」（42.7%）となっている。

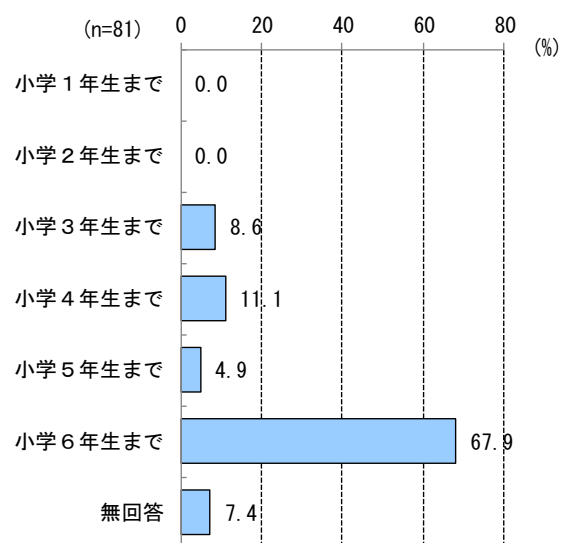
また、学童保育については、通常の利用も長期休暇のみの利用も「小学6年生まで」の希望が6割を占めている。



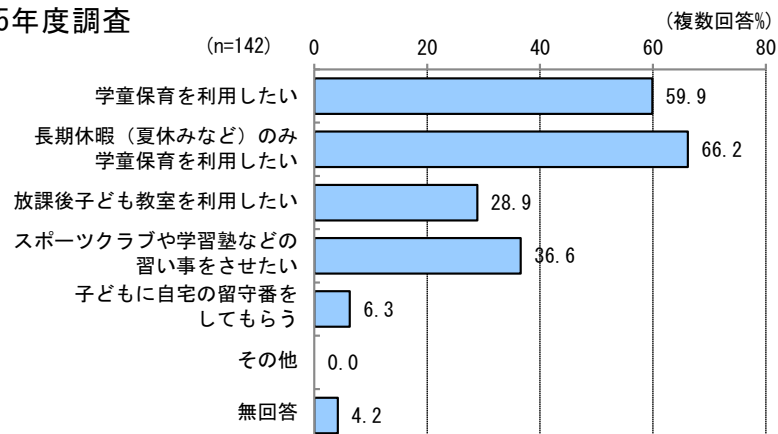
□学童保育を利用したい学年



□長期休暇のみ学童保育を利用したい学年



【参考】平成25年度調査



放課後の過ごし方についての希望 × 子どもの学年別〔小学生〕

子どもの学年別にみると、学年に関わらず「学童保育を利用したい」が最も多くなっている。低学年では、これに次いで「長期休暇（夏休みなど）のみ学童保育を利用したい」が多くなっている。

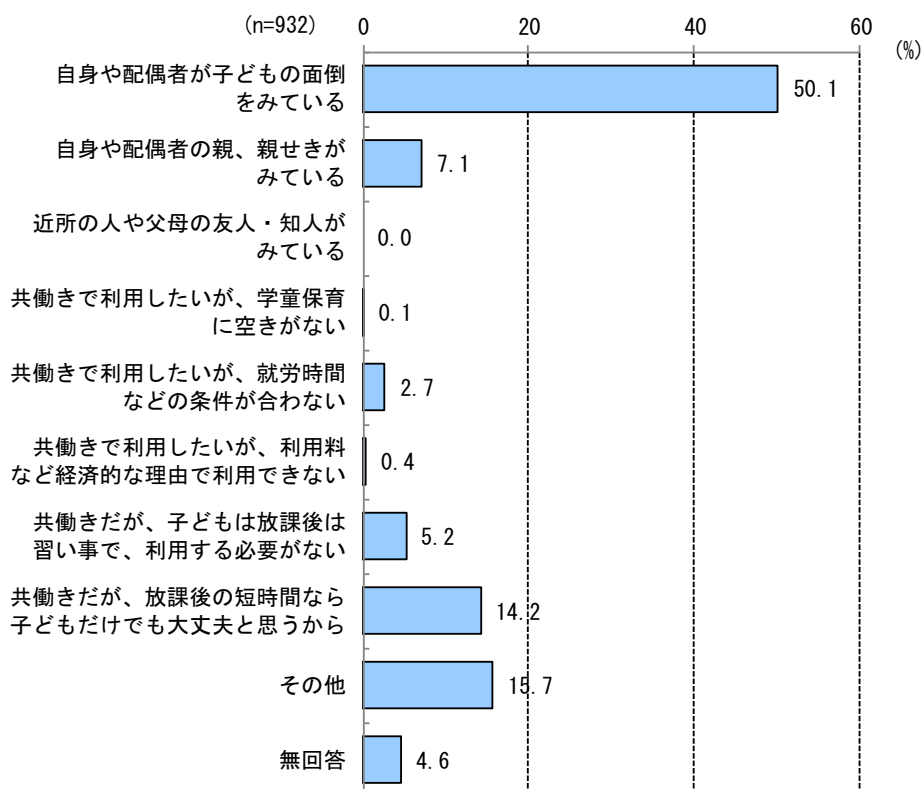
上段：件数 下段：%	合計	学 童 保 育 を 利 用 し た い	長 期 休 暇 （ 夏 休 み 等 ） の み 学 童 保 育 を 利 用 し た い	放 課 後 の 学 童 保 育 を 利 用 し た い	習 事 を さ せ た い	ス ポ ー ツ ク ラ ブ な ど を 利 用 し た い	留 守 番 を し て も の を 利 用 し た い	そ の 他	無 回 答
全 体	150 100.0	111 74.0	81 54.0	50 33.3	64 42.7	6 4.0	1 0.7	9 6.0	
低学年	135 100.0	101 74.8	76 56.3	47 34.8	57 42.2	5 3.7	1 0.7	6 4.4	
高学年	13 100.0	8 61.5	4 30.8	3 23.1	6 46.2	1 7.7	-	3 23.1	
無回答	2 100.0	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	

（１）①で「利用していない」を選んだ方

（２）学童保育の未利用者の利用希望

①学童保育を利用していない理由〔小学生…問15〕

学童保育の未利用理由は、「自身や配偶者が子どもの面倒をみている」が50.1%で最も多く、これに次いで「父母とも働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから」（14.2%）となっている。

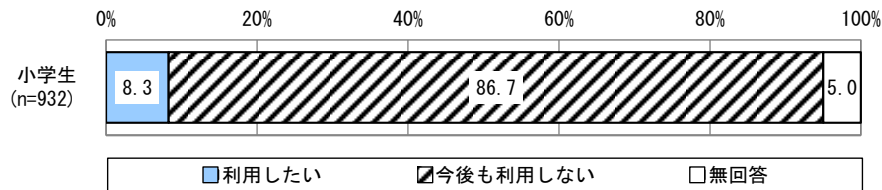


(1) ①で「利用していない」を選んだ方

②学童保育の利用希望の有無と希望する利用日数・時間 [小学生…問15-1]

学童保育を利用していない家庭の今後の利用希望は、「利用したい」が8.3%に対し「今後も利用しない」が86.7%となっている。

「利用したい」を選んだ方の利用したい1週あたりの日数については「5日」、1日あたりの時間については「4時間未満」、終了時間については「17時台まで」が多い。



□ 1週あたりの日数

【小学生】 利用日数	小学生 (n=77)	
	件数	%
1日	2	2.6
2日	4	5.2
3日	15	19.5
4日	16	20.8
5日	30	39.0
6日	5	6.5
7日	-	-
無回答	5	6.5

□ 1日あたりの時間

【小学生】 利用時間	小学生 (n=77)	
	件数	%
4時間未満	40	51.9
4時間～6時間未満	11	14.3
6時間～8時間未満	5	6.5
8時間～10時間未満	5	6.5
10時間以上	-	-
無回答	16	20.8

□ 利用終了時間

【小学生】 終了時間	小学生 (n=77)	
	件数	%
16時より前まで	4	5.2
16時台まで	3	3.9
17時台まで	33	42.9
18時台まで	20	26.0
19時台まで	8	10.4
20時台まで	2	2.6
21時以降まで	1	1.3
無回答	6	7.8

学童保育の利用希望の有無 × 子どもの学年別 [小学生]

子どもの学年別にみると、学年に関わらず「今後も利用しない」が最も多くなっている。

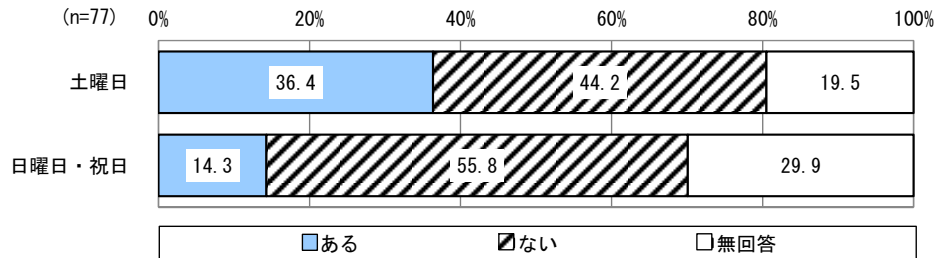
上段：件数 下段：%	合計	利用 したい	し 今 後 も 利 用 し な い	無 回 答
全 体	932 100.0	77 8.3	808 86.7	47 5.0
低学年	315 100.0	31 9.8	273 86.7	11 3.5
高学年	596 100.0	44 7.4	521 87.4	31 5.2
無回答	21 100.0	2 9.5	14 66.7	5 23.8

(1) ①で「利用していない」と答えた方で「今度利用したい」を選んだ方

③土曜日・日曜日・祝日の利用希望と希望する利用日数・時間

利用希望は土曜日、日曜日・祝日ともに利用希望が「ない」が多く、それぞれ44.2%、55.8%となっている。

利用したい1日あたりの時間では、土曜日、日曜日・祝日ともに「8時間～10時間未満」が最も多く、終了時間では、土曜日は「14時より前」、日曜日・祝日は「17時台」が最も多い。



□ 1日あたりの時間

【小学生】 利用時間	土曜日 (n=28)		日曜日・祝日 (n=11)	
	件数	%	件数	%
4時間未満	1	3.6	1	9.1
4時間～6時間未満	5	17.9	-	-
6時間～8時間未満	6	21.4	2	18.2
8時間～10時間未満	9	32.1	5	45.5
10時間以上	3	10.7	1	9.1
無回答	4	14.3	2	18.2

□ 利用終了時間

【小学生】 終了時間	土曜日 (n=28)		日曜日・祝日 (n=11)	
	件数	%	件数	%
14時より前	9	32.1	1	9.1
14時台	1	3.6	-	-
15時台	3	10.7	1	9.1
16時台	5	17.9	3	27.3
17時台	7	25.0	4	36.4
18時台	1	3.6	1	9.1
19時以降	-	-	-	-
無回答	2	7.1	1	9.1

土曜日・日曜日・祝日の利用希望 × 子どもの学年別〔小学生〕

子どもの学年別にみると、土曜日、日曜日・祝日とも、学年に関わらず、利用希望が「ない」が最も多くなっている。土曜日の利用希望が「ある」の割合は『高学年』で高くなっている。

【土曜日】

上段：件数 下段：%	合計	ある	ない	無回答
全体	77 100.0	28 36.4	34 44.2	15 19.5
低学年	31 100.0	9 29.0	15 48.4	7 22.6
高学年	44 100.0	17 38.6	19 43.2	8 18.2
無回答	2 100.0	2 100.0	-	-

【日曜日・祝日】

合計	ある	ない	無回答
77 100.0	11 14.3	43 55.8	23 29.9
31 100.0	4 12.9	18 58.1	9 29.0
44 100.0	7 15.9	23 52.3	14 31.8
2 100.0	-	2 100.0	-

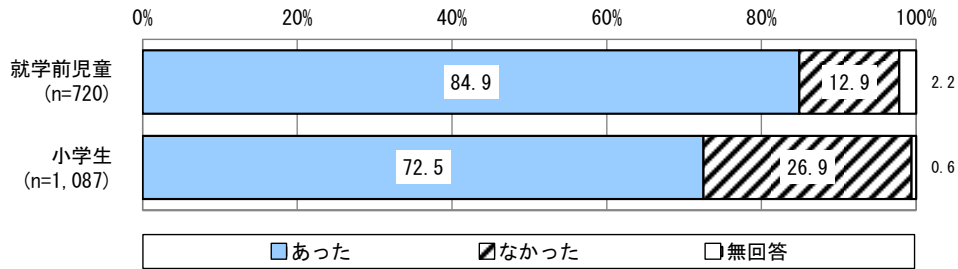
4 子どもが病気になったときの対応について

[就学前児童では平日に定期的に幼稚園や保育所、認定こども園などを利用している方]

(1) 子どもが病気になったときの対応

①子どもが病気やけがで、幼稚園や保育所、認定こども園などを利用できなかった(小学校を休まなければならなかった)ことの有無 [就学前児童…問17、小学生…問16]

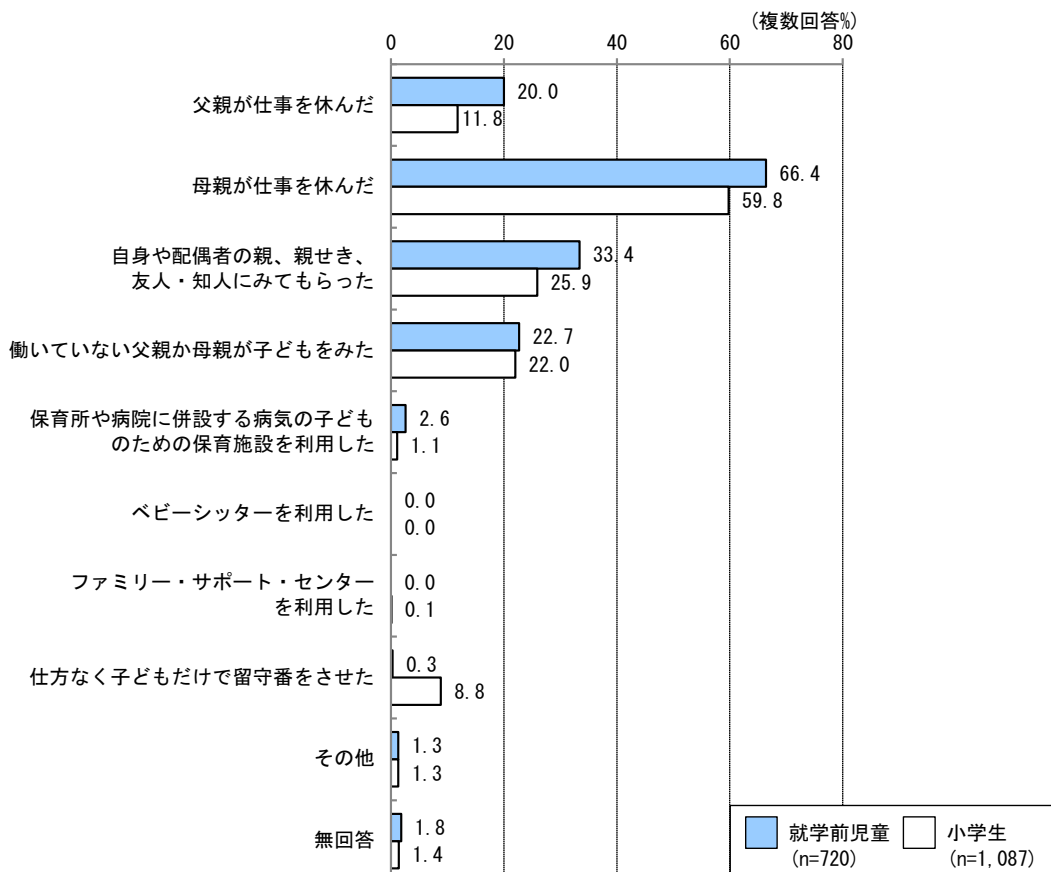
幼稚園や保育所、認定こども園などを利用できなかったり、小学校を休まなければならなかったりした家庭は、就学前児童では84.9%、小学生では72.5%となっている。



①で「あった」を選んだ方

②幼稚園や保育所、認定こども園などを利用できなかった(小学校を休まなければならなかった)ときの対処方法とその日数 [就学前児童…問17-1、小学生…問16-1]

幼稚園や保育所、認定こども園などを利用できなかったり、小学校を休まなければならなかったりした場合の対処方法として、就学前児童、小学生とも「母親が仕事を休んだ」が最も多い(就学前児童66.4%、小学生59.8%)。また、「保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した」との回答は、就学前児童では2.6%、小学生では1.1%となっている。



□対処方法別日数

対処方法別の年間延べ日数は、就学前児童では、『父親が仕事を休んだ』場合は「1日～2日」(43.4%)が多いのに対し、『母親が仕事を休んだ』場合は「3日～5日」(36.0%)が多くなっている。また、『父親が仕事を休んだ』『仕方なく子どもだけで留守番をさせた』を除く対処方法では、いずれも「3日～5日」が多くなっている。

小学生では、『働いていない父親か母親が子どもをみた』は「3日～5日」が最も多いが、それ以外は「1日～2日」が多くなっている。

【就学前児童】

就学前児童 対処方法別日数	1日 ～ 2日		3日 ～ 5日		6日 ～ 10日		11日 ～ 20日		21日 ～ 30日		31日以上		無回答	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
①父親が仕事を休んだ n=122	53	43.4	46	37.7	18	14.8	1	0.8	1	0.8	-	-	3	2.5
②母親が仕事を休んだ n=406	73	18.0	146	36.0	113	27.8	46	11.3	12	3.0	7	1.7	9	2.2
③自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった n=204	50	24.5	68	33.3	54	26.5	14	6.9	3	1.5	5	2.5	10	4.9
④働いていない父親か母親が子どもをみた n=139	31	22.3	50	36.0	30	21.6	14	10.1	5	3.6	1	0.7	8	5.8
⑤保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した n=16	6	37.5	8	50.0	-	-	1	6.3	-	-	-	-	1	6.3
⑥ベビーシッターを利用した -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑦ファミリー・サポート・センターを利用した -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑧仕方なく子どもだけで留守番をさせた n=2	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑨その他 n=8	2	25.0	5	62.5	1	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-

【小学生】

小学生 対処方法別日数	1日 ～ 2日		3日 ～ 5日		6日 ～ 10日		11日 ～ 20日		21日 ～ 30日		31日以上		無回答	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
①父親が仕事を休んだ n=93	67	72.0	20	21.5	4	4.3	1	1.1	-	-	-	-	1	1.1
②母親が仕事を休んだ n=471	229	48.6	165	35.0	50	10.6	10	2.1	1	0.2	-	-	16	3.4
③自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった n=204	109	53.4	68	33.3	11	5.4	5	2.5	-	-	1	0.5	10	4.9
④働いていない父親か母親が子どもをみた n=173	66	38.2	68	39.3	18	10.4	4	2.3	1	0.6	3	1.7	13	7.5
⑤保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した n=9	5	55.6	3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11.1
⑥家事育児代行サービスを利用した -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑦ファミリー・サポート・センターを利用した n=1	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑧仕方なく子どもだけで留守番をさせた n=69	47	68.1	16	23.2	3	4.3	-	-	-	-	-	-	3	4.3
⑨その他 n=10	5	50.0	2	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	3	30.0

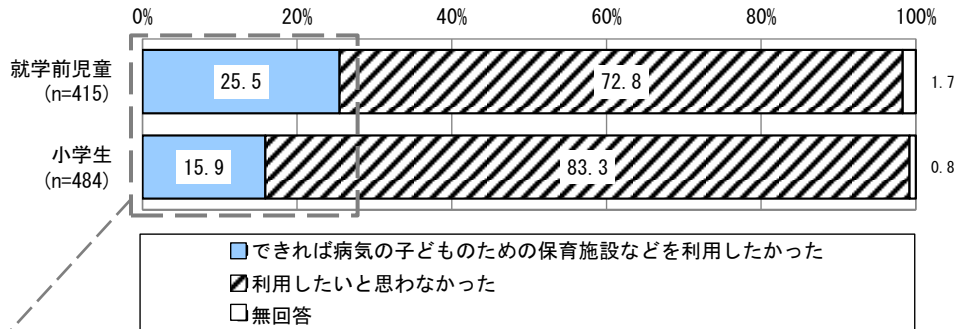
(2) 病児保育施設の利用についての考え

(1) ②で「父親または母親が仕事を休んだ」を選んだ方

①病児保育施設の利用意向 [就学前児童…問17-2、小学生…問16-2]

父親または母親が仕事を休んで子どもを看た家庭で、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したかった」は、就学前児童が25.5%、小学生が15.9%となっている。

利用希望の日数（年間）は、就学前児童では「6日～10日」が28.3%、小学生では「3日～5日」が40.3%で多くなっている。



□病気の子どものための保育施設などの利用希望日数

利用希望日数	就学前児童 (n=106)		小学生 (n=77)	
	件数	%	件数	%
1日～2日	13	12.3	14	18.2
3日～5日	23	21.7	31	40.3
6日～10日	30	28.3	7	9.1
11日～20日	6	5.7	4	5.2
21日～30日	5	4.7	1	1.3
31日以上	1	0.9	-	-
無回答	28	26.4	20	26.0

病児保育施設の利用意向 × 子どもの年齢別 [就学前児童]

子どもの年齢別にみると、年齢に関わらず「利用したいと思わなかった」が最も多くなっている。「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したかった」は『0歳』の割合が最も高くなっている。

上段：件数 下段：%	合計	たなめのでかどの子きつを保どれた利用もば用施の病し設た気	思利わ用なしかたついと	無回答
全体	415 100.0	106 25.5	302 72.8	7 1.7
0歳	26 100.0	11 42.3	14 53.8	1 3.8
1歳	63 100.0	19 30.2	44 69.8	-
2歳	64 100.0	16 25.0	48 75.0	-
3歳	65 100.0	8 12.3	54 83.1	3 4.6
4歳	85 100.0	24 28.2	60 70.6	1 1.2
5歳	84 100.0	20 23.8	62 73.8	2 2.4
6歳	26 100.0	6 23.1	20 76.9	-
無回答	2 100.0	2 100.0	-	-

病児保育施設の利用意向 × 家庭類型別〔就学前児童〕

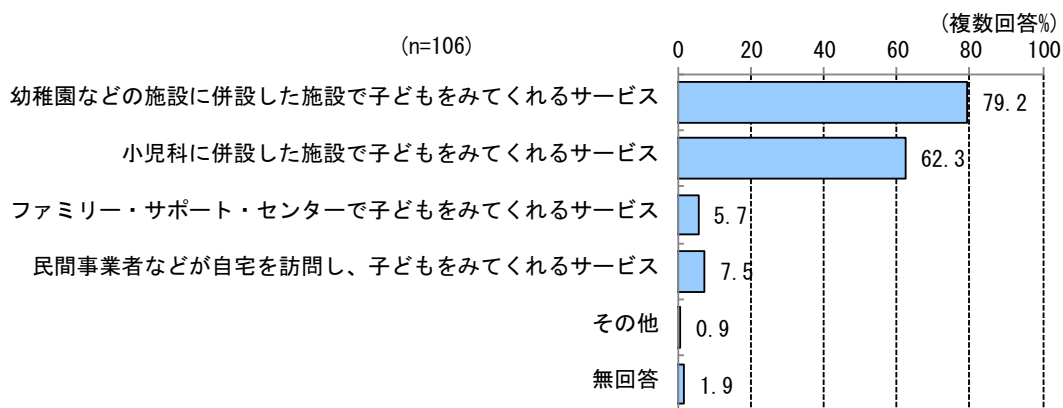
家庭類型別にみると、家庭類型に関わらず「利用したいと思わなかった」が最も多くなっている。「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したかった」は『ひとり親』の割合が最も高くなっている。

上段：件数 下段：%	合計	たなめのでかどの子きつを保どれた利育もば用施の病し設た気	思利用なしたかたついと	無回答
全 体	415 100.0	106 25.5	302 72.8	7 1.7
ひとり親	11 100.0	4 36.4	7 63.6	-
フルタイム共働きの家庭	193 100.0	62 32.1	127 65.8	4 2.1
フルタイム・パートタイム共働きの家庭	164 100.0	30 18.3	132 80.5	2 1.2
夫婦の一方が家事に専念している家庭	9 100.0	1 11.1	7 77.8	1 11.1
その他	-	-	-	-
無回答	38 100.0	9 23.7	29 76.3	-

①で「利用したかった」を選んだ方

②病児保育施設を利用する場合のサービス形態〔就学前児童…問17-3〕

就学前児童で病児保育施設を利用する場合の望ましいサービスは、「幼稚園や保育所、認定こども園などの施設に併設した施設で子どもをみてるサービス」が79.2%で最も多く、次いで「小児科に併設した施設で子どもをみてるサービス」が62.3%となっている。



病児保育施設を利用する場合のサービス形態 × 家庭類型別〔就学前児童〕

家庭類型別にみると、家庭類型に関わらず、「幼稚園や保育所、認定こども園などの施設に併設した施設で子どもをみてくれるサービス」が最も多くなっている。

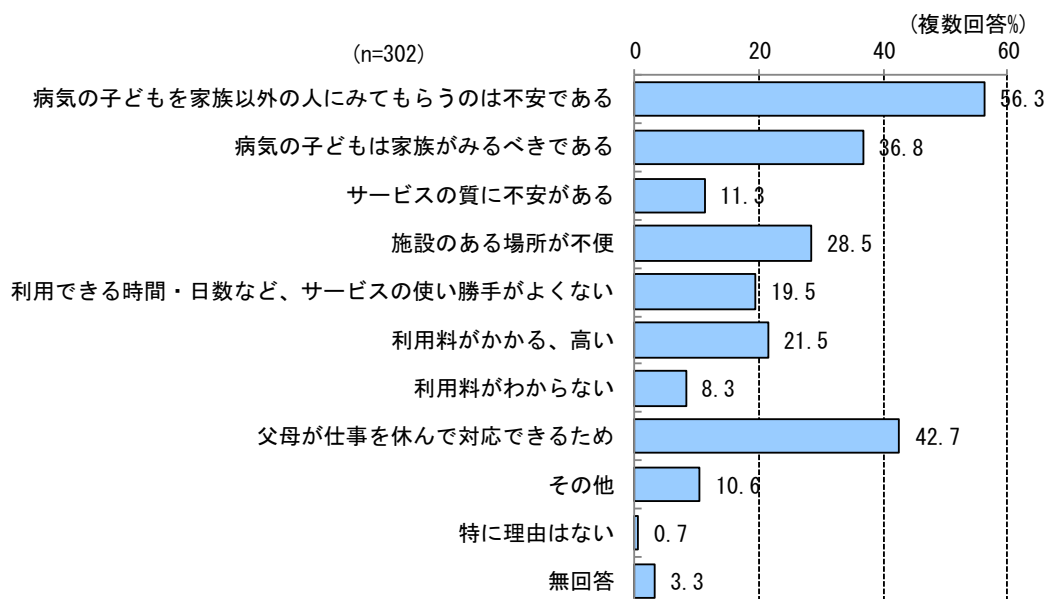
上段：件数 下段：%	合計	子どもをみてくれる施設に併設したサービス	幼稚園や保育所、認定こども園などの施設に併設したサービス	小児科に併設したサービス	ポータルサイト・サービス	ファミリー・センター	子どもをみてくれる施設に併設したサービス	民間事業者などが提供するサービス	その他	無回答
全体	106 100.0	84 79.2	66 62.3	6 5.7	8 7.5	1 0.9	2 1.9			
ひとり親	4 100.0	2 50.0	2 50.0	-	-	1 25.0	-	-	-	1 25.0
フルタイム共働きの家庭	62 100.0	50 80.6	44 71.0	4 6.5	3 4.8	-	-	-	-	-
フルタイム・パートタイム共働きの家庭	30 100.0	23 76.7	14 46.7	-	1 3.3	-	-	-	-	1 3.3
夫婦の一方が家事に専念している家庭	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	9 100.0	8 88.9	5 55.6	2 22.2	3 33.3	1 11.1	-	-	-	-

①で「利用しなかった」が実際利用しなかった方、または「利用したいと思わなかった」を選んだ方

③病児保育施設を利用しなかった（利用したいと思わなかった）理由

〔就学前児童…問17-4〕

就学前児童で病児保育施設を実際利用しなかった（利用したいと思わなかった）理由をみると、「病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」が56.3%で最も多く、次いで「父母が仕事を休んで対応できるため」が42.7%となっている。



病児保育施設を利用しなかった（利用したいと思わなかった）理由 × 子どもの年齢別〔就学前児童〕

子どもの年齢別にみると、『2歳』を除く各年齢で「病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」が多くなっている。『2歳』では「父母が仕事を休んで対応できるため」の割合が高く、3～4歳でも5割前後となっている。

上段：件数 下段：%	合計	は外の病気の 不安の人の子どもを みても家族以外	病気の子どもは みるべきである 家族が	あるサービスの 質に不安が	施設のある場所が 不便	勝手などがよくない 利用できない時間・日数	利用料がかかる、高い	利用料がわからない	応母が仕事をするため	その他	特に理由はない	無回答
全体	302 100.0	170 56.3	111 36.8	34 11.3	86 28.5	59 19.5	65 21.5	25 8.3	129 42.7	32 10.6	2 0.7	10 3.3
0歳	14 100.0	7 50.0	4 28.6	-	6 42.9	1 7.1	2 14.3	1 7.1	4 28.6	2 14.3	-	1 7.1
1歳	44 100.0	31 70.5	13 29.5	3 6.8	9 20.5	4 9.1	9 20.5	2 4.5	14 31.8	6 13.6	1 2.3	-
2歳	48 100.0	23 47.9	20 41.7	9 18.8	17 35.4	11 22.9	5 10.4	6 12.5	25 52.1	6 12.5	-	1 2.1
3歳	54 100.0	28 51.9	22 40.7	4 7.4	12 22.2	11 20.4	13 24.1	4 7.4	27 50.0	4 7.4	-	2 3.7
4歳	60 100.0	33 55.0	25 41.7	7 11.7	17 28.3	9 15.0	13 21.7	5 8.3	29 48.3	5 8.3	1 1.7	3 5.0
5歳	62 100.0	34 54.8	21 33.9	7 11.3	20 32.3	17 27.4	17 27.4	6 9.7	26 41.9	9 14.5	-	2 3.2
6歳	20 100.0	14 70.0	6 30.0	4 20.0	5 25.0	6 30.0	6 30.0	1 5.0	4 20.0	-	-	1 5.0
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

病児保育施設を利用しなかった（利用したいと思わなかった）理由 × 家庭類型別〔就学前児童〕

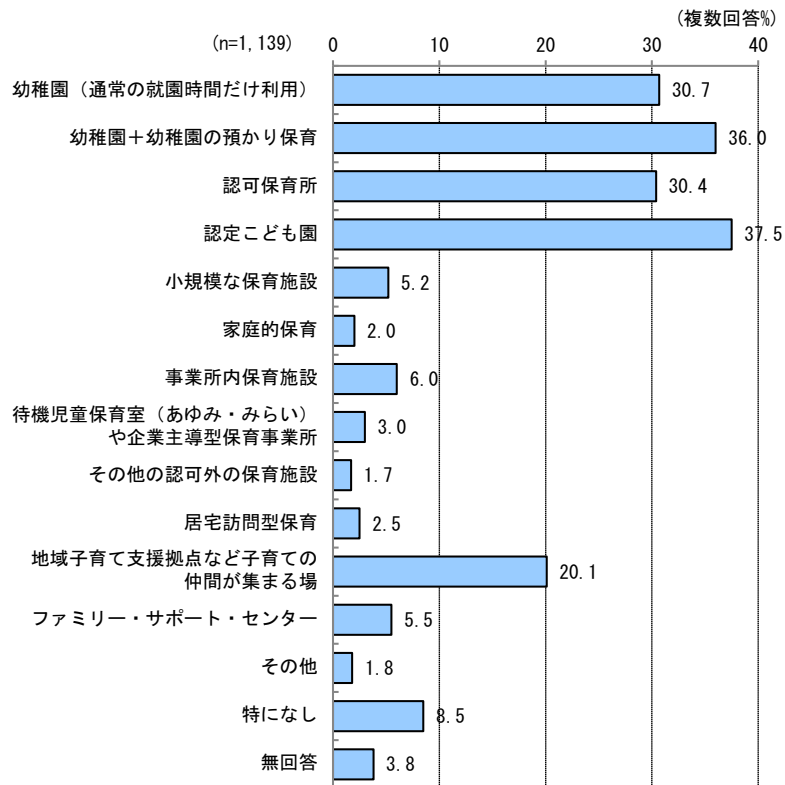
家庭類型別にみると、家庭類型に関わらず「病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」が最も多くなっている。

上段：件数 下段：%	合計	は外の病気の 不安の人の子どもを みても家族以外	病気の子どもは みるべきである 家族が	あるサービスの 質に不安が	施設のある場所が 不便	勝手などがよくない 利用できない時間・日数	利用料がかかる、高い	利用料がわからない	応母が仕事をするため	その他	特に理由はない	無回答
全体	302 100.0	170 56.3	111 36.8	34 11.3	86 28.5	59 19.5	65 21.5	25 8.3	129 42.7	32 10.6	2 0.7	10 3.3
ひとり親	7 100.0	5 71.4	3 42.9	-	3 42.9	1 14.3	4 57.1	1 14.3	1 14.3	2 28.6	-	-
フルタイム共働きの家庭	127 100.0	65 51.2	42 33.1	12 9.4	36 28.3	34 26.8	22 17.3	4 3.1	51 40.2	17 13.4	-	3 2.4
フルタイム・パートタイム 共働きの家庭	132 100.0	82 62.1	53 40.2	20 15.2	36 27.3	19 14.4	34 25.8	14 10.6	63 47.7	12 9.1	1 0.8	5 3.8
夫婦の一方が家事に 専念している家庭	7 100.0	4 57.1	3 42.9	2 28.6	2 28.6	1 14.3	-	3 42.9	2 28.6	-	-	1 14.3
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	29 100.0	14 48.3	10 34.5	-	9 31.0	4 13.8	5 17.2	3 10.3	12 41.4	1 3.4	1 3.4	1 3.4

5 平日の定期的な施設やサービスの利用希望について

(1) 平日に定期的に利用したい施設やサービス [就学前児童…問18]

平日に定期的に利用したい施設やサービスとして、「認定こども園」(37.5%)と「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」(36.0%)の利用希望が多い。「幼稚園(通常の見園時間だけ利用)」(30.7%)、「認可保育所」(30.4%)も利用希望が3割台となっている。



平日に定期的にご利用したい施設やサービス × 子どもの年齢別〔就学前児童〕

子どもの年齢別にみると、0～2歳は「認定こども園」が、3歳以上の各年齢では「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」がそれぞれ多くなっている。『0歳』『1歳』では、認定こども園に次いで「認可保育所」が多く、「地域子育て支援拠点など子育ての仲間が集まる場」も3割を超えている。

上段：件数 下段：%	合計	幼稚園（通常 の就園時間だけ 利用）	幼稚園＋幼稚園 の預かり保育	認可 保育所	認定 こども 園	小規模 な保育 施設	家庭 的保育	事業 所内保 育施設	い 待機 児童 保育 室（あ ゆみ・ みら い） や企 業主 導型 保育 事業 所	そ の 他 の 認 可 外 の 保 育 施 設	居 宅 訪 問 型 保 育	地 域 子 育 て 支 援 拠 点 な ど 子 育 て の 仲 間 が 集 ま る 場	フ ァ ミ リ ー ・ サ ポ ー ト ・ セ ン タ ー	そ の 他	特 に な し	無 回 答
全 体	1,139 100.0	350 30.7	410 36.0	346 30.4	427 37.5	59 5.2	23 2.0	68 6.0	34 3.0	19 1.7	29 2.5	229 20.1	63 5.5	20 1.8	97 8.5	43 3.8
0歳	155 100.0	36 23.2	47 30.3	70 45.2	75 48.4	18 11.6	5 3.2	15 9.7	10 6.5	2 1.3	4 2.6	60 38.7	13 8.4	1 0.6	12 7.7	2 1.3
1歳	176 100.0	62 35.2	62 35.2	69 39.2	78 44.3	14 8.0	3 1.7	14 8.0	5 2.8	4 2.3	6 3.4	62 35.2	10 5.7	2 1.1	13 7.4	1 0.6
2歳	164 100.0	53 32.3	57 34.8	54 32.9	66 40.2	13 7.9	4 2.4	6 3.7	5 3.0	5 3.0	3 1.8	37 22.6	5 3.0	3 1.8	9 5.5	1 0.6
3歳	163 100.0	58 35.6	63 38.7	39 23.9	61 37.4	4 2.5	1 0.6	4 2.5	5 3.1	1 0.6	3 1.8	21 12.9	5 3.1	-	11 6.7	4 2.5
4歳	165 100.0	52 31.5	72 43.6	44 26.7	61 37.0	3 1.8	6 3.6	12 7.3	3 1.8	3 1.8	5 3.0	18 10.9	11 6.7	2 1.2	11 6.7	4 2.4
5歳	159 100.0	63 39.6	72 45.3	46 28.9	53 33.3	4 2.5	3 1.9	8 5.0	2 1.3	2 1.3	4 2.5	18 11.3	8 5.0	2 1.3	4 2.5	1 0.6
6歳	149 100.0	24 16.1	36 24.2	23 15.4	30 20.1	3 2.0	-	8 5.4	3 2.0	2 1.3	3 2.0	12 8.1	10 6.7	9 6.0	36 24.2	29 19.5
無回答	8 100.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	3 37.5	-	1 12.5	1 12.5	1 12.5	-	1 12.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5

平日に定期的にご利用したい施設やサービス × 家庭類型別〔就学前児童〕

家庭類型別にみると、『ひとり親』『フルタイム共働きの家庭』では『認定こども園』が最も多くなっている。『フルタイム・パートタイム共働きの家庭』では「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が、『夫婦の一方が家事に専従している家庭』では「幼稚園（通常の利用）」がそれぞれ最も多くなっている。また、「地域子育て支援拠点など子育ての仲間が集まる場」は『夫婦の一方が家事に専従している家庭』の割合が高い。

上段：件数 下段：%	合計	幼稚園（通常 の就園時間だけ 利用）	幼稚園＋幼稚園 の預かり保育	認可 保育所	認定 こども 園	小規模 な保育 施設	家庭 的保育	事業 所内保 育施設	い 待機 児童 保育 室（あ ゆみ・ みら い） や企 業主 導型 保育 事業 所	そ の 他 の 認 可 外 の 保 育 施 設	居 宅 訪 問 型 保 育	地 域 子 育 て 支 援 拠 点 な ど 子 育 て の 仲 間 が 集 ま る 場	フ ァ ミ リ ー ・ サ ポ ー ト ・ セ ン タ ー	そ の 他	特 に な し	無 回 答
全 体	1,139 100.0	350 30.7	410 36.0	346 30.4	427 37.5	59 5.2	23 2.0	68 6.0	34 3.0	19 1.7	29 2.5	229 20.1	63 5.5	20 1.8	97 8.5	43 3.8
ひとり親	20 100.0	2 10.0	5 25.0	4 20.0	8 40.0	-	-	-	-	-	-	-	1 5.0	-	5 25.0	-
フルタイム共働きの家庭	299 100.0	24 8.0	67 22.4	154 51.5	167 55.9	15 5.0	7 2.3	23 7.7	10 3.3	5 1.7	3 1.0	50 16.7	16 5.4	4 1.3	23 7.7	12 4.0
フルタイム・パートタイム 共働きの家庭	285 100.0	71 24.9	125 43.9	96 33.7	106 37.2	14 4.9	6 2.1	15 5.3	13 4.6	3 1.1	4 1.4	34 11.9	16 5.6	4 1.4	22 7.7	16 5.6
夫婦の一方が家事に 専念している家庭	405 100.0	216 53.3	167 41.2	59 14.6	104 25.7	24 5.9	6 1.5	21 5.2	10 2.5	11 2.7	12 3.0	120 29.6	21 5.2	10 2.5	29 7.2	9 2.2
その他	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	2 66.7	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3	-	-	-
無回答	127 100.0	36 28.3	45 35.4	32 25.2	40 31.5	6 4.7	4 3.1	9 7.1	1 0.8	-	3 2.4	25 19.7	8 6.3	2 1.6	18 14.2	6 4.7

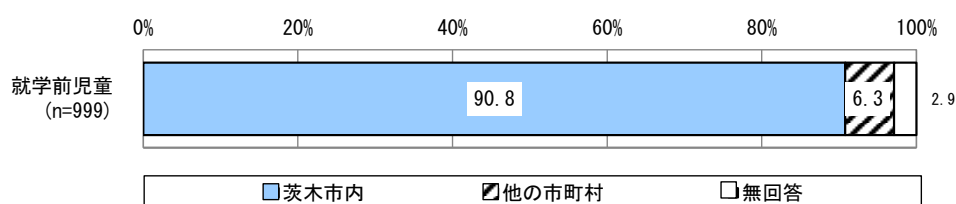
平日に定期的に利用したい施設やサービス × 平日に定期的に利用している施設やサービス別〔就学前児童〕

現在利用している施設やサービス別にみると、『幼稚園（通常の就園時間だけ利用）』利用者のうち50.6%は「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」を希望している。『認定こども園』利用者のうち34.2%は「認可保育所」を、25.5%は「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」をそれぞれ希望している。また、『小規模の保育施設』利用者のうち60.9%は「認定保育所」を、47.8%は「認定こども園」をそれぞれ希望している。

	平日の定期的に利用したい施設やサービス															
	合計	幼稚園（通常の就園時間だけ利用）	幼稚園＋幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	待機児童保育室（あゆみ・みらい）や企業主導型保育事業所	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	地域子育て支援拠点など子育ての仲間が集まる場	ファミリー・サポート・センター	その他	特になし	無回答
上段：件数 下段：%																
全体	720 100.0	197 27.4	280 38.9	247 34.3	306 42.5	25 3.5	17 2.4	41 5.7	16 2.2	10 1.4	17 2.4	96 13.3	36 5.0	8 1.1	37 5.1	11 1.5
現在利用している施設やサービス																
幼稚園（通常の就園時間だけ利用）	180 100.0	130 72.2	91 50.6	15 8.3	25 13.9	4 2.2	4 2.2	5 2.8	1 0.6	1 0.6	6 3.3	27 15.0	6 3.3	2 1.1	3 1.7	3 1.7
幼稚園＋幼稚園の預かり保育	77 100.0	17 22.1	73 94.8	10 13.0	23 29.9	3 3.9	1 1.3	6 7.8	2 2.6	-	-	5 6.5	4 5.2	1 1.3	2 2.6	-
認可保育所	143 100.0	11 7.7	26 18.2	112 78.3	41 28.7	5 3.5	6 4.2	8 5.6	6 4.2	2 1.4	5 3.5	14 9.8	7 4.9	3 2.1	8 5.6	4 2.8
認定こども園	231 100.0	15 6.5	59 25.5	79 34.2	185 80.1	3 1.3	6 2.6	15 6.5	4 1.7	-	6 2.6	31 13.4	16 6.9	1 0.4	15 6.5	2 0.9
小規模な保育施設	23 100.0	6 26.1	9 39.1	14 60.9	11 47.8	7 30.4	-	1 4.3	1 4.3	-	-	4 17.4	-	-	-	-
家庭的保育	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
事業所内保育施設	10 100.0	3 30.0	2 20.0	1 10.0	2 20.0	-	-	2 20.0	-	-	-	2 20.0	1 10.0	-	3 30.0	-
待機児童保育室（あゆみ・みらい）や企業主導型保育事業所	10 100.0	2 20.0	4 40.0	6 60.0	4 40.0	-	-	1 10.0	-	-	1 10.0	1 10.0	-	-	1 10.0	-
その他の認可外の保育施設	15 100.0	4 26.7	6 40.0	8 53.3	9 60.0	2 13.3	-	3 20.0	1 6.7	6 40.0	-	3 20.0	1 6.7	-	1 6.7	-
居宅訪問型保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
地域子育て支援拠点など子育ての仲間が集まる場	25 100.0	8 32.0	12 48.0	5 20.0	9 36.0	2 8.0	-	-	-	-	-	16 64.0	-	-	2 8.0	1 4.0
ファミリー・サポート・センター	7 100.0	1 14.3	4 57.1	4 57.1	4 57.1	-	-	-	1 14.3	-	-	-	3 42.9	-	-	-
その他	28 100.0	6 21.4	15 53.6	6 21.4	11 39.3	-	-	2 7.1	-	1 3.6	1 3.6	4 14.3	3 10.7	2 7.1	1 3.6	-
無回答	9 100.0	1 11.1	2 22.2	1 11.1	1 11.1	-	-	-	1 11.1	-	-	-	-	-	3 33.3	1 11.1

(2) 利用を希望している施設やサービスのある場所 [就学前児童…問18-1]

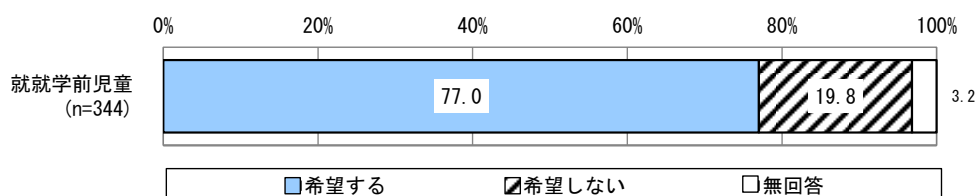
平日に定期的に利用したい施設やサービスの場所は、「茨木市内」が90.8%を占めている。



(1) で「幼稚園」または「幼稚園+幼稚園の預かり保育」を選び、かつ、それ以外の選択肢も選んだ方

(3) 幼稚園の利用希望の強さ [就学前児童…問18-2]

「幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「幼稚園+幼稚園の預かり保育」を回答し、他の施設・サービスの利用希望もある家庭に、幼稚園の利用希望の強さをたずねたところ、「希望する」が77.0%に対し「希望しない」は19.8%となっている。



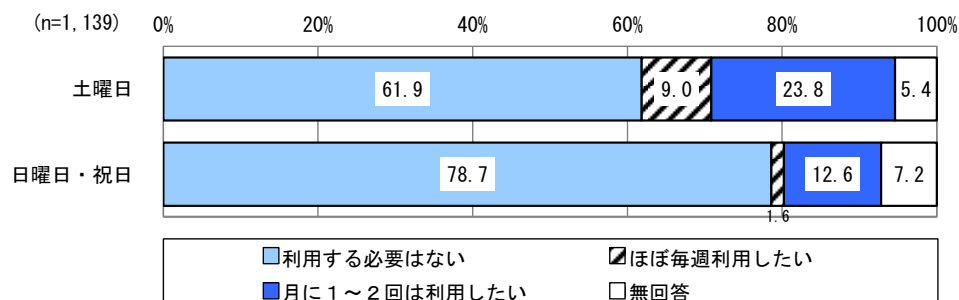
6 幼稚園や保育所などの土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の利用について

(1) 土曜日、日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望

①利用希望 [就学前児童…問19]

幼稚園や保育所、認定こども園などの利用希望について、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」が最も多く、それぞれ61.9%、78.7%となっている。

利用希望のある家庭に利用したい時間帯をたずねると、開始時間は土曜日は「9時台」(37.3%)、日曜日・祝日は「8時台」(34.8%)が最も多く、終了時間はどちらも「18時台」(それぞれ33.5%、41.0%)が最も多くなっている。



□利用開始時間

【就学前児童】 開始時間	土曜日 (n=373)		日曜日・祝日 (n=161)	
	件数	%	件数	%
7時より前	-	-	-	-
7時台	52	13.9	22	13.7
8時台	130	34.9	56	34.8
9時台	139	37.3	53	32.9
10時以降	26	7.0	15	9.3
無回答	26	7.0	15	9.3

□利用終了時間

【就学前児童】 終了時間	土曜日 (n=373)		日曜日・祝日 (n=161)	
	件数	%	件数	%
14時より前	19	5.1	3	1.9
14時台	23	6.2	7	4.3
15時台	30	8.0	7	4.3
16時台	48	12.9	18	11.2
17時台	84	22.5	31	19.3
18時台	125	33.5	66	41.0
19時以降	18	4.8	14	8.7
無回答	26	7.0	15	9.3

土曜日の教育・保育事業の利用希望×平日に定期的に利用したい施設やサービス別〔就学前児童〕

平日に定期的に利用したい施設やサービス別にみると、『家庭的保育』『居宅訪問型保育』『ファミリー・サポート・センター』の利用希望者では、「月に1～2回は利用したい」が多い。これら以外の施設やサービスでは「利用する必要はない」が多くなっている。

上段：件数 下段：%	合計	は利 ない する 必要	しほ たぼ い毎 週利 用	は月 利に 用1 し た2 い回	無 回 答
全 体	1,139 100.0	705 61.9	102 9.0	271 23.8	61 5.4
幼稚園（通常の就園時間だけ利用）	350 100.0	276 78.9	18 5.1	51 14.6	5 1.4
幼稚園＋幼稚園の預かり保育	410 100.0	252 61.5	38 9.3	115 28.0	5 1.2
認可保育所	346 100.0	171 49.4	37 10.7	127 36.7	11 3.2
認定こども園	427 100.0	219 51.3	52 12.2	145 34.0	11 2.6
小規模な保育施設	59 100.0	32 54.2	6 10.2	20 33.9	1 1.7
家庭的保育	23 100.0	4 17.4	7 30.4	12 52.2	- -
事業所内保育施設	68 100.0	32 47.1	8 11.8	27 39.7	1 1.5
待機児童保育室（あゆみ・みらい） や企業主導型保育事業所	34 100.0	17 50.0	4 11.8	13 38.2	- -
その他の認可外の保育施設	19 100.0	15 78.9	1 5.3	3 15.8	- -
居宅訪問型保育	29 100.0	9 31.0	5 17.2	14 48.3	1 3.4
地域子育て支援拠点など子育ての 仲間が集まる場	229 100.0	148 64.6	15 6.6	59 25.8	7 3.1
ファミリー・サポート・センター	63 100.0	25 39.7	9 14.3	27 42.9	2 3.2
その他	20 100.0	9 45.0	2 10.0	6 30.0	3 15.0
特になし	97 100.0	69 71.1	7 7.2	14 14.4	7 7.2
無回答	43 100.0	10 23.3	2 4.7	4 9.3	27 62.8

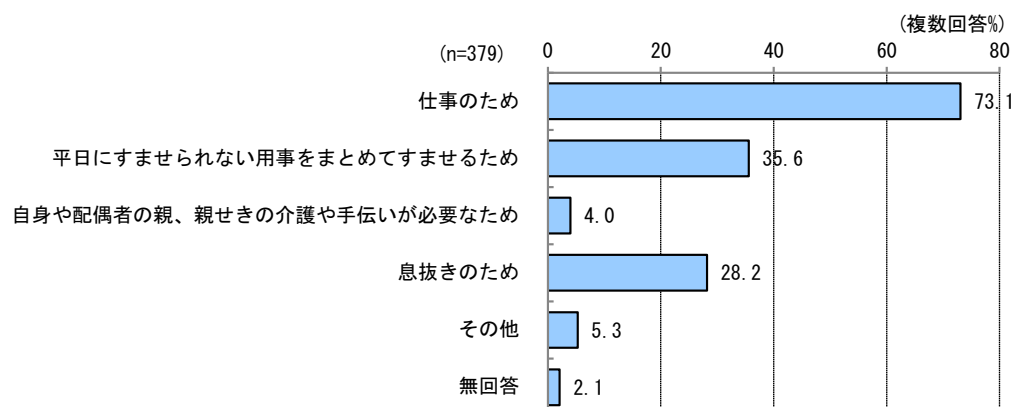
平日に定期的に利用したい施設やサービス別にみると、「利用する必要はない」がサービスに関わらず最も多くなっている。『家庭的保育』では「月に1～2回は利用したい」が34.8%で最も多くなっている。

上段：件数 下段：%	合計	は利 ない する 必要	しほ ぼ た い 毎 週 利 用	は月 利に 用1 し た2 回	無 回 答
全 体	1,139 100.0	896 78.7	18 1.6	143 12.6	82 7.2
幼稚園（通常の就園時間だけ利用）	350 100.0	311 88.9	6 1.7	24 6.9	9 2.6
幼稚園＋幼稚園の預かり保育	410 100.0	330 80.5	6 1.5	62 15.1	12 2.9
認可保育所	346 100.0	264 76.3	8 2.3	56 16.2	18 5.2
認定こども園	427 100.0	327 76.6	11 2.6	71 16.6	18 4.2
小規模な保育施設	59 100.0	46 78.0	1 1.7	10 16.9	2 3.4
家庭的保育	23 100.0	12 52.2	2 8.7	8 34.8	1 4.3
事業所内保育施設	68 100.0	48 70.6	3 4.4	15 22.1	2 2.9
待機児童保育室（あゆみ・みらい） や企業主導型保育事業所	34 100.0	24 70.6	1 2.9	9 26.5	-
その他の認可外の保育施設	19 100.0	16 84.2	-	2 10.5	1 5.3
居宅訪問型保育	29 100.0	16 55.2	1 3.4	8 27.6	4 13.8
地域子育て支援拠点など子育ての 仲間が集まる場	229 100.0	190 83.0	3 1.3	25 10.9	11 4.8
ファミリー・サポート・センター	63 100.0	43 68.3	1 1.6	15 23.8	4 6.3
その他	20 100.0	10 50.0	2 10.0	4 20.0	4 20.0
特になし	97 100.0	80 82.5	2 2.1	5 5.2	10 10.3
無回答	43 100.0	11 25.6	-	4 9.3	28 65.1

①で「ほぼ利用したい」または「月に1～2回は利用したい」を選んだ方

②利用したい理由〔就学前児童…問19-1〕

「仕事のため」が73.1%で最も多い。これに次いで「平日にすませられない用事をまとめてすませるため」（35.6%）、「息抜きのため」（28.2%）となっている。



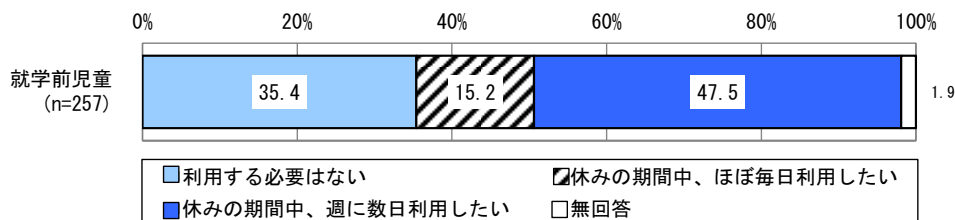
現在幼稚園を利用されている方

(2) 夏休み・冬休みなど長期休暇中での幼稚園の利用希望

① 利用希望 [就学前児童…問20]

現在、幼稚園を利用し、夏休み・冬休みなど長期休暇中に幼稚園の利用を希望する家庭は62.7%で、そのうち「休みの期間中、週に数日利用したい」が47.5%で最も多い。

利用希望のある家庭に利用したい時間帯をたずねると、開始時間は「9時台」(62.7%)が、終了時間は「15時台」(21.1%)がそれぞれ最も多くなっている。



□ 利用したい時間帯（開始）

【就学前児童】 開始時間	長期休暇 (n=161)	
	件数	%
7時より前	-	-
7時台	8	5.0
8時台	42	26.1
9時台	101	62.7
10時以降	4	2.5
無回答	6	3.7

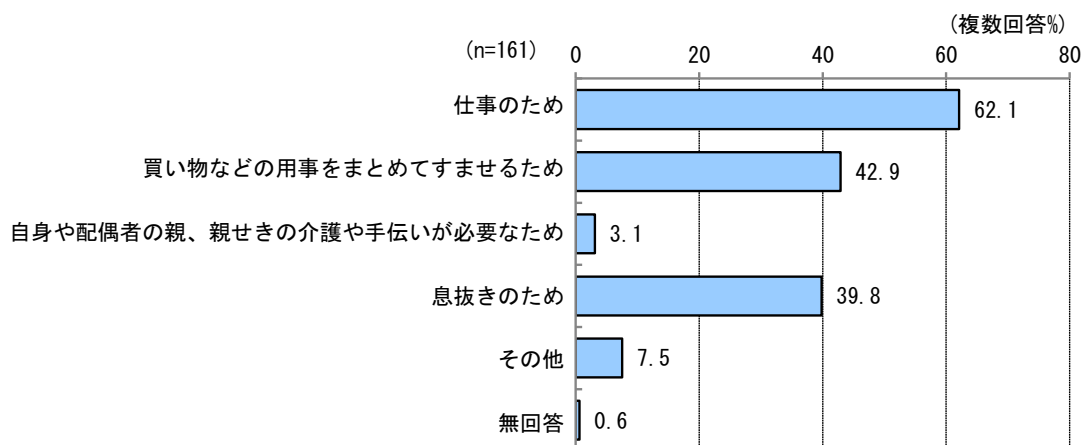
□ 利用したい時間帯（終了）

【就学前児童】 終了時間	長期休暇 (n=161)	
	件数	%
14時より前	9	5.6
14時台	27	16.8
15時台	34	21.1
16時台	31	19.3
17時台	31	19.3
18時台	20	12.4
19時以降	3	1.9
無回答	6	3.7

①で「ほぼ毎日利用したい」または「週に数日利用したい」を選んだ方

② 利用したい理由 [就学前児童…問20-1]

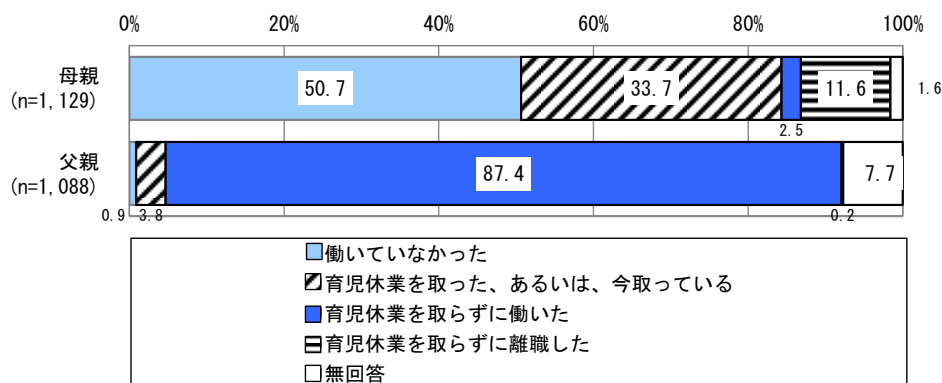
「仕事のため」が62.1%で最も多い。これに次いで「買い物などの用事をまとめて済ませるため」(42.9%)、「息抜きのため」(39.8%)となっている。



7 仕事と子育ての両立について

(1) 母親・父親の育児休業の取得状況 [就学前児童…問21]

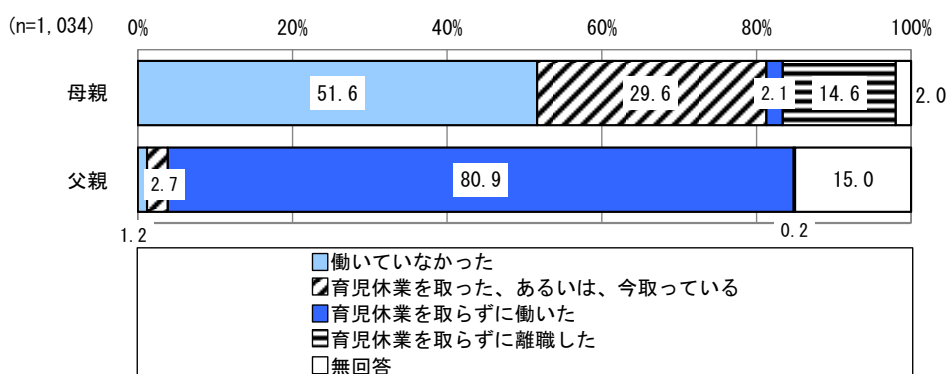
母親・父親の育児休業の取得状況をみると、母親の場合は、「働いていなかった」が50.7%で最も多く、「育児休業を取った、あるいは、今取っている」は33.7%となっている。また、母親の11.6%は、「育児休業を取らずに離職した」と回答している。これに対し、父親の場合は、「育児休業を取らずに働いた」が87.4%を占め、「育児休業を取った、あるいは、今取っている」は3.8%となっている。



□ 父親／育児休業取得日数

【就学前児童】 育児休業日数	父親 (n=41)	
	件数	%
1日～3日	5	12.2
4日～7日	14	34.1
8日～10日	4	9.8
11日～14日	1	2.4
15日以上	9	22.0
無回答	8	19.5

【参考】平成25年度調査



母親が育児休業を取らずに働いた理由は、「収入減となり、経済的に苦しくなる」「職場に育児休業の制度がなかった」（各28.6%）が多く、「出産後すぐに仕事に復帰したかった」（25.0%）、「保育所などに預けることができた」（21.4%）などが続いている。

また、母親が育児休業を取らずに離職した理由は「子育てや家事に専念するため」（30.5%）が最も多く、次いで「仕事に戻るのが難しそうだった」（22.1%）となっている。

□母親の育児休業を取得しなかった（取得していない）理由

(複数回答%)

上段：件数 下段：%	n	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	仕事が忙しかった	出産後すぐに仕事に復帰したかった	仕事に戻るのが難しそうだった	昇給・昇格などが遅れそうだった	収入減となり、経済的に苦しくなる	収入減となり、経済的に苦しくなる	保育所などに預けることができた	配偶者が育児休業制度を利用した	配偶者が無職、親にみてもらうなど制度を利用する必要がなかった	配偶者が無職、親にみてもらうなど制度を利用する必要がなかった	子育てや家事に専念するため	職場に育児休業の制度がなかった	取得要件を満たさなかった	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	知らなかった	育児休業を取れることを知らなかった	産前産後の休暇を取得できなかった	その他	無回答
育児休業を取らずに働いた理由	28 100	4 14.3	5 17.9	7 25.0	1 3.6	0 -	8 28.6	6 21.4	1 3.6	1 3.6	0 -	0 -	8 28.6	2 7.1	0 -	0 -	0 -	0 -	7 25.0	4 14.3	
育児休業を取らずに離職した理由	131 100	23 17.6	10 7.6	5 3.8	29 22.1	0 -	2 1.5	1 0.8	0 -	0 -	0 -	40 30.5	25 19.1	8 6.1	0 -	0 -	0 -	0 -	24 18.3	26 19.8	

父親が育児休業を取らずに働いた理由は、「仕事が忙しかった」が38.4%で最も多く、次いで「配偶者が無職、親などにみてもらうなど、制度を利用する必要がなかった」（32.0%）、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（31.4%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（26.0%）、「配偶者が育児休業制度を利用した」（24.9%）などが続いている。

□父親の育児休業を取得しなかった（取得していない）理由

(複数回答%)

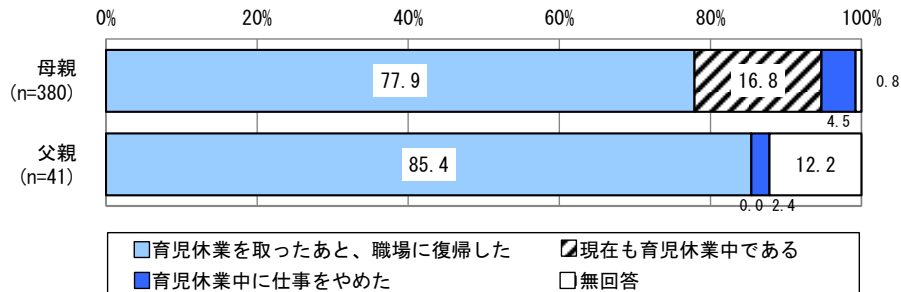
上段：件数 下段：%	n	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	仕事が忙しかった	出産後すぐに仕事に復帰したかった	仕事に戻るのが難しそうだった	昇給・昇格などが遅れそうだった	収入減となり、経済的に苦しくなる	収入減となり、経済的に苦しくなる	保育所などに預けることができた	配偶者が育児休業制度を利用した	配偶者が無職、親にみてもらうなど制度を利用する必要がなかった	配偶者が無職、親にみてもらうなど制度を利用する必要がなかった	子育てや家事に専念するため	職場に育児休業の制度がなかった	取得要件を満たさなかった	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	知らなかった	育児休業を取れることを知らなかった	産前産後の休暇を取得できなかった	その他	無回答
育児休業を取らずに働いた理由	951 100	299 31.4	365 38.4	7 0.7	36 3.8	61 6.4	247 26.0	13 1.4	237 24.9	304 32.0	1 0.1	104 10.9	1 0.1	16 1.7	3 0.3	39 4.1	72 7.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
育児休業を取らずに離職した理由	2 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(1)で「育児休業を取った、あるいは、今取っている」を選んだ方

(2) 母親・父親の育児休業後の職場復帰について

①職場復帰の状況 [就学前児童…問21-1]

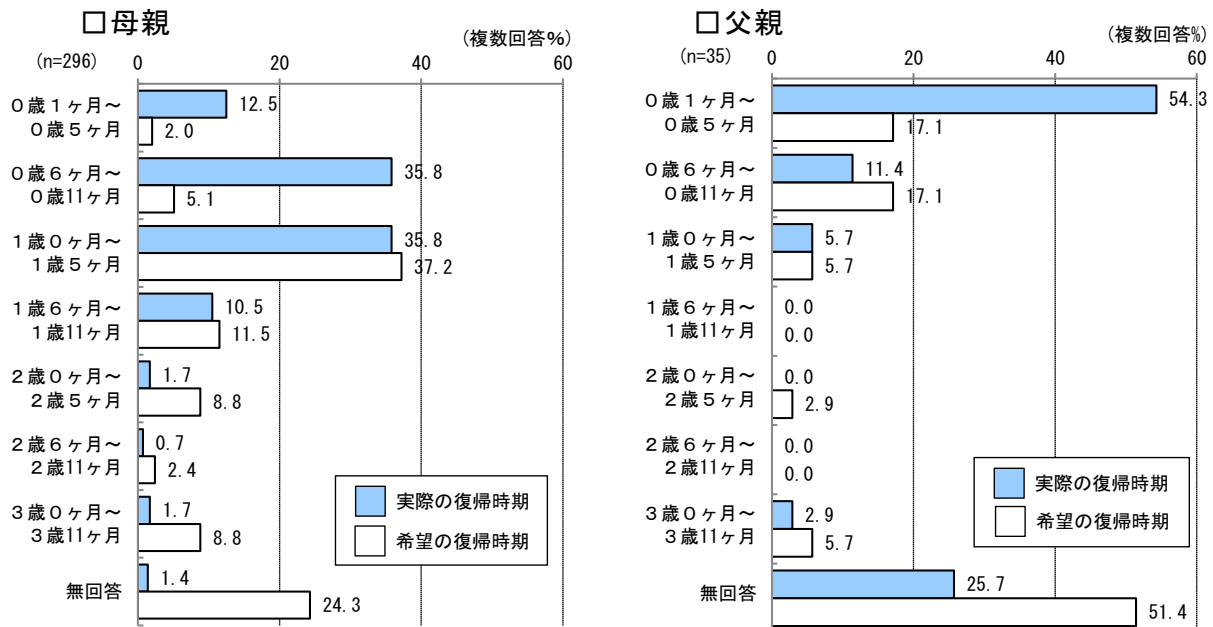
「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」割合は、母親が77.9%に対し、父親は85.4%となっている。また、母親では、「現在も育児休業中である」が16.8%となっている。



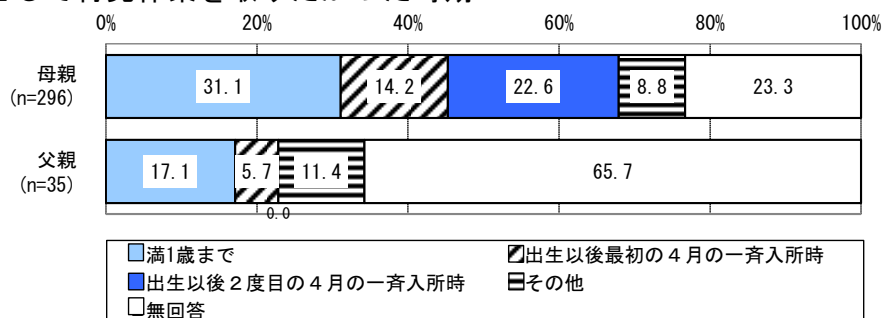
①で「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」を選んだ方

②職場復帰の時期と実際の育児休業取得希望期間 [就学前児童…問21-2]

母親の育児休業の希望取得時期（希望の復帰時期）は「1歳0ヶ月～1歳5ヶ月」が37.2%で最も多いが、実際に職場に復帰した時期（子どもの年齢）は、「0歳6ヶ月～11ヶ月」と「1歳0ヶ月～1歳5ヶ月」が各35.8%で、7割が0歳半～1歳5ヶ月までの間に復帰している。また、「出生以後最初の4月の一斉入所時」までの希望は14.2%、「出生以後2度目の4月の一斉入所時」までの希望は22.6%となっている。



希望として育児休業を取りたかった時期



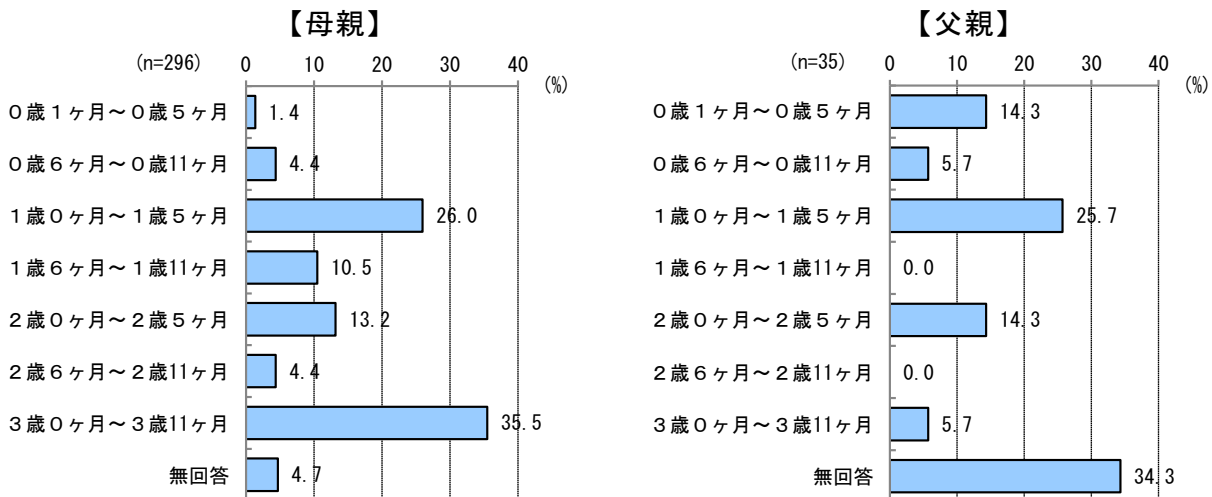
①で「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」を選んだ方

③ 3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の育児休業取得希望期間

[就学前児童…問21-3]

3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の育児休業取得希望期間は、母親の場合は「3歳0ヶ月～3歳11ヶ月」が35.5%で最も多く、次いで「1歳0ヶ月～1歳5ヶ月」(26.0%)となっている。

父親の場合は、「1歳0ヶ月～1歳5ヶ月」が25.7%で最も多く、次いで「0歳1ヶ月～0歳5ヶ月」と「2歳0ヶ月～2歳5ヶ月」(各14.3%)となっている。



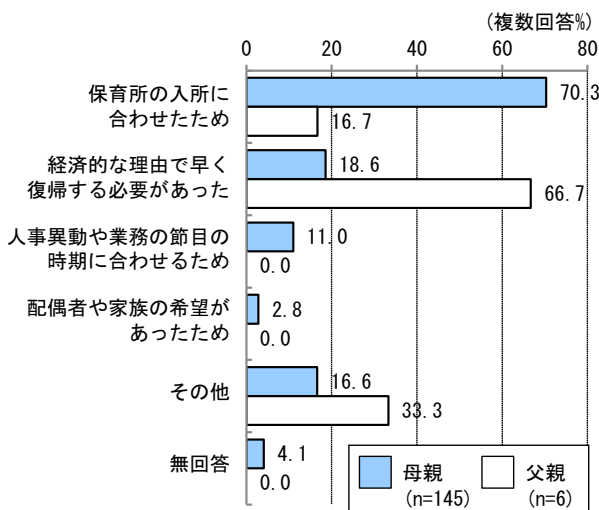
②で実際の復帰と希望が異なる方

④実際の職場への復帰時期が希望と異なる場合の理由 [就学前児童…問21-4]

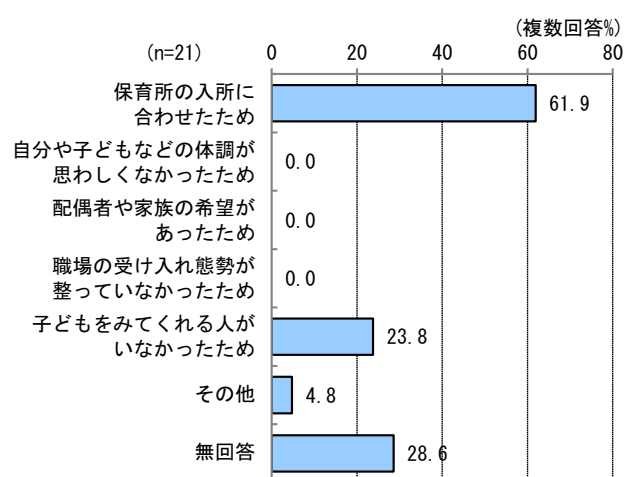
職場への復帰時期を希望より早くした理由は、母親の場合、「保育所の入所に合わせたため」が70.3%で最も多い。

職場への復帰時期を希望より遅くした理由は、母親の場合、「保育所の入所に合わせたため」が61.9%で最も多い。

(ア) 希望より早く職場復帰した理由



(イ) 希望より遅く職場復帰した理由



* (イ) は父親の回答者は無し

(3) 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間 [就学前児童…問22、小学生…問19]

① 就学前児童

1日当たりの子どもと過ごす時間について、就学前児童は、母親の場合、平日、休日ともに「12時間以上」が最も多く、父親の場合、平日は「1時間～3時間未満」、休日は「12時間以上」が最も多い。

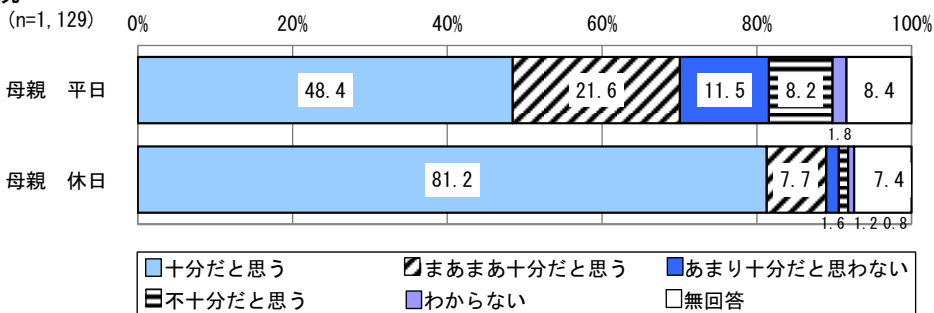
一緒に過ごす時間が十分かについて、就学前児童は、母親の場合、平日、休日ともに「十分だと思う」が最も多く、父親の場合、平日は「不十分だと思う」、休日は「十分だと思う」が最も多い。

【就学前児童】母親 子どもと過ごす時間	平日 (n=1,129)		休日 (n=1,129)	
	件数	%	件数	%
1時間未満	1	0.1	-	-
1時間～3時間未満	24	2.1	5	0.4
3時間～6時間未満	284	25.2	15	1.3
6時間～12時間未満	242	21.4	86	7.6
12時間以上	500	44.3	940	83.3
無回答	78	6.9	83	7.4

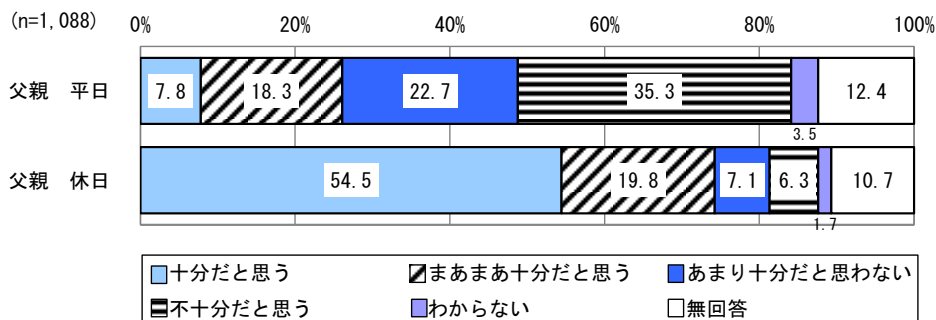
【就学前児童】父親 子どもと過ごす時間	平日 (n=1,088)		休日 (n=1,088)	
	件数	%	件数	%
1時間未満	160	14.7	5	0.5
1時間～3時間未満	415	38.1	35	3.2
3時間～6時間未満	271	24.9	77	7.1
6時間～12時間未満	66	6.1	182	16.7
12時間以上	58	5.3	669	61.5
無回答	118	10.8	120	11.0

子どもと一緒に過ごす時間に対する評価 (就学前児童)

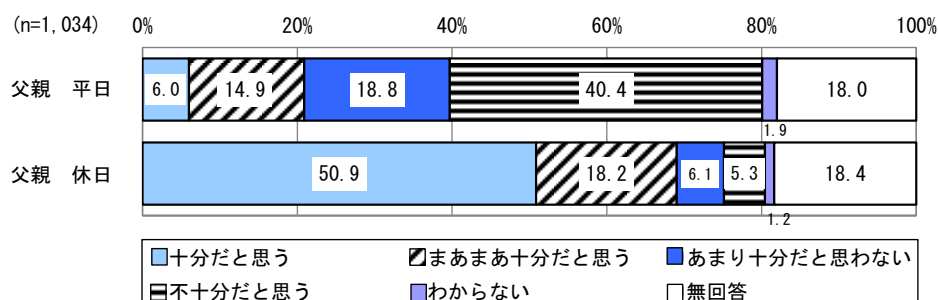
□ 母親



□ 父親



【参考】平成25年度調査



1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間 × 家庭類型別〔就学前児童〕

□母親

家庭類型別にみると、平日では『ひとり親』『フルタイム共働きの家庭』は「3時間～6時間未満」が最も多くなっている。それ以外は「12時間以上」が最も多くなっている。

休日は、いずれも「12時間以上」が最も多い。

【平日】

【就学前児童】 上段：件数 下段：%	合計	1時間未満	3時間未満	6時間未満	16時間未満	12時間以上	無回答
全体	1,129 100.0	1 0.1	24 2.1	284 25.2	242 21.4	500 44.3	78 6.9
ひとり親	19 100.0	-	1 5.3	11 57.9	1 5.3	4 21.1	2 10.5
フルタイム共働きの家庭	299 100.0	-	16 5.4	140 46.8	37 12.4	91 30.4	15 5.0
フルタイム・パートタイム共働きの家庭	285 100.0	1 0.4	3 1.1	84 29.5	83 29.1	94 33.0	20 7.0
夫婦の一方が家事に専念している家庭	405 100.0	-	2 0.5	19 4.7	95 23.5	262 64.7	27 6.7
その他	3 100.0	-	-	-	-	3 100.0	-
無回答	118 100.0	-	2 1.7	30 25.4	26 22.0	46 39.0	14 11.9

【休日】

合計	1時間未満	3時間未満	6時間未満	16時間未満	12時間以上	無回答
1,129 100.0	-	5 0.4	15 1.3	86 7.6	940 83.3	83 7.4
19 100.0	-	-	-	2 10.5	16 84.2	1 5.3
299 100.0	-	4 1.3	7 2.3	21 7.0	249 83.3	18 6.0
285 100.0	-	-	4 1.4	23 8.1	238 83.5	20 7.0
405 100.0	-	1 0.2	1 0.2	28 6.9	345 85.2	30 7.4
3 100.0	-	-	-	-	3 100.0	-
118 100.0	-	-	3 2.5	12 10.2	89 75.4	14 11.9

□父親

家庭類型別にみると、平日は『ひとり親』を除く家庭では「1時間～3時間未満」が最も多くなっている。

休日は、いずれも「12時間以上」が最も多い。

【平日】

【就学前児童】 上段：件数 下段：%	合計	1時間未満	3時間未満	6時間未満	16時間未満	12時間以上	無回答
全体	1,088 100.0	160 14.7	415 38.1	271 24.9	66 6.1	58 5.3	118 10.8
ひとり親	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-
フルタイム共働きの家庭	299 100.0	32 10.7	115 38.5	79 26.4	21 7.0	21 7.0	31 10.4
フルタイム・パートタイム共働きの家庭	285 100.0	41 14.4	105 36.8	81 28.4	12 4.2	16 5.6	30 10.5
夫婦の一方が家事に専念している家庭	405 100.0	78 19.3	162 40.0	89 22.0	23 5.7	16 4.0	37 9.1
その他	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	-	1 33.3	-
無回答	95 100.0	8 8.4	32 33.7	22 23.2	10 10.5	3 3.2	20 21.1

【休日】

合計	1時間未満	3時間未満	6時間未満	16時間未満	12時間以上	無回答
1,088 100.0	5 0.5	35 3.2	77 7.1	182 16.7	669 61.5	120 11.0
1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-
299 100.0	2 0.7	8 2.7	22 7.4	46 15.4	189 63.2	32 10.7
285 100.0	2 0.7	14 4.9	18 6.3	46 16.1	175 61.4	30 10.5
405 100.0	-	11 2.7	32 7.9	74 18.3	252 62.2	36 8.9
3 100.0	-	1 33.3	-	-	2 66.7	-
95 100.0	1 1.1	1 1.1	5 5.3	16 16.8	50 52.6	22 23.2

子どもと一緒に過ごす時間が十分か × 家庭類型別〔就学前児童〕

□母親

家庭類型別にみると、平日は『フルタイム・パートタイム共働きの家庭』『夫婦の一方が家事に専念している家庭』は「十分だと思う」が最も多くなっている。『フルタイム共働きの家庭』は「まあまあ十分だと思う」、『ひとり親』では「あまり十分だと思わない」が最も多くなっている。

休日は、いずれも「十分だと思う」が最も多い。

【平日】

【就学前児童】 上段：件数 下段：%	合計	十分 だと思 う	十 分だ とあ ま あ あ 思 う	思 わ な い あ ま り 十 分 だ と	不 十 分 だ と 思 う	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1,129 100.0	547 48.4	244 21.6	130 11.5	93 8.2	20 1.8	95 8.4
ひとり親	19 100.0	3 15.8	4 21.1	7 36.8	3 15.8	-	2 10.5
フルタイム共働きの家庭	299 100.0	70 23.4	73 24.4	62 20.7	67 22.4	6 2.0	21 7.0
フルタイム・パートタイム 共働きの家庭	285 100.0	104 36.5	91 31.9	44 15.4	13 4.6	7 2.5	26 9.1
夫婦の一方が家事に 専念している家庭	405 100.0	318 78.5	50 12.3	4 1.0	1 0.2	3 0.7	29 7.2
その他	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	-	-	-
無回答	118 100.0	50 42.4	25 21.2	13 11.0	9 7.6	4 3.4	17 14.4

【休日】

合計	十分 だと思 う	十 分だ とあ ま あ 思 う	思 わ な い あ ま り 十 分 だ と	不 十 分 だ と 思 う	わ か ら な い	無 回 答
1,129 100.0	917 81.2	87 7.7	18 1.6	14 1.2	9 0.8	84 7.4
19 100.0	9 47.4	8 42.1	-	1 5.3	-	1 5.3
299 100.0	232 77.6	28 9.4	11 3.7	7 2.3	1 0.3	20 6.7
285 100.0	230 80.7	27 9.5	2 0.7	1 0.4	3 1.1	22 7.7
405 100.0	351 86.7	20 4.9	2 0.5	1 0.2	4 1.0	27 6.7
3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	-	-	-
118 100.0	93 78.8	3 2.5	3 2.5	4 3.4	1 0.8	14 11.9

□父親

家庭類型別にみると、平日は『フルタイム共働きの家庭』『フルタイム・パートタイム共働きの家庭』『夫婦の一方が家事に専念している家庭』は、いずれも「不十分だと思う」が最も多くなっている。

休日は、いずれも「十分だと思う」が最も多い。

【平日】

【就学前児童】 上段：件数 下段：%	合計	十分 だと思 う	十 分だ とあ ま あ 思 う	思 わ な い あ ま り 十 分 だ と	不 十 分 だ と 思 う	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1,088 100.0	85 7.8	199 18.3	247 22.7	384 35.3	38 3.5	135 12.4
ひとり親	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-
フルタイム共働きの家庭	299 100.0	14 4.7	46 15.4	68 22.7	129 43.1	9 3.0	33 11.0
フルタイム・パートタイム 共働きの家庭	285 100.0	19 6.7	54 18.9	71 24.9	90 31.6	13 4.6	38 13.3
夫婦の一方が家事に 専念している家庭	405 100.0	45 11.1	81 20.0	86 21.2	142 35.1	12 3.0	39 9.6
その他	3 100.0	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-
無回答	95 100.0	6 6.3	17 17.9	21 22.1	22 23.2	4 4.2	25 26.3

【休日】

合計	十分 だと思 う	十 分だ とあ ま あ 思 う	思 わ な い あ ま り 十 分 だ と	不 十 分 だ と 思 う	わ か ら な い	無 回 答
1,088 100.0	593 54.5	215 19.8	77 7.1	69 6.3	18 1.7	116 10.7
1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-
299 100.0	168 56.2	50 16.7	27 9.0	18 6.0	3 1.0	33 11.0
285 100.0	153 53.7	57 20.0	14 4.9	24 8.4	6 2.1	31 10.9
405 100.0	228 56.3	89 22.0	30 7.4	23 5.7	4 1.0	31 7.7
3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-	-
95 100.0	42 44.2	18 18.9	5 5.3	4 4.2	5 5.3	21 22.1

②小学生

小学生と過ごす時間は、母親の場合、平日は「3時間～6時間未満」が、休日は「12時間以上」が最も多い。父親の場合、平日は「1時間～3時間未満」が、休日は「12時間以上」が最も多い。

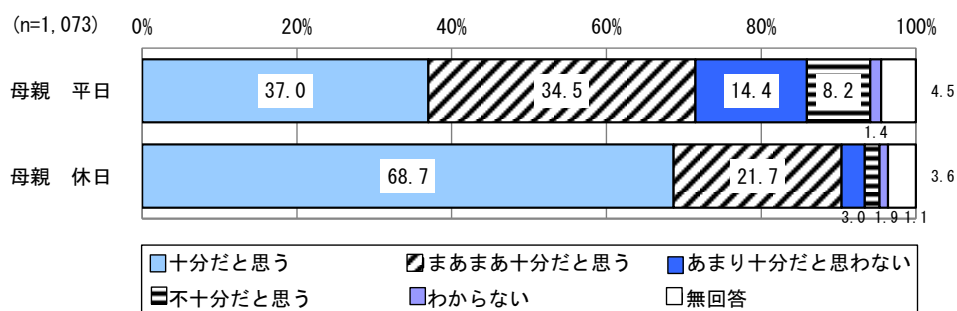
一緒に過ごす時間が十分かについて、小学生は、母親の場合、平日、休日ともに「十分だと思う」が最も多く、父親の場合、平日は「不十分だと思う」、休日は「十分だと思う」が最も多い。

【小学生】母親 子どもと過ごす時間	平日 (n=1,073)		休日 (n=1,073)	
	件数	%	件数	%
1時間未満	-	-	-	-
1時間～3時間未満	53	4.9	8	0.7
3時間～6時間未満	478	44.5	61	5.7
6時間～12時間未満	334	31.1	209	19.5
12時間以上	160	14.9	729	67.9
無回答	48	4.5	66	6.2

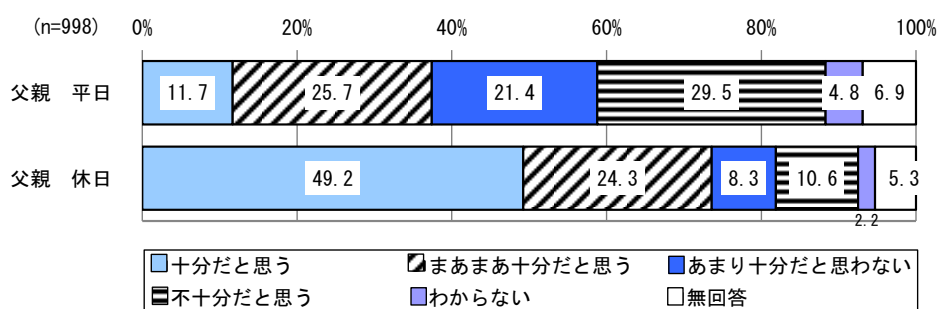
【小学生】父親 子どもと過ごす時間	平日 (n=998)		休日 (n=998)	
	件数	%	件数	%
1時間未満	160	16.0	18	1.8
1時間～3時間未満	447	44.8	39	3.9
3時間～6時間未満	235	23.5	130	13.0
6時間～12時間未満	65	6.5	245	24.5
12時間以上	36	3.6	492	49.3
無回答	55	5.5	74	7.4

子どもと一緒に過ごす時間に対する評価（小学生）

□母親



□父親



1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間 × 家庭類型別〔小学生〕

□母親

家庭類型別にみると、平日ではいずれの家庭類型も「12時間以上」が最も多くなっている。

休日は、『フルタイム共働きの家庭』『フルタイム・パートタイム共働きの家庭』『夫婦の一方が家事に専念している家庭』では、いずれも「1時間～3時間未満」が最も多い。

【平日】

【小学生】 上段：件数 下段：%	合計	1時間未満	31時間未満	63時間未満	162時間未満	12時間以上	無回答
全体	1,074 100.0	- -	8 0.7	62 5.8	209 19.5	729 67.9	66 6.1
ひとり親	36 100.0	- -	1 2.8	1 2.8	6 16.7	24 66.7	4 11.1
フルタイム共働きの家庭	204 100.0	- -	5 2.5	15 7.4	46 22.5	128 62.7	10 4.9
フルタイム・パートタイム共働きの家庭	467 100.0	- -	2 0.4	24 5.1	95 20.3	322 69.0	24 5.1
夫婦の一方が家事に専念している家庭	232 100.0	- -	- -	10 4.3	35 15.1	180 77.6	7 3.0
その他	2 100.0	- -	- -	- -	1 50.0	1 50.0	- -
無回答	133 100.0	- -	- -	12 9.0	26 19.5	74 55.6	21 15.8

【休日】

合計	1時間未満	31時間未満	63時間未満	162時間未満	12時間以上	無回答
998 100.0	160 16.0	447 44.8	235 23.5	65 6.5	36 3.6	55 5.5
4 100.0	- -	- -	1 25.0	- -	1 25.0	2 50.0
204 100.0	32 15.7	90 44.1	54 26.5	14 6.9	9 4.4	5 2.5
467 100.0	81 17.3	203 43.5	113 24.2	32 6.9	13 2.8	25 5.4
232 100.0	31 13.4	115 49.6	53 22.8	15 6.5	10 4.3	8 3.4
2 100.0	- -	- -	1 50.0	- -	- -	1 50.0
89 100.0	16 18.0	39 43.8	13 14.6	4 4.5	3 3.4	14 15.7

□父親

家庭類型別にみると、平日は『ひとり親』『その他』を除く家庭では「1時間～3時間未満」が最も多くなっている。

休日は、『その他』を除く家庭では、いずれも「12時間以上」が最も多い。

【平日】

【小学生】 上段：件数 下段：%	合計	1時間未満	31時間未満	63時間未満	162時間未満	12時間以上	無回答
全体	998 100.0	160 16.0	447 44.8	235 23.5	65 6.5	36 3.6	55 5.5
ひとり親	4 100.0	- -	- -	1 25.0	- -	1 25.0	2 50.0
フルタイム共働きの家庭	204 100.0	32 15.7	90 44.1	54 26.5	14 6.9	9 4.4	5 2.5
フルタイム・パートタイム共働きの家庭	467 100.0	81 17.3	203 43.5	113 24.2	32 6.9	13 2.8	25 5.4
夫婦の一方が家事に専念している家庭	232 100.0	31 13.4	115 49.6	53 22.8	15 6.5	10 4.3	8 3.4
その他	2 100.0	- -	- -	1 50.0	- -	- -	1 50.0
無回答	89 100.0	16 18.0	39 43.8	13 14.6	4 4.5	3 3.4	14 15.7

【休日】

合計	1時間未満	31時間未満	63時間未満	162時間未満	12時間以上	無回答
998 100.0	18 1.8	39 3.9	130 13.0	245 24.5	492 49.3	74 7.4
4 100.0	- -	- -	- -	1 25.0	3 75.0	- -
204 100.0	4 2.0	11 5.4	28 13.7	53 26.0	97 47.5	11 5.4
467 100.0	8 1.7	17 3.6	67 14.3	117 25.1	221 47.3	37 7.9
232 100.0	5 2.2	8 3.4	25 10.8	51 22.0	134 57.8	9 3.9
2 100.0	- -	- -	- -	2 100.0	- -	- -
89 100.0	1 1.1	3 3.4	10 11.2	21 23.6	37 41.6	17 19.1

子どもと一緒に過ごす時間が十分か × 家庭類型別〔小学生〕

□母親

家庭類型別にみると、平日は『フルタイム共働きの家庭』『フルタイム・パートタイム共働きの家庭』は「まあまあ十分だと思う」が最も多い。『夫婦の一方が家事に専念している家庭』は「十分だと思う」が最も多く、『ひとり親』では「十分だと思う」と「不十分だと思う」が同率で最も多い。

休日は、いずれも「十分だと思う」が最も多い。

【平日】

【小学生】 上段：件数 下段：%	合計	十分 だと思 う	十 分だ と 思 う	ま あ ま あ と 思 わ な い	と あ ま り 十 分 だ	不 十 分 だ と 思 う	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1,074 100.0	397 37.0	370 34.5	155 14.4	89 8.3	15 1.4	48 4.5	
ひとり親	36 100.0	9 25.0	7 19.4	8 22.2	9 25.0	1 2.8	2 5.6	
フルタイム共働きの家庭	204 100.0	15 7.4	67 32.8	62 30.4	43 21.1	2 1.0	15 7.4	
フルタイム・パートタイム 共働きの家庭	467 100.0	173 37.0	191 40.9	65 13.9	15 3.2	10 2.1	13 2.8	
夫婦の一方が家事に 専念している家庭	232 100.0	151 65.1	65 28.0	4 1.7	1 0.4	2 0.9	9 3.9	
その他	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-	
無回答	133 100.0	47 35.3	40 30.1	16 12.0	21 15.8	-	9 6.8	

【休日】

合計	十分 だと思 う	十 分だ と 思 う	ま あ ま あ と 思 わ な い	と あ ま り 十 分 だ	不 十 分 だ と 思 う	わ か ら な い	無 回 答
1,074 100.0	737 68.6	233 21.7	32 3.0	21 2.0	12 1.1	39 3.6	
36 100.0	21 58.3	7 19.4	3 8.3	1 2.8	1 2.8	3 8.3	
204 100.0	113 55.4	59 28.9	15 7.4	10 4.9	1 0.5	6 2.9	
467 100.0	330 70.7	106 22.7	7 1.5	7 1.5	6 1.3	11 2.4	
232 100.0	191 82.3	29 12.5	1 0.4	-	3 1.3	8 3.4	
2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-	
133 100.0	80 60.2	32 24.1	6 4.5	3 2.3	1 0.8	11 8.3	

□父親

家庭類型別にみると、平日は『フルタイム共働きの家庭』『フルタイム・パートタイム共働きの家庭』では、いずれも「不十分だと思う」が最も多くなっている。

休日は、いずれも「十分だと思う」が最も多い。

【平日】

【小学生】 上段：件数 下段：%	合計	十分 だと思 う	十 分だ と 思 う	ま あ ま あ と 思 わ な い	と あ ま り 十 分 だ	不 十 分 だ と 思 う	わ か ら な い	無 回 答
全 体	998 100.0	117 11.7	256 25.7	214 21.4	294 29.5	48 4.8	69 6.9	
ひとり親	4 100.0	2 50.0	1 25.0	-	1 25.0	-	-	
フルタイム共働きの家庭	204 100.0	11 5.4	49 24.0	43 21.1	82 40.2	3 1.5	16 7.8	
フルタイム・パートタイム 共働きの家庭	467 100.0	49 10.5	118 25.3	108 23.1	138 29.6	27 5.8	27 5.8	
夫婦の一方が家事に 専念している家庭	232 100.0	44 19.0	64 27.6	50 21.6	50 21.6	13 5.6	11 4.7	
その他	2 100.0	-	1 50.0	-	-	1 50.0	-	
無回答	89 100.0	11 12.4	23 25.8	13 14.6	23 25.8	4 4.5	15 16.9	

【休日】

合計	十分 だと思 う	十 分だ と 思 う	ま あ ま あ と 思 わ な い	と あ ま り 十 分 だ	不 十 分 だ と 思 う	わ か ら な い	無 回 答
998 100.0	491 49.2	243 24.3	83 8.3	106 10.6	22 2.2	53 5.3	
4 100.0	3 75.0	-	1 25.0	-	-	-	
204 100.0	91 44.6	49 24.0	19 9.3	30 14.7	5 2.5	10 4.9	
467 100.0	219 46.9	128 27.4	39 8.4	47 10.1	12 2.6	22 4.7	
232 100.0	137 59.1	44 19.0	15 6.5	21 9.1	5 2.2	10 4.3	
2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	
89 100.0	40 44.9	21 23.6	9 10.1	8 9.0	-	11 12.4	

(4) 1日当たり家事に従事する時間 [就学前児童…問23、小学生…問20]

1日当たり家事に従事する時間について、就学前児童及び小学生の母親は「3時間～6時間未満」が5割を占めている。これに対し、父親は、就学前児童、小学生とも「1時間未満」が半数前後で、「1時間～3時間未満」を合わせると、8割を占めている。

【就学前児童】 家事をする時間	母親 (n=1,129)		父親 (n=1,088)	
	件数	%	件数	%
1時間未満	4	0.4	509	46.8
1時間～3時間未満	141	12.5	391	35.9
3時間～6時間未満	577	51.1	57	5.2
6時間～12時間未満	231	20.5	14	1.3
12時間以上	89	7.9	4	0.4
無回答	87	7.7	113	10.4

【小学生】 家事をする時間	母親 (n=1,073)		父親 (n=998)	
	件数	%	件数	%
1時間未満	2	0.2	532	53.3
1時間～3時間未満	146	13.6	346	34.7
3時間～6時間未満	591	55.1	47	4.7
6時間～12時間未満	211	19.7	16	1.6
12時間以上	55	5.1	3	0.3
無回答	68	6.3	54	5.4

【参考】平成25年度調査

【就学前児童】 家事をする時間	母親 (n=1,034)		父親 (n=1,034)	
	件数	%	件数	%
1時間未満	0	0.0	359	34.7
1時間～3時間未満	146	14.1	430	41.6
3時間～6時間未満	510	49.3	37	3.6
6時間～12時間未満	182	17.7	12	1.2
12時間以上	120	11.6	4	0.4
無回答	76	7.4	192	18.6

【小学生】 家事をする時間	母親 (n=958)		父親 (n=958)	
	件数	%	件数	%
1時間未満	2	0.2	364	38.0
1時間～3時間未満	117	12.2	398	41.5
3時間～6時間未満	527	55.0	20	2.1
6時間～12時間未満	184	19.2	8	0.8
12時間以上	72	7.5	4	0.4
無回答	56	5.8	164	17.1

1日当たり家事に従事する時間 × 家庭類型別

□就学前児童

家庭類型別にみると、母親は、家庭類型に関わらず、いずれも「3時間～6時間未満」が最も多くなっている。

父親は、『フルタイム共働きの家庭』では「1時間～3時間未満」が最も多く、『フルタイム・パートタイム共働きの家庭』『夫婦の一方が家事に専念している家庭』では「1時間未満」が最も多くなっている。

【母親】

【就学前児童】 上段：件数 下段：%	合計	1時間未満	3時間未満	6時間未満	16時間未満	12時間以上	無回答
全体	1,129 100.0	4 0.4	141 12.5	577 51.1	231 20.5	89 7.9	87 7.7
ひとり親	19 100.0	-	4 21.1	12 63.2	1 5.3	1 5.3	1 5.3
フルタイム共働きの家庭	299 100.0	2 0.7	80 26.8	155 51.8	30 10.0	16 5.4	16 5.4
フルタイム・パートタイム共働きの家庭	285 100.0	-	33 11.6	162 56.8	47 16.5	24 8.4	19 6.7
夫婦の一方が家事に専念している家庭	405 100.0	1 0.2	16 4.0	189 46.7	128 31.6	37 9.1	34 8.4
その他	3 100.0	-	1 33.3	2 66.7	-	-	-
無回答	118 100.0	1 0.8	7 5.9	57 48.3	25 21.2	11 9.3	17 14.4

【父親】

合計	1時間未満	3時間未満	6時間未満	16時間未満	12時間以上	無回答
1,088 100.0	509 46.8	391 35.9	57 5.2	14 1.3	4 0.4	113 10.4
1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-
299 100.0	108 36.1	134 44.8	19 6.4	8 2.7	2 0.7	28 9.4
285 100.0	147 51.6	89 31.2	19 6.7	2 0.7	1 0.4	27 9.5
405 100.0	210 51.9	139 34.3	17 4.2	3 0.7	1 0.2	35 8.6
3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	-	-	-
95 100.0	42 44.2	28 29.5	1 1.1	1 1.1	-	23 24.2

□小学生

家庭類型別にみると、母親は、家庭類型に関わらず、いずれも「3時間～6時間未満」が最も多くなっている。

父親は、『フルタイム共働きの家庭』では「1時間～3時間未満」が最も多く、『フルタイム・パートタイム共働きの家庭』『夫婦の一方が家事に専念している家庭』では「1時間未満」が最も多くなっている。

【母親】

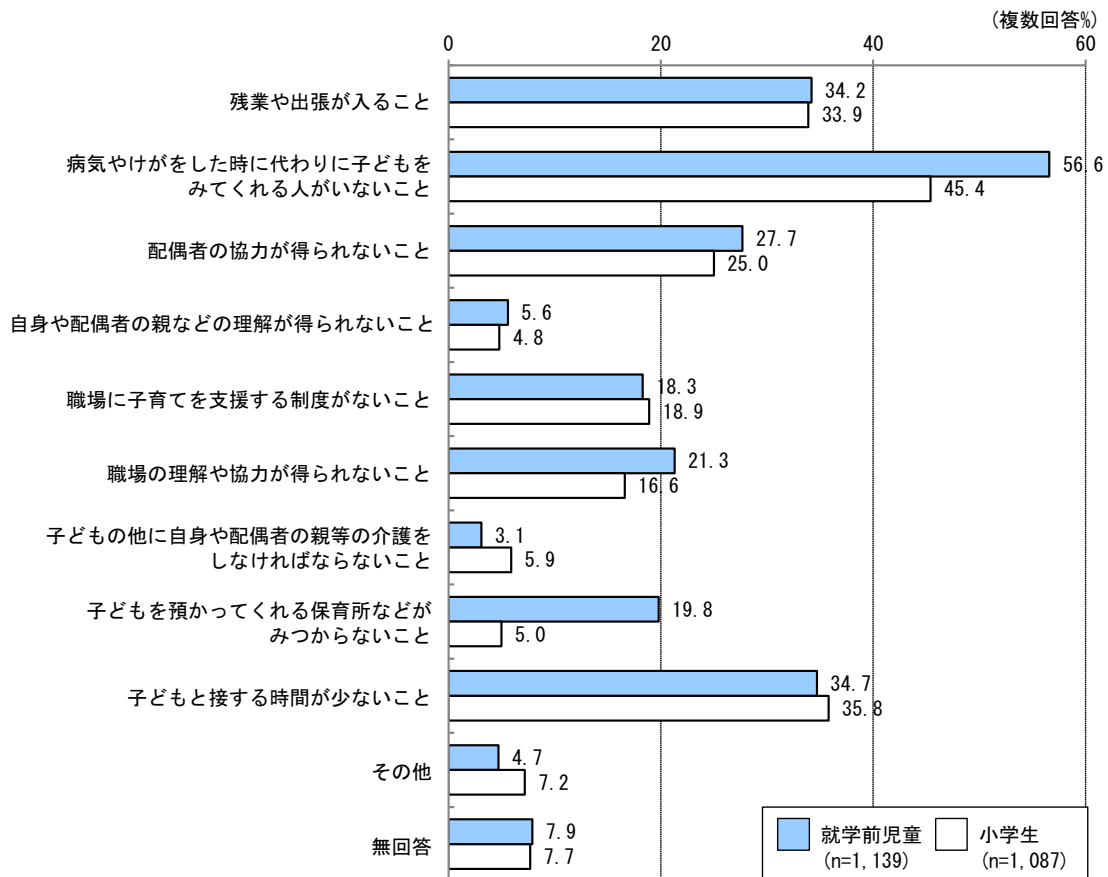
【小学生】 上段：件数 下段：%	合計	1時間未満	3時間未満	6時間未満	16時間未満	12時間以上	無回答
全体	1,074 100.0	2 0.2	146 13.6	592 55.1	211 19.6	55 5.1	68 6.3
ひとり親	36 100.0	-	7 19.4	18 50.0	6 16.7	1 2.8	4 11.1
フルタイム共働きの家庭	204 100.0	-	57 27.9	115 56.4	21 10.3	4 2.0	7 3.4
フルタイム・パートタイム共働きの家庭	467 100.0	-	51 10.9	266 57.0	99 21.2	25 5.4	26 5.6
夫婦の一方が家事に専念している家庭	232 100.0	1 0.4	8 3.4	128 55.2	67 28.9	17 7.3	11 4.7
その他	2 100.0	-	-	2 100.0	-	-	-
無回答	133 100.0	1 0.8	23 17.3	63 47.4	18 13.5	8 6.0	20 15.0

【父親】

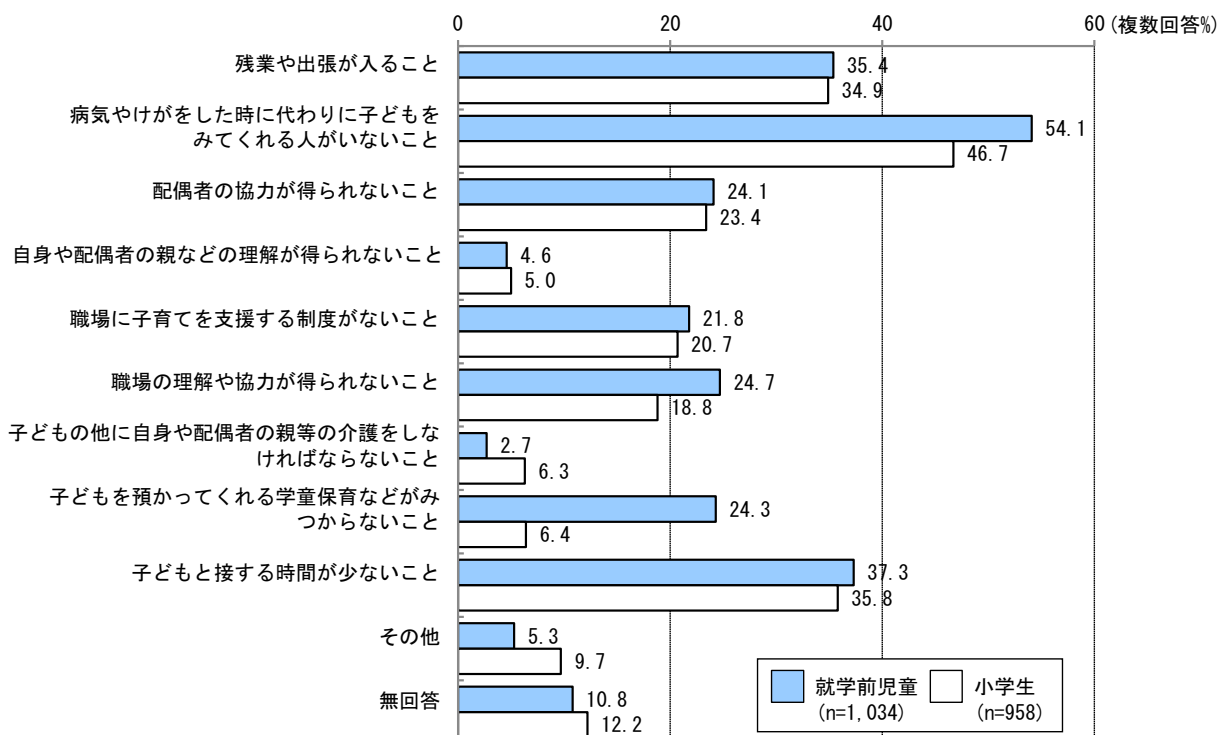
合計	1時間未満	3時間未満	6時間未満	16時間未満	12時間以上	無回答
998 100.0	532 53.3	346 34.7	47 4.7	16 1.6	3 0.3	54 5.4
4 100.0	-	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-
204 100.0	85 41.7	95 46.6	13 6.4	3 1.5	1 0.5	7 3.4
467 100.0	260 55.7	157 33.6	20 4.3	5 1.1	1 0.2	24 5.1
232 100.0	141 60.8	71 30.6	9 3.9	2 0.9	-	9 3.9
2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-
89 100.0	45 50.6	21 23.6	4 4.5	5 5.6	-	14 15.7

(5) 仕事と子育てを両立させる上での課題 [就学前児童…問24、小学生…問21]

就学前児童、小学生とも、「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」が最も多く、小学生(45.4%)に比べ就学前児童(56.6%)の割合が高くなっている。これに次いで、就学前児童、小学生とも、「子どもと接する時間が少ないこと」(就学前34.7%、小学生35.8%)、「残業や出張が入ること」(就学前34.2%、小学生33.9%)、「配偶者の協力が得られないこと」(就学前27.7%、小学生25.0%)などが続いている。



【参考】平成25年度調査



仕事と子育てを両立させる上での課題 × 家庭類型別〔就学前児童〕

家庭類型別にみると、『その他』を除く家庭類型では「病気やけがをした時に代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」が最も多くなっている。『フルタイム共働きの家庭』では「残業や出張が入ること」「子どもと接する時間が少ないこと」の割合が高い。

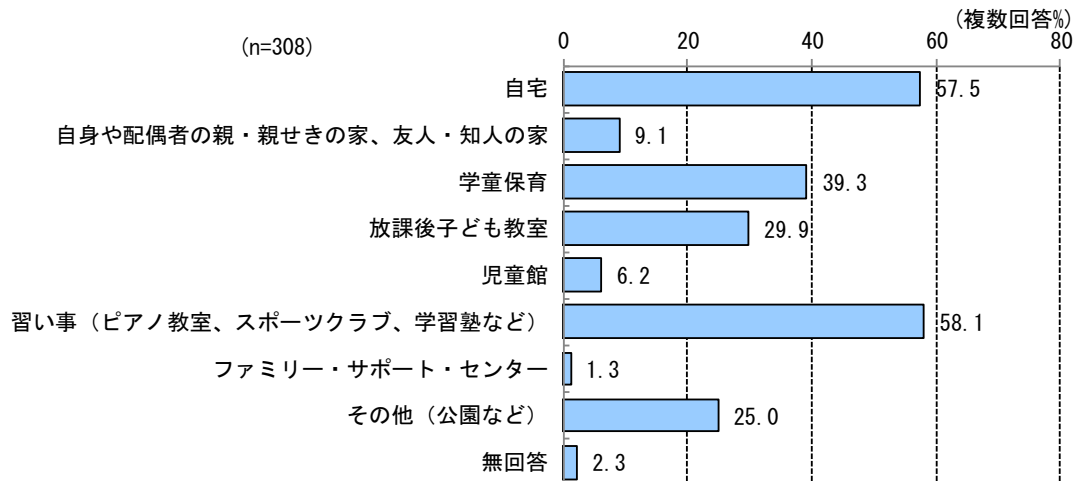
上段：件数 下段：%	合計	残業や出張が入ること	病気やけがをした時に代わりに子どもをみてくれる人がいないこと	配偶者の協力が得られないこと	自身や配偶者の親などの理解が得られないこと	職場に子育てを支援する制度がないこと	職場の理解や協力が得られないこと	子どもの他に自身や配偶者の親等の介護をしなければならぬこと	子どもを預かってくれる保育所などがみつからないこと	子どもと接する時間が少ないこと	その他	無回答
全 体	1,139 100.0	389 34.2	645 56.6	316 27.7	64 5.6	209 18.3	243 21.3	35 3.1	225 19.8	395 34.7	53 4.7	90 7.9
ひとり親	20 100.0	4 20.0	11 55.0	6 30.0	2 10.0	4 20.0	1 5.0	-	-	9 45.0	2 10.0	-
フルタイム共働きの家庭	299 100.0	135 45.2	156 52.2	67 22.4	12 4.0	34 11.4	53 17.7	6 2.0	55 18.4	135 45.2	21 7.0	17 5.7
フルタイム・パートタイム共働きの家庭	285 100.0	74 26.0	165 57.9	82 28.8	17 6.0	52 18.2	47 16.5	9 3.2	42 14.7	90 31.6	16 5.6	15 5.3
夫婦の一方が家事に専念している家庭	405 100.0	143 35.3	256 63.2	132 32.6	28 6.9	97 24.0	121 29.9	18 4.4	106 26.2	114 28.1	9 2.2	36 8.9
その他	3 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3	2 66.7	-	1 33.3
無回答	127 100.0	33 26.0	57 44.9	29 22.8	5 3.9	22 17.3	21 16.5	2 1.6	21 16.5	45 35.4	5 3.9	21 16.5

8 就学前児童（5歳以上）の小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 小学校低学年での希望する放課後の過ごし方 [就学前児童…問25]

小学校低学年の放課後の過ごし方の希望は、「自宅」(57.5%)と「習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)」(58.1%)が半数が多い。

「学童保育」は39.3%で、週5日の利用希望が66.9%となっている。利用希望時間は「17時台まで」が48.8%、「18時台」が32.2%となっている。「放課後子ども教室」は29.9%で、週1日の利用希望が41.3%で多くなっている。



□居場所別希望日数

【就学前児童】 小学校低学年 週あたりの利用希望日数	1日		2日		3日		4日		5日		無回答	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
①自宅 n=177	36	20.3	39	22.0	34	19.2	13	7.3	41	23.2	14	7.9
②自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家 n=28	15	53.6	3	10.7	2	7.1	-	-	3	10.7	5	17.9
③学童保育 n=121	4	3.3	7	5.8	10	8.3	14	11.6	81	66.9	5	4.1
④放課後子ども教室 n=92	38	41.3	23	25.0	11	12.0	7	7.6	11	12.0	2	2.2
⑤児童館 n=19	9	47.4	3	15.8	3	15.8	-	-	3	15.8	1	5.3
⑥習い事 (ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など) n=179	43	24.0	79	44.1	34	19.0	11	6.1	5	2.8	7	3.9
⑦ファミリー・サポート・センター n=4	1	25.0	-	-	-	-	-	-	2	50.0	1	25.0
⑧その他 (公園など) n=77	17	22.1	30	39.0	14	18.2	3	3.9	9	11.7	4	5.2

□小学校低学年での学童保育の利用希望時間

【就学前児童】 利用希望時間	小学校低学年 (n=121)	
	件数	%
16時台まで	1	0.8
17時台まで	59	48.8
18時台まで	39	32.2
19時台まで	11	9.1
20時台まで	2	1.7
無回答	9	7.4

小学校低学年の放課後の過ごし方 × 家庭類型別〔就学前児童〕

家庭類型別にみると、『ひとり親』『フルタイム共働きの家庭』では「学童保育」が最も多い。『フルタイム・パートタイム共働きの家庭』では「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が、『夫婦の一方が家事に専念している家庭』は「自宅」が最も多い。

上段：件数 下段：%	合計	自宅	友人・自身や親せきの家の家、	学童保育	放課後子ども教室	児童館	習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	ファミリー・センター	その他（公園など）	無回答
全体	308 100.0	177 57.5	28 9.1	121 39.3	92 29.9	19 6.2	179 58.1	4 1.3	77 25.0	7 2.3
ひとり親	8 100.0	3 37.5	1 12.5	4 50.0	2 25.0	-	3 37.5	-	-	-
フルタイム共働きの家庭	63 100.0	9 14.3	2 3.2	54 85.7	15 23.8	4 6.3	23 36.5	1 1.6	4 6.3	1 1.6
フルタイム・パートタイム共働きの家庭	97 100.0	58 59.8	9 9.3	35 36.1	28 28.9	5 5.2	62 63.9	2 2.1	25 25.8	3 3.1
夫婦の一方が家事に専念している家庭	101 100.0	88 87.1	11 10.9	11 10.9	37 36.6	9 8.9	73 72.3	1 1.0	38 37.6	1 1.0
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	39 100.0	19 48.7	5 12.8	17 43.6	10 25.6	1 2.6	18 46.2	-	10 25.6	2 5.1

小学校低学年の放課後の過ごし方 × 同居・近居者別〔就学前児童〕

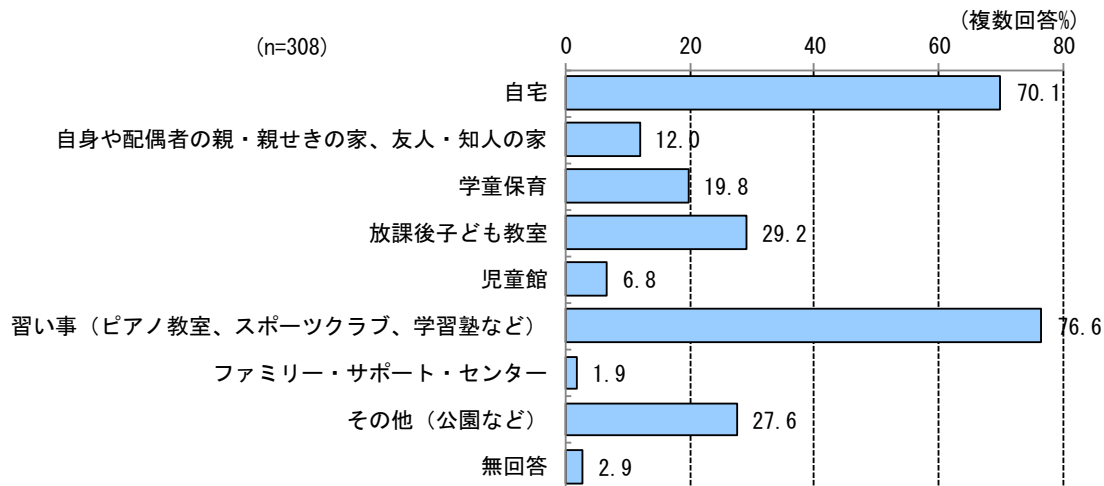
同居・近居者別にみると、『父と母と一緒に住んでいる』『祖父が近所に住んでいる』『祖母が近所に住んでいる』では「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が最も多くなっている。『ひとり親家庭（父子・母子家庭）』『祖父と一緒に住んでいる』では「学童保育」が最も多い。

上段：件数 下段：%	合計	自宅	友人・自身や親せきの家の家、	学童保育	放課後子ども教室	児童館	習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	ファミリー・センター	その他（公園など）	無回答
全体	308 100.0	177 57.5	28 9.1	121 39.3	92 29.9	19 6.2	179 58.1	4 1.3	77 25.0	7 2.3
父と母と一緒に住んでいる	286 100.0	169 59.1	26 9.1	109 38.1	88 30.8	18 6.3	171 59.8	4 1.4	76 26.6	7 2.4
父と一緒に住んでいる（父子家庭）	4 100.0	1 25.0	-	2 50.0	-	-	1 25.0	-	-	-
母と一緒に住んでいる（母子家庭）	17 100.0	6 35.3	2 11.8	10 58.8	4 23.5	-	7 41.2	-	1 5.9	-
祖父と一緒に住んでいる	17 100.0	9 52.9	-	10 58.8	2 11.8	1 5.9	9 52.9	-	3 17.6	-
祖母と一緒に住んでいる	17 100.0	10 58.8	-	7 41.2	3 17.6	1 5.9	10 58.8	-	2 11.8	-
祖父が近所に住んでいる	78 100.0	42 53.8	11 14.1	27 34.6	30 38.5	6 7.7	45 57.7	3 3.8	25 32.1	3 3.8
祖母が近所に住んでいる	88 100.0	50 56.8	13 14.8	31 35.2	33 37.5	7 8.0	54 61.4	2 2.3	28 31.8	3 3.4
その他	3 100.0	3 100.0	-	1 33.3	-	1 33.3	1 33.3	-	1 33.3	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(2) 小学校高学年での希望する放課後の過ごし方 [就学前児童…問26]

小学校高学年の放課後の過ごし方の希望は、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」（76.6%）と「自宅」（70.1%）が7割を占め多い。

「学童保育」は19.8%で、週5日の利用希望が49.2%となっている。利用希望時間は「17時台まで」が45.9%となっている。「放課後子ども教室」は29.2%で、週1日の利用希望が41.1%と多くなっている。



□居場所別希望日数

【就学前児童】 小学校高学年 週あたりの利用希望日数	1日		2日		3日		4日		5日		無回答	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
①自宅 n=216	43	19.9	63	29.2	36	16.7	6	2.8	46	21.3	22	10.2
②自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家 n=37	22	59.5	7	18.9	2	5.4	1	2.7	3	8.1	2	5.4
③学童保育 n=61	8	13.1	6	9.8	13	21.3	3	4.9	30	49.2	1	1.6
④放課後子ども教室 n=90	37	41.1	29	32.2	7	7.8	7	7.8	8	8.9	2	2.2
⑤児童館 n=21	5	23.8	8	38.1	1	4.8	-	-	5	23.8	2	9.5
⑥習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など） n=236	36	15.3	84	35.6	71	30.1	27	11.4	10	4.2	8	3.4
⑦ファミリー・サポート・センター n=6	2	33.3	1	16.7	-	-	-	-	2	33.3	1	16.7
⑧その他（公園など） n=85	24	28.2	29	34.1	11	12.9	8	9.4	11	12.9	2	2.4

□小学校高学年での学童保育の利用希望時間

【就学前児童】 利用希望時間	小学校高学年 (n=61)	
	件数	%
16時台まで	-	-
17時台まで	28	45.9
18時台まで	17	27.9
19時台まで	6	9.8
20時台まで	2	3.3
無回答	8	13.1

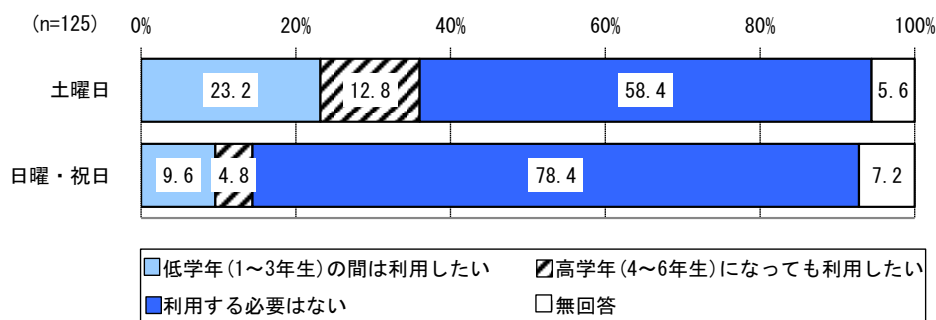
(1) または (2) で「学童保育」を選んだ方

(3) 土曜日、日曜日・祝日の学童保育の利用希望 [就学前児童…問27]

土曜日、日曜日・祝日とも「利用する必要はない」が最も多く、それぞれ58.4%、78.4%となっている。

低学年での利用開始希望時間は、土曜日、日曜日・祝日とも「8時台」が、利用終了希望時間は「18時台」が最も多い。

高学年での利用開始希望時間は、土曜日、日曜日・祝日とも「8時台」が、利用終了希望時間は土曜日は「17時台」が、日曜日・祝日は「19時以降」が最も多い。



【低学年での利用】

□利用したい時間帯（開始）

【就学前児童】低学年 開始時間	土曜日 (n=29)		日曜日・祝日 (n=12)	
	件数	%	件数	%
7時より前	-	-	-	-
7時台	4	13.8	1	8.3
8時台	15	51.7	7	58.3
9時台	5	17.2	2	16.7
10時以降	-	-	-	-
無回答	5	17.2	2	16.7

□利用したい時間帯（終了）

【就学前児童】低学年 終了時間	土曜日 (n=29)		日曜日・祝日 (n=12)	
	件数	%	件数	%
14時より前	-	-	1	8.3
14時台	1	3.4	-	-
15時台	-	-	-	-
16時台	1	3.4	-	-
17時台	8	27.6	2	16.7
18時台	10	34.5	6	50.0
19時以降	4	13.8	1	8.3
無回答	5	17.2	2	16.7

【高学年での利用】

□利用したい時間帯（開始）

【就学前児童】高学年 開始時間	土曜日 (n=16)		日曜日・祝日 (n=6)	
	件数	%	件数	%
7時より前	-	-	-	-
7時台	1	6.3	-	-
8時台	10	62.5	4	66.7
9時台	5	31.3	2	33.3
10時以降	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-

□利用したい時間帯（終了）

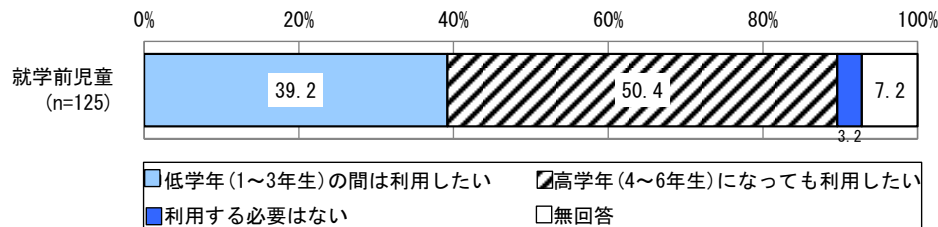
【就学前児童】高学年 終了時間	土曜日 (n=16)		日曜日・祝日 (n=6)	
	件数	%	件数	%
14時より前	1	6.3	-	-
14時台	-	-	-	-
15時台	-	-	-	-
16時台	-	-	-	-
17時台	8	50.0	2	33.3
18時台	4	25.0	1	16.7
19時以降	3	18.8	3	50.0
無回答	-	-	-	-

(4) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望 [就学前児童…問28]

夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に学童保育を利用したい割合は89.6%で、そのうち「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が50.4%となっている。

低学年での利用開始希望時間は「8時台」が61.2%、利用終了希望時間は「17時台」が46.9%となっている。

高学年での利用開始希望時間は「8時台」が65.1%、利用終了希望時間は「17時台」が44.4%となっている。



【低学年での利用】

利用したい時間帯（開始）

【就学前児童】低学年 開始時間	長期休暇 (n=49)	
	件数	%
7時より前	-	-
7時台	4	8.2
8時台	30	61.2
9時台	11	22.4
10時以降	2	4.1
無回答	2	4.1

利用したい時間帯（終了）

【就学前児童】低学年 終了時間	長期休暇 (n=49)	
	件数	%
14時より前	-	-
14時台	-	-
15時台	1	2.0
16時台	-	-
17時台	23	46.9
18時台	20	40.8
19時以降	3	6.1
無回答	2	4.1

【高学年での利用】

利用したい時間帯（開始）

【就学前児童】高学年 開始時間	長期休暇 (n=63)	
	件数	%
7時より前	-	-
7時台	7	11.1
8時台	41	65.1
9時台	12	19.0
10時以降	-	-
無回答	3	4.8

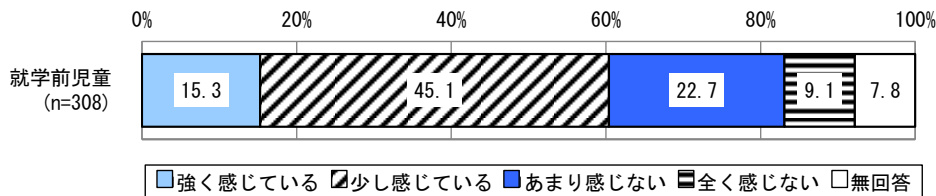
利用したい時間帯（終了）

【就学前児童】高学年 終了時間	長期休暇 (n=63)	
	件数	%
14時より前	1	1.6
14時台	1	1.6
15時台	1	1.6
16時台	5	7.9
17時台	28	44.4
18時台	13	20.6
19時以降	11	17.5
無回答	3	4.8

(5) 就学前から小学校入学にあたっての不安について

① 就学前から小学校入学にあたっての不安の程度 [就学前児童…問29]

不安を感じている割合（「強く感じている」と「少し感じている」の割合の合計）は60.4%に対し、不安を感じていない割合（「全く感じない」と「あまり感じない」の割合の合計）は31.8%で、不安を感じている割合が高くなっている。



就学前から小学校入学にあたっての不安の程度 × 子どもの人数別 [就学前児童]

子どもの人数別にみると、人数に関わらず「少し感じている」が多くなっているが、子どもの人数が多いほどその割合は低下し、「あまり感じない」「全く感じない」が高くなっている。

上段：件数 下段：%	合計	強く感じている	少し感じている	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	308 100.0	47 15.3	139 45.1	70 22.7	28 9.1	24 7.8
1人	56 100.0	9 16.1	29 51.8	9 16.1	4 7.1	5 8.9
2人	168 100.0	29 17.3	76 45.2	36 21.4	13 7.7	14 8.3
3人	71 100.0	7 9.9	30 42.3	21 29.6	9 12.7	4 5.6
4人以上	13 100.0	2 15.4	4 30.8	4 30.8	2 15.4	1 7.7
無回答	-	-	-	-	-	-

就学前から小学校入学にあたっての不安の程度 × 施設やサービスの利用の有無別 [就学前児童]

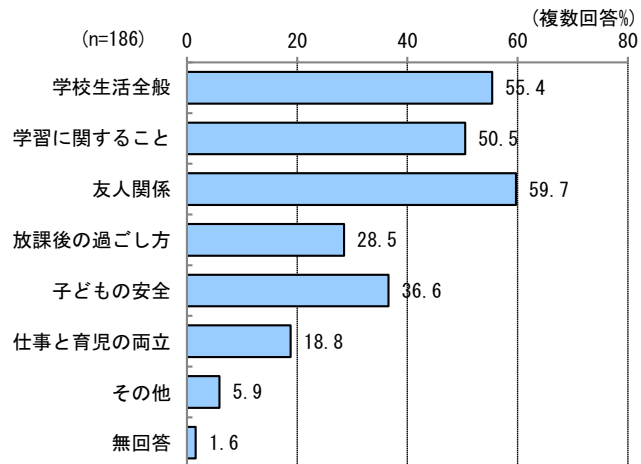
平日の定期的な施設やサービスの利用の有無別にみると、施設やサービスを『利用している』では「少し感じている」が多いのに対し、『利用していない』では「あまり感じない」が多くなっている。

上段：件数 下段：%	合計	強く感じている	少し感じている	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	308 100.0	47 15.3	139 45.1	70 22.7	28 9.1	24 7.8
利用している	207 100.0	37 17.9	112 54.1	34 16.4	16 7.7	8 3.9
利用していない	76 100.0	9 11.8	23 30.3	26 34.2	10 13.2	8 10.5
無回答	25 100.0	1 4.0	4 16.0	10 40.0	2 8.0	8 32.0

①で「強く感じている」または「少し感じている」を選んだ方

②就学前から小学校入学にあたっての不安内容 [就学前児童…問30]

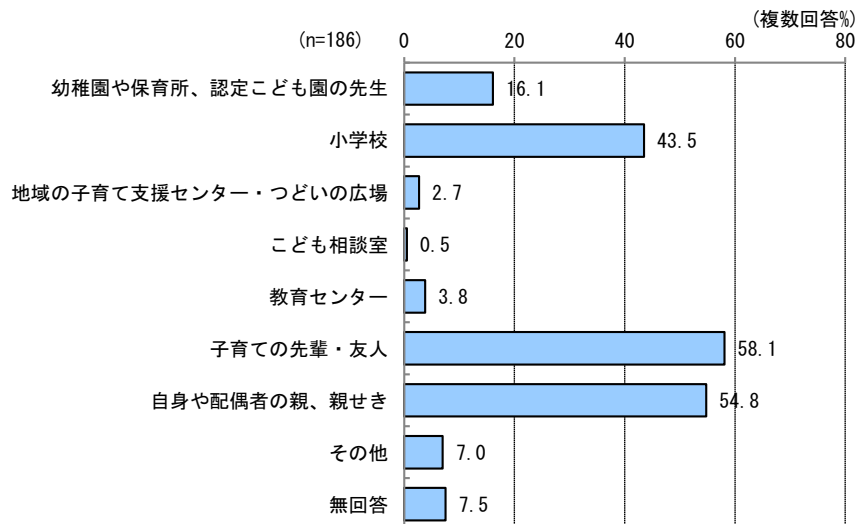
不安を感じている場合の内容は、「友人関係」(59.7%)や「学校生活全般」(55.4%)、「学習に関すること」(50.5%)が多い。



①で「強く感じている」または「少し感じている」を選んだ方

③就学前から小学校入学にあたっての不安の相談先 [就学前児童…問31]

不安に関する相談先は、「子育ての先輩・友人」が58.1%で最も多く、これに次いで「自身や配偶者の親、親せき」(54.8%)、「小学校」(43.5%)となっている。



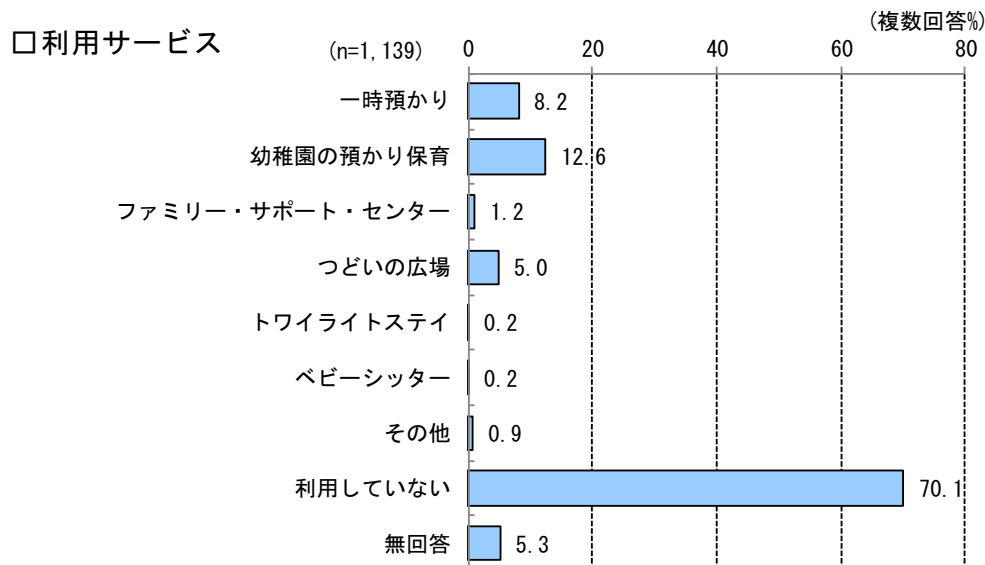
9 子どもを預かるサービスの不規則な利用について

(1) 不規則に利用した子どもを預かるサービスの利用状況

①利用したことのあるサービス [就学前児童…問32]

「利用していない」が70.1%となっている。一方、子どもを預かるサービスで不規則利用が多いものは、「幼稚園の預かり保育」の12.6%で、これに次いで「一時預かり」の8.2%である。

年間の延べ利用日数は、『幼稚園の預かり保育』は「3日～5日」(30.8%)が、『一時預かり』は「1日～2日」(46.2%)がそれぞれ最も多い。



□年間延べ利用日数

	1日 ～ 2日		3日 ～ 5日		6日 ～ 10日		11日 ～ 20日		21日 ～ 30日		31日以上		無回答	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
①一時預かり n=93	43	46.2	22	23.7	16	17.2	6	6.5	1	1.1	4	4.3	1	1.1
②幼稚園の預かり保育 n=143	27	18.9	44	30.8	27	18.9	17	11.9	6	4.2	12	8.4	10	7.0
③ファミリー・サポート・センター n=14	3	21.4	4	28.6	3	21.4	2	14.3	-	-	2	14.3	-	-
④つどいの広場 n=57	15	26.3	7	12.3	13	22.8	8	14.0	3	5.3	10	17.5	1	1.8
⑤トワイライトステイ n=2	-	-	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑥ベビーシッター n=2	1	50.0	-	-	1	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
⑦その他 n=10	3	30.0	-	-	-	-	-	-	2	20.0	2	20.0	3	30.0

不定期に利用したことのあるサービス × お子さんの面倒を見てもらえる人別〔就学前児童〕

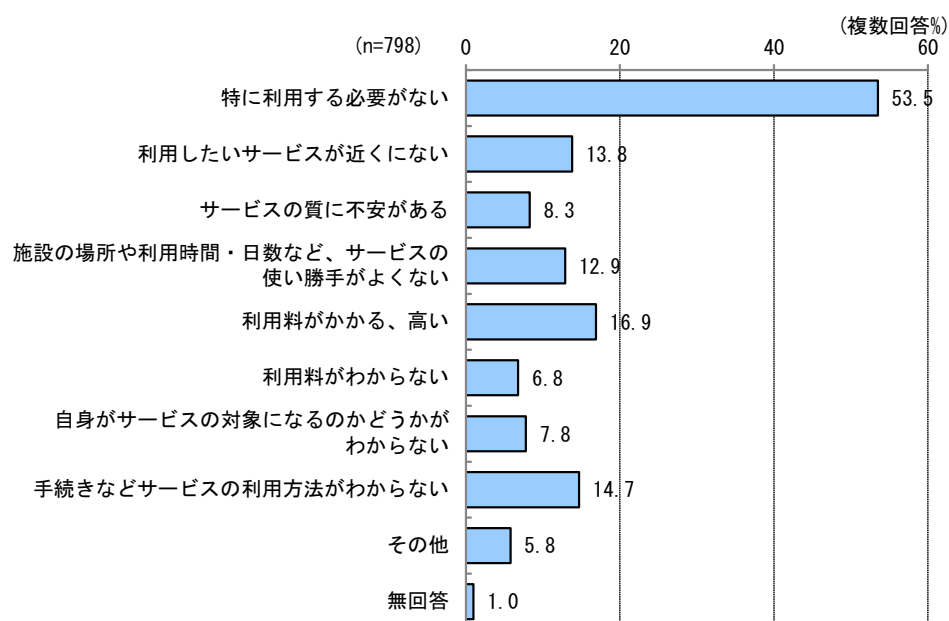
子どもの面倒を見てもらえる人別でみると、「利用していない」は、『日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる』人が83.3%で最も高く、次いで『日常的に自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる』人が74.9%となっている。

上段：件数 下段：%	合計	一時預かり	保育園の預かり	ファミリー・センター	つどいの広場	テトワイライトス	ベビシッター	その他	利用していない	無回答
全 体	1,139 100.0	93 8.2	143 12.6	14 1.2	57 5.0	2 0.2	2 0.2	10 0.9	798 70.1	60 5.3
日常的に自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる	323 100.0	16 5.0	41 12.7	2 0.6	12 3.7	1 0.3	-	2 0.6	242 74.9	13 4.0
緊急時などには自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる	689 100.0	61 8.9	89 12.9	5 0.7	40 5.8	-	-	3 0.4	478 69.4	34 4.9
日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる	42 100.0	1 2.4	5 11.9	-	-	-	-	-	35 83.3	1 2.4
緊急時などに子どもをみてもらえる友人や知人がいる	186 100.0	19 10.2	35 18.8	1 0.5	6 3.2	-	-	-	126 67.7	9 4.8
いずれもない	198 100.0	20 10.1	22 11.1	7 3.5	9 4.5	1 0.5	1 0.5	5 2.5	130 65.7	13 6.6
無回答	5 100.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	-	-	1 20.0	-	2 40.0	1 20.0

①で「利用していない」を選んだ方

②子どもが不定期に預かるサービスを利用していない理由〔就学前児童…問32-1〕

一時預かりなどの不定期に預かるサービスを利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が53.5%で最も多い。これに次いで「利用料がかかる、高い」(16.9%)、「手続きなどサービスの利用方法がわからない」(14.7%)、「利用したいサービスが近くにない」(13.8%)などが続いている。



子どもが不定期に預かるサービスを利用していない理由 × お子さんの面倒を見てもらえる人別〔就学前児童〕

子どもの面倒を見てもらえる人別でみると、子どもの面倒を見てもらえる人に関わらず、「特に利用する必要がない」が最も高くなっている。

上段：件数 下段：%	合計	特に利用する必要がない	利用したいサービスが近くにない	サービスの質に不安がある	施設の場所や利用時間・日数など、サービスの使い勝手がよくない	利用料がかかる、高い	利用料がわからない	自身がサービスの対象になるのかどうかかわからない	手続きなどサービスの利用方法がわからない	その他	無回答
全 体	798 100.0	427 53.5	110 13.8	66 8.3	103 12.9	135 16.9	54 6.8	62 7.8	117 14.7	46 5.8	8 1.0
日常的に自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる	242 100.0	155 64.0	26 10.7	14 5.8	17 7.0	31 12.8	16 6.6	15 6.2	29 12.0	12 5.0	2 0.8
緊急時などには自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる	478 100.0	258 54.0	66 13.8	35 7.3	61 12.8	75 15.7	32 6.7	32 6.7	74 15.5	31 6.5	4 0.8
日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる	35 100.0	23 65.7	1 2.9	2 5.7	2 5.7	4 11.4	2 5.7	1 2.9	3 8.6	3 8.6	-
緊急時などに子どもをみてもらえる友人や知人がいる	126 100.0	73 57.9	17 13.5	11 8.7	10 7.9	23 18.3	5 4.0	8 6.3	12 9.5	7 5.6	-
いずれもない	130 100.0	55 42.3	16 12.3	14 10.8	24 18.5	31 23.8	12 9.2	15 11.5	24 18.5	9 6.9	2 1.5
無回答	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-

(2) 保育所や子育て支援総合センターなどで実施されている一時預かりの利用希望

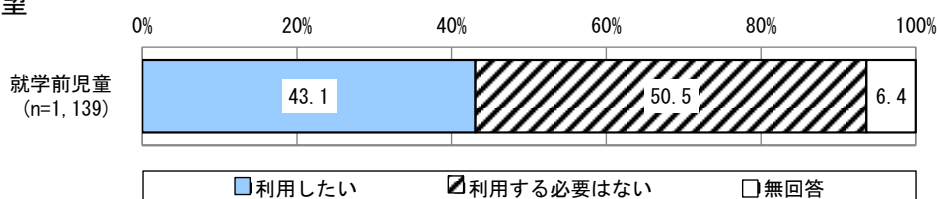
[就学前児童…問33]

①利用希望と利用目的

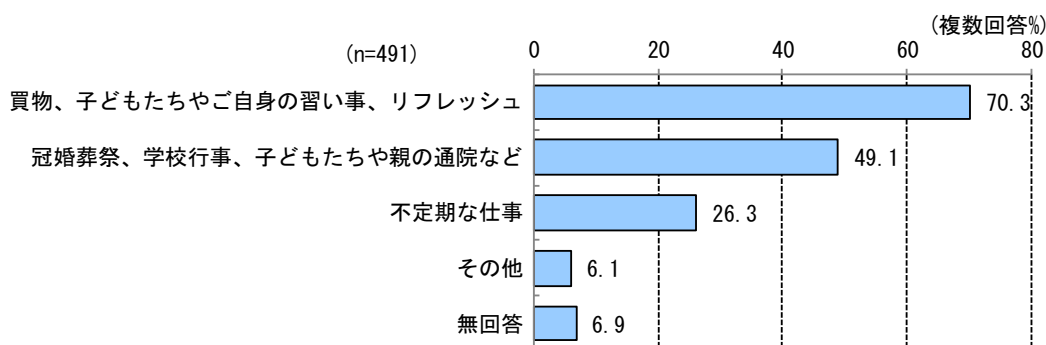
保育所や子育て支援総合センターなどで実施されている一時預かりについて、「利用したい」は43.1%に対し、「利用する必要はない」は50.5%となっている。

利用希望がある場合の利用目的は、「買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ」が70.3%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」(49.1%)となっている。利用希望日数は、「買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ」では「11日～20日」が29.3%、「冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」では「3日～5日」が35.7%でそれぞれ多い。

□利用希望



□利用目的



□利用目的別年間利用希望日数

	1日		3日		6日		11日		21日		31日以上		無回答	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
ア. 買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ n=345	30	8.7	71	20.6	77	22.3	101	29.3	34	9.9	20	5.8	12	3.5
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもたちの親の通院など n=241	37	15.4	86	35.7	65	27.0	28	11.6	9	3.7	5	2.1	11	4.6
ウ. 不定期な仕事 n=129	11	8.5	34	26.4	24	18.6	20	15.5	14	10.9	19	14.7	7	5.4
エ. その他 n=30	3	10.0	10	33.3	3	10.0	6	20.0	2	6.7	4	13.3	2	6.7

不定期に一時預かりを利用したいと思うかの有無 × お子さんの面倒を見てもらえる人別〔就学前児童〕

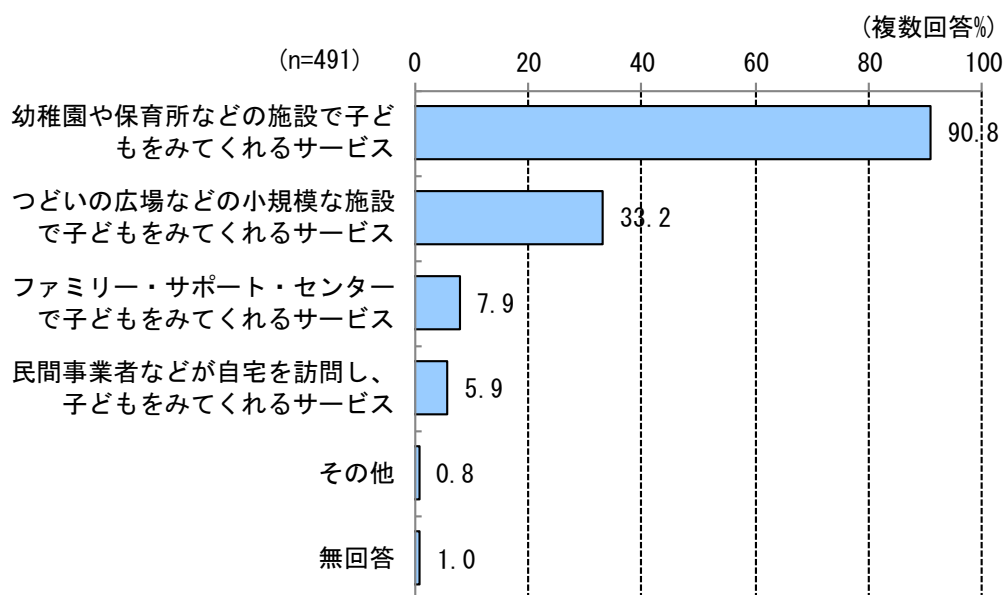
子どもの面倒を見てもらえる人別でみると、『いずれもない』人は「利用したい」の方の割合が高い。それ以外では「利用する必要はない」の方が高くなっている。

上段：件数 下段：%	合計	利用したい	利用する必要はない	無回答
全 体	1,139 100.0	491 43.1	575 50.5	73 6.4
日常的に自身や配偶者の親、 親せきにみてもらえる	323 100.0	107 33.1	191 59.1	25 7.7
緊急時などには自身や配偶者の親、 親せきにみてもらえる	689 100.0	300 43.5	351 50.9	38 5.5
日常的に子どもをみてもらえる 友人や知人がいる	42 100.0	16 38.1	24 57.1	2 4.8
緊急時などに子どもをみてもらえる 友人や知人がいる	186 100.0	72 38.7	102 54.8	12 6.5
いずれもない	198 100.0	113 57.1	71 35.9	14 7.1
無回答	5 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0

①で「利用したい」を選んだ方

②一時預かりを利用したい場合に希望する子育て支援サービス〔就学前児童…問33-1〕

一時預かりを利用したい場合に希望するサービスは、「幼稚園や保育所、認定こども園、子育て支援総合センター、すこやかセンターなどの施設で子どもをみてくれるサービス」が多く、90.8%を占めている。



一時預かりを利用したい場合に希望する子育て支援サービス × お子さんの面倒を見てもらえる人別〔就学前児童〕

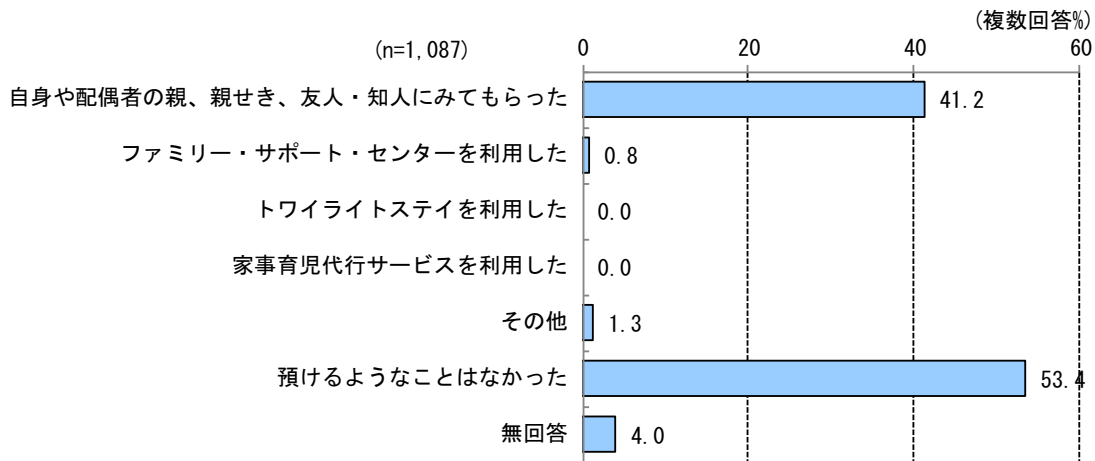
子どもの面倒を見てもらえる人別でみると、子どもの面倒を見てもらえる人に関わらず、「幼稚園や保育所、認定こども園、子育て支援総合センター、すこやかセンターなどの施設で子どもをみてくれるサービス」が最も高く、『いずれもない』人では91.2%で最も高くなっている。

上段：件数 下段：%	合計	ど の サ ー ビ ス を も て ら え る	幼 稚 園 や 保 育 所 な ど	小 規 模 な 施 場 な ど	つ い て の サ ー ビ ス を も て ら え る	ポ ー ト ミ リ ー セ ン タ ー な ど	フ ア ミ リ ー セ ン タ ー な ど	サ ー ビ ス を も て ら え る	自 宅 を 訪 問 し て ら え る	民 間 事 業 者 な ど が	そ の 他	無 回 答
全 体	491 100.0	446 90.8	163 33.2	39 7.9	29 5.9	4 0.8	5 1.0					
日常的に自身や配偶者の親、 親せきにみてもらえる	107 100.0	96 89.7	26 24.3	10 9.3	5 4.7	1 0.9	1 0.9					
緊急時などには自身や配偶者の親、 親せきにみてもらえる	300 100.0	273 91.0	104 34.7	23 7.7	17 5.7	3 1.0	2 0.7					
日常的に子どもをみてもらえる 友人や知人がいる	16 100.0	12 75.0	6 37.5	3 18.8	-	1 6.3	-					
緊急時などに子どもをみてもらえる 友人や知人がいる	72 100.0	61 84.7	27 37.5	6 8.3	4 5.6	2 2.8	-					
いずれもない	113 100.0	103 91.2	41 36.3	10 8.8	7 6.2	-	2 1.8					
無回答	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-					

(3) 私用、自身や配偶者の親の通院、不規則な仕事などを理由として家族以外に小学生を一時的に預けた経験の状況 [小学生…問17]

私用、自身や配偶者の親の通院、不規則な仕事などを理由として家族以外に小学生を一時的に預けたことについて、「預けるようなことはなかった」が53.4%に対し、「自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）」が41.2%で最も多く、年間の利用日数は「1日～2日」（36.2%）が多い。

□対処方法



□対処方法別年間利用日数

	1日		3日		6日		11日		21日		31日以上		無回答	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
①自身や配偶者の親、親せき、友人・知人 n=448	162	36.2	116	25.9	76	17.0	33	7.4	14	3.1	21	4.7	26	5.8
②ファミリー・サポート・センター n=9	3	33.3	1	11.1	3	33.3	-	-	-	-	1	11.1	1	11.1
③トワイライトステイ n=0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④家事育児代行サービス n=0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.8
⑤その他 n=14	3	21.4	5	35.7	1	7.1	-	-	2	14.3	-	-	3	21.4

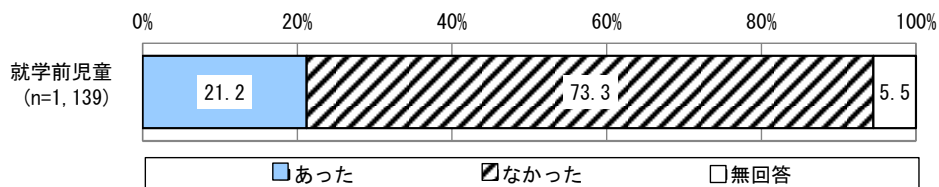
(4) 泊りがけで、家族以外に子どもを預けた経験の有無 [就学前児童…問34、小学生…問18]

(ア) 就学前児童

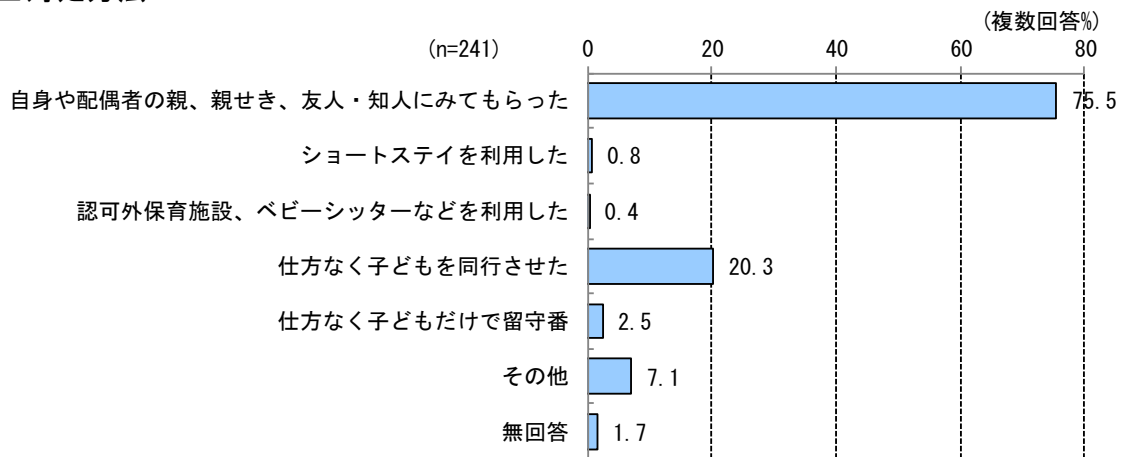
泊りがけで、家族以外に子どもを預けたことが「あった」は21.2%に対し、「なかった」は73.3%となっている。

その対処方法は、「自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が75.5%で最も多く、その年間の泊数は「1泊～2泊」(39.6%)が多い。

□子どもを泊りがけで家族以外に預けた経験の有無



□対処方法



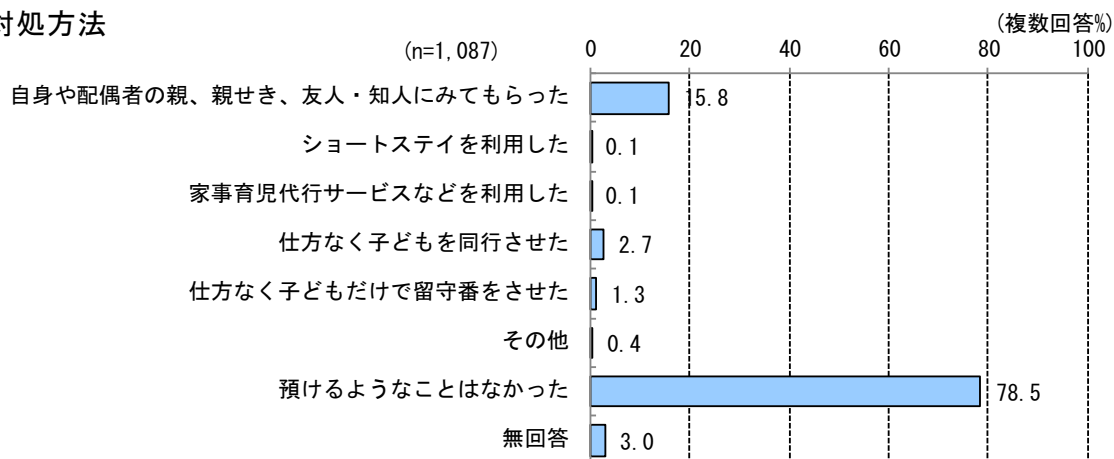
□対処方法別年間泊数

	1泊		3泊		6泊		1泊		2泊		3泊		無回答	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
ア. 自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった n=182	72	39.6	63	34.6	23	12.6	10	5.5	2	1.1	2	1.1	10	5.5
イ. ショートステイを利用した n=2	-	-	1	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
ウ. 認可外保育施設、ベビーシッターなどを利用した n=1	-	-	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エ. 仕方なく子どもを同行させた n=49	26	53.1	12	24.5	1	2.0	1	2.0	-	-	1	2.0	8	16.3
オ. 仕方なく子どもだけで留守番させた n=6	4	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	33.3
カ. その他 n=17	5	29.4	-	-	-	-	-	-	1	5.9	-	-	11	64.7

(イ) 小学生

泊りがけで、家族以外に子どもを「預けるようなことはなかった」が78.5%に対し、「自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）」が15.8%で最も多く、その年間の泊数は「1泊～2泊」が45.3%で多い。

□ 対処方法



□ 対処方法別年間泊数

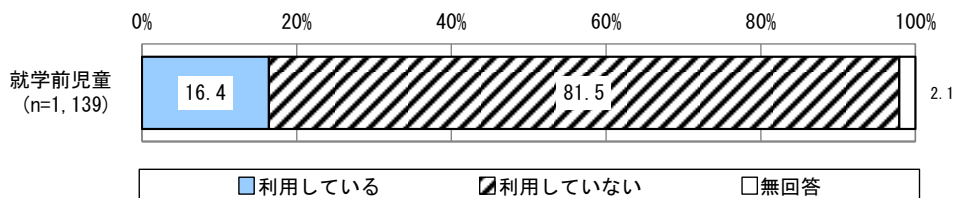
	1泊 5 2泊		3泊 5 5泊		6泊 5 10泊		1泊 5 20泊		2泊 1 30泊		3泊 1 以上		無回答	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
①自身や配偶者の親、親せき、友人・知人 n=172	78	45.3	46	26.7	23	13.4	9	5.2	1	0.6	5	2.9	10	5.8
②ショートステイ n=1	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
③家事育児代行サービスなど n=1	-	-	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④子どもを同行 n=29	15	51.7	5	17.2	1	3.4	1	3.4	1	3.4	-	-	6	20.7
⑤子どもだけで留守番 n=14	5	35.7	3	21.4	1	7.1	-	-	-	-	-	-	5	35.7
⑥その他 n=4	1	25.0	-	-	1	25.0	-	-	-	-	-	-	2	50.0

10 地域子育て支援サービスの利用について

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用の有無 [就学前児童…問35]

地域子育て支援拠点事業を「利用している」保護者は16.4%に対し、「利用していない」が81.5%となっている。

利用している方の1週間あたりの利用回数は「1回」が19.8%で最も多く、1ヶ月あたりの利用回数は「1～2回」が40.6%で最も多い。



□ 1週間あたりの利用回数

【就学前児童】 1週間あたりの利用回数	地域子育て支援拠点事業 (n=187)	
	件数	%
1回	37	19.8
2回	15	8.0
3回	9	4.8
4回	4	2.1
5回以上	1	0.5
無回答	121	64.7

□ 1ヶ月あたりの利用回数

【就学前児童】 1ヶ月あたりの利用回数	地域子育て支援拠点事業 (n=187)	
	件数	%
1回～2回	76	40.6
3回～5回	31	16.6
6回～10回	6	3.2
11回～15回	2	1.1
16回～20回	1	0.5
21回以上	1	0.5
無回答	70	37.4

地域子育て支援拠点事業の利用の有無 × 年齢別 [就学前児童]

年齢別にみると、「地域子育て支援拠点事業を利用している」は『0歳』の割合が最も高く、「利用していない」は『5歳』の割合が最も高い。

上段：件数 下段：%	合計	し拠点 地 て い 事 育 を 利 支 用 援	利 用 し て い な い	無 回 答
全 体	1,139 100.0	187 16.4	928 81.5	24 2.1
0歳	155 100.0	60 38.7	94 60.6	1 0.6
1歳	176 100.0	54 30.7	119 67.6	3 1.7
2歳	164 100.0	37 22.6	124 75.6	3 1.8
3歳	163 100.0	16 9.8	144 88.3	3 1.8
4歳	165 100.0	9 5.5	150 90.9	6 3.6
5歳	159 100.0	7 4.4	150 94.3	2 1.3
6歳	149 100.0	4 2.7	139 93.3	6 4.0
無回答	8 100.0	-	8 100.0	-

地域子育て支援拠点事業の利用の有無 × 家庭類型別〔就学前児童〕

家庭類型別にみると、家庭類型に関わらず「利用していない」が最も多くなっている。「地域子育て支援拠点事業を利用している」割合は『夫婦の一方が家事に専念している家庭』が高くなっている。

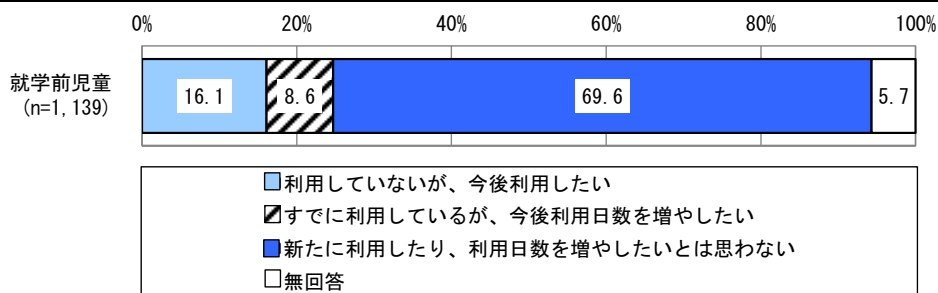
上段：件数 下段：%	合計	地域子育て支援拠点事業	利用していない	無回答
全体	1,139 100.0	187 16.4	928 81.5	24 2.1
ひとり親	20 100.0	-	20 100.0	-
フルタイム共働きの家庭	299 100.0	37 12.4	256 85.6	6 2.0
フルタイム・パートタイム共働きの家庭	285 100.0	22 7.7	254 89.1	9 3.2
夫婦の一方が家事に専念している家庭	405 100.0	109 26.9	290 71.6	6 1.5
その他	3 100.0	1 33.3	2 66.7	-
無回答	127 100.0	18 14.2	106 83.5	3 2.4

(2) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向

① 利用希望の有無〔就学前児童…問36〕

地域子育て支援拠点事業を「今後利用したい」、または「利用日数を増やしたい」と希望する保護者は24.7%に対し、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が69.6%となっている。

今後利用したい方の1週間あたりの利用回数は「1回」(18.0%)が最も多く、1ヶ月あたりの利用回数は「1回～2回」(48.1%)が最も多い。また、利用日数を増やしたい方の1週間あたりの増やしたい回数は「1回」(20.4%)が最も多く、1ヶ月あたりの増やしたい回数は、「3回～5回」(19.4%)が最も多い。



□ 1週間あたりの利用回数、増やしたい回数

【就学前児童】 1週間あたりの 利用希望回数	利用していないが、 今後利用したい (n=183)		すでに利用しているが、 今後利用日数を増やしたい (n=98)	
	件数	%	件数	%
1回	33	18.0	20	20.4
2回	6	3.3	10	10.2
3回	9	4.9	2	2
4回	1	0.5	2	2
5回以上	-	-	2	2
無回答	134	73.2	62	63.3

□ 1ヶ月あたりの利用回数、増やしたい回数

【就学前児童】 1ヶ月あたりの 利用希望回数	利用していないが、 今後利用したい (n=183)		すでに利用しているが、 今後利用日数を増やしたい (n=98)	
	件数	%	件数	%
1回～2回	88	48.1	17	17.3
3回～5回	18	9.8	19	19.4
6回～10回	4	2.2	5	5.1
11回～15回	1	0.5	-	-
16回～20回	-	-	-	-
21回以上	-	-	2	2
無回答	72	39.3	55	56.1

地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望の有無 × 年齢別〔就学前児童〕

年齢別にみると、いずれの年齢も「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が最も多くなっている。『0歳』『1歳』で「利用していないが、今後利用したい」「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の各割合が高い。

上段：件数 下段：%	合計	たが利 い、用 今し 後て 利い 用な しい	た用いす い日るで 数がに を、利 増今用 や後し し利て	思増り新 わや、た なし利に いた用利 い日用 と数し はをた	無 回 答
全 体	1,139 100.0	183 16.1	98 8.6	793 69.6	65 5.7
0歳	155 100.0	35 22.6	31 20.0	83 53.5	6 3.9
1歳	176 100.0	47 26.7	30 17.0	93 52.8	6 3.4
2歳	164 100.0	16 9.8	18 11.0	116 70.7	14 8.5
3歳	163 100.0	27 16.6	8 4.9	118 72.4	10 6.1
4歳	165 100.0	21 12.7	5 3.0	129 78.2	10 6.1
5歳	159 100.0	21 13.2	6 3.8	125 78.6	7 4.4
6歳	149 100.0	14 9.4	-	123 82.6	12 8.1
無回答	8 100.0	2 25.0	-	6 75.0	-

地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望の有無 × 家庭類型別〔就学前児童〕

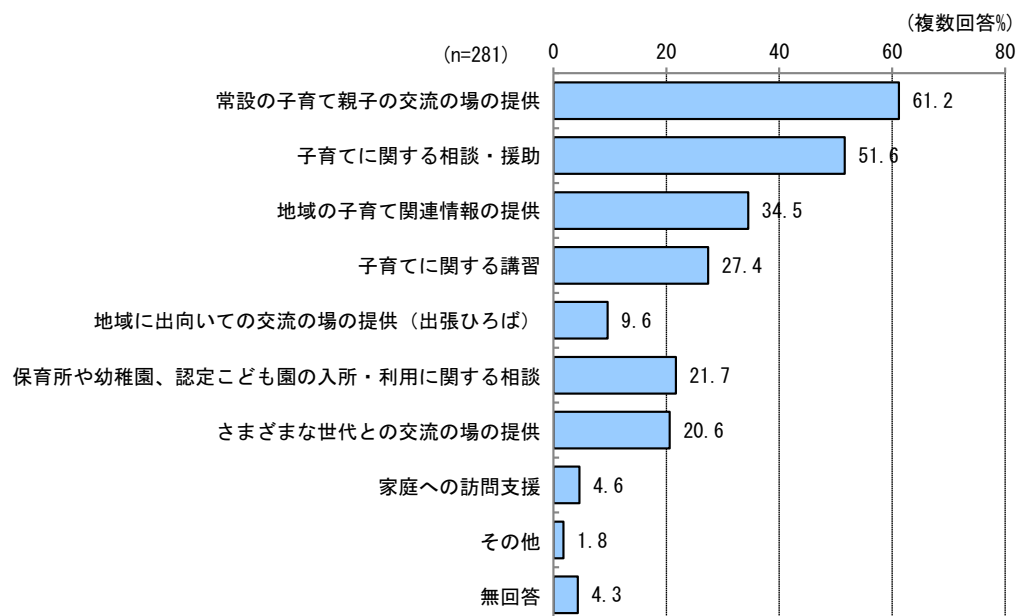
家庭類型別にみると、いずれの家庭類型も「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が最も多くなっている。『夫婦の一方が家事に専念している家庭』で「利用していないが、今後利用したい」「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の各割合が高い。

上段：件数 下段：%	合計	たが利 い、用 今し 後て 利い 用な しい	た用いす い日るで 数がに を、利 増今用 や後し し利て	思増り新 わや、た なし利に いた用利 い日用 と数し はをた	無 回 答
全 体	1,139 100.0	183 16.1	98 8.6	793 69.6	65 5.7
ひとり親	20 100.0	2 10.0	-	17 85.0	1 5.0
フルタイム共働きの家庭	299 100.0	42 14.0	22 7.4	220 73.6	15 5.0
フルタイム・パートタイム 共働きの家庭	285 100.0	35 12.3	11 3.9	221 77.5	18 6.3
夫婦の一方が家事に 専念している家庭	405 100.0	79 19.5	55 13.6	250 61.7	21 5.2
その他	3 100.0	1 33.3	-	1 33.3	1 33.3
無回答	127 100.0	24 18.9	10 7.9	84 66.1	9 7.1

①で「利用していないが、今後利用したい」または「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を選んだ方

②利用したい地域子育て支援拠点事業のサービス [就学前児童…問36-1]

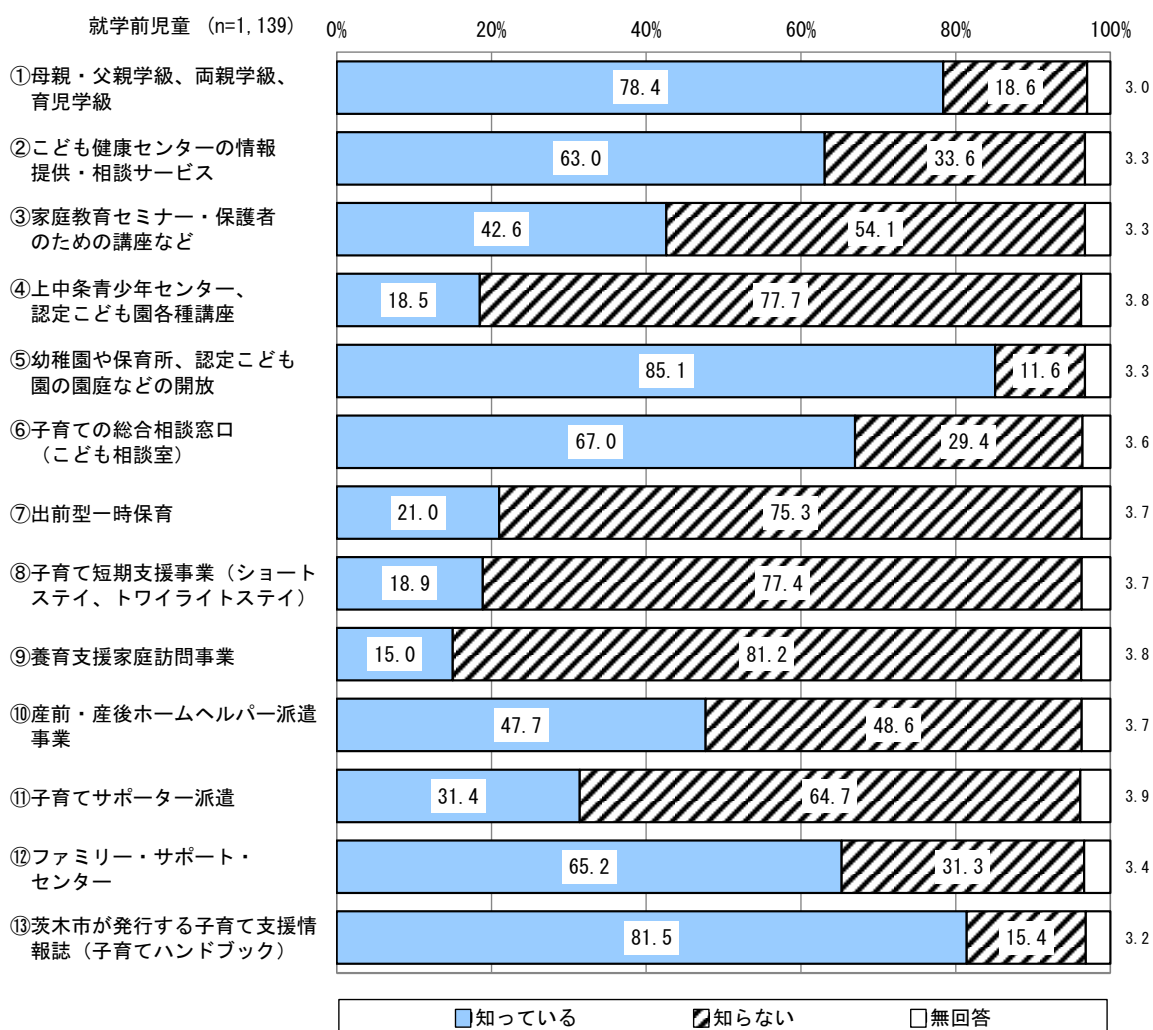
地域子育て支援拠点事業を今後利用したい、または利用日数を増やしたいと希望する保護者が利用を望むサービスは、「常設の子育て親子の交流の場の提供」が61.2%で最も多い。これに次いで「子育てに関する相談・援助」(51.6%)であり、以下「地域の子育て関連情報の提供」(34.5%)、「子育てに関する講習」(27.4%)などが続いている。



(3) 子育て支援サービスの認知状況・利用意向 [就学前児童…問37]

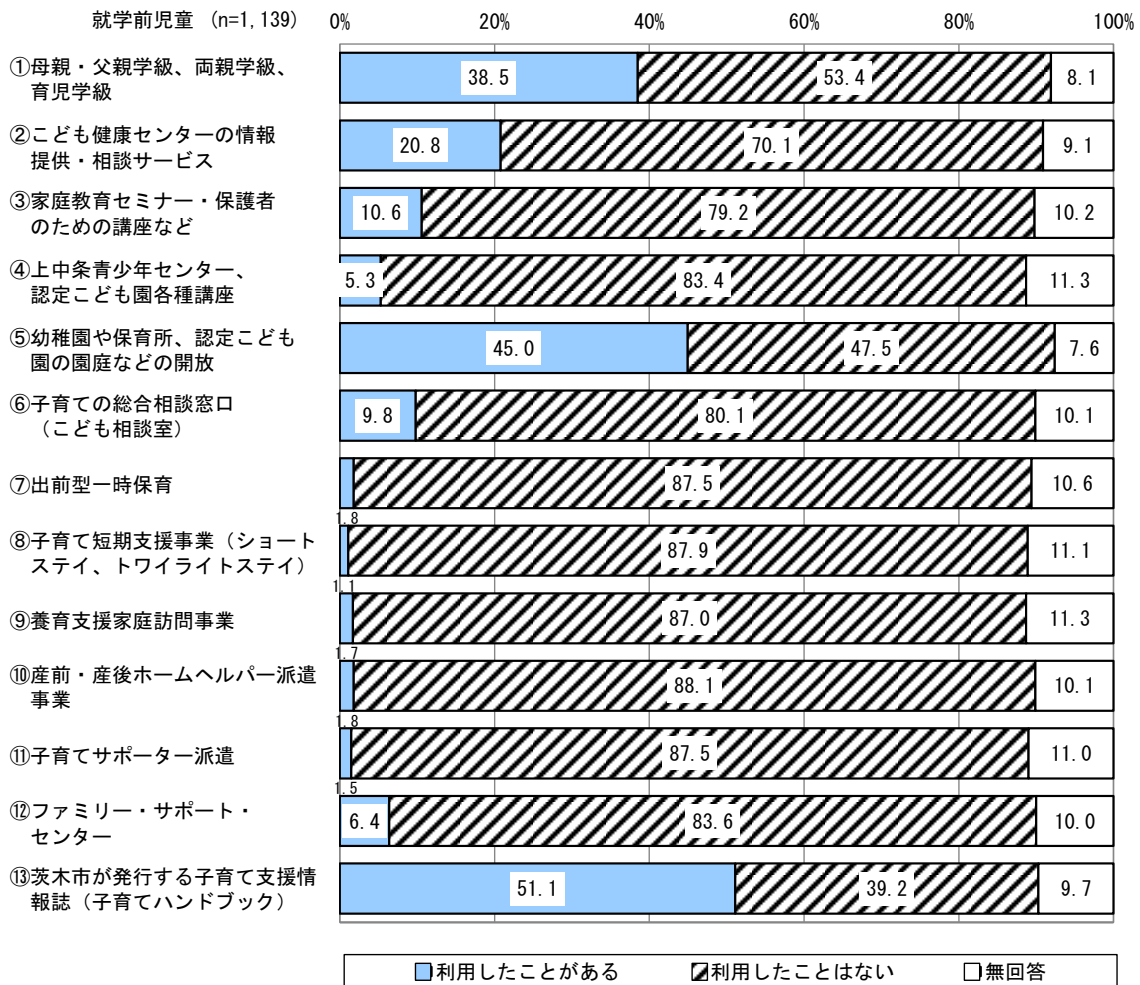
① 認知状況

「知っている」割合が最も高い事業は、「⑤幼稚園や保育所、認定こども園の園庭などの開放」の85.1%で、次いで「⑬茨木市が発行する子育て支援情報誌(子育てハンドブック)」の81.5%である。以下、割合が高い順に「①母親・父親学級、両親学級、育児学級」(78.4%)、「⑥子育ての総合相談窓口(こども相談室)」(67.0%)、「⑫ファミリー・サポート・センター」(65.2%)、「②こども健康センターの情報提供・相談サービス」(63.0%)、「⑩産前・産後ホームヘルパー派遣事業」(47.7%)、「③家庭教育セミナー・保護者のための講座など」(42.6%)が続く。



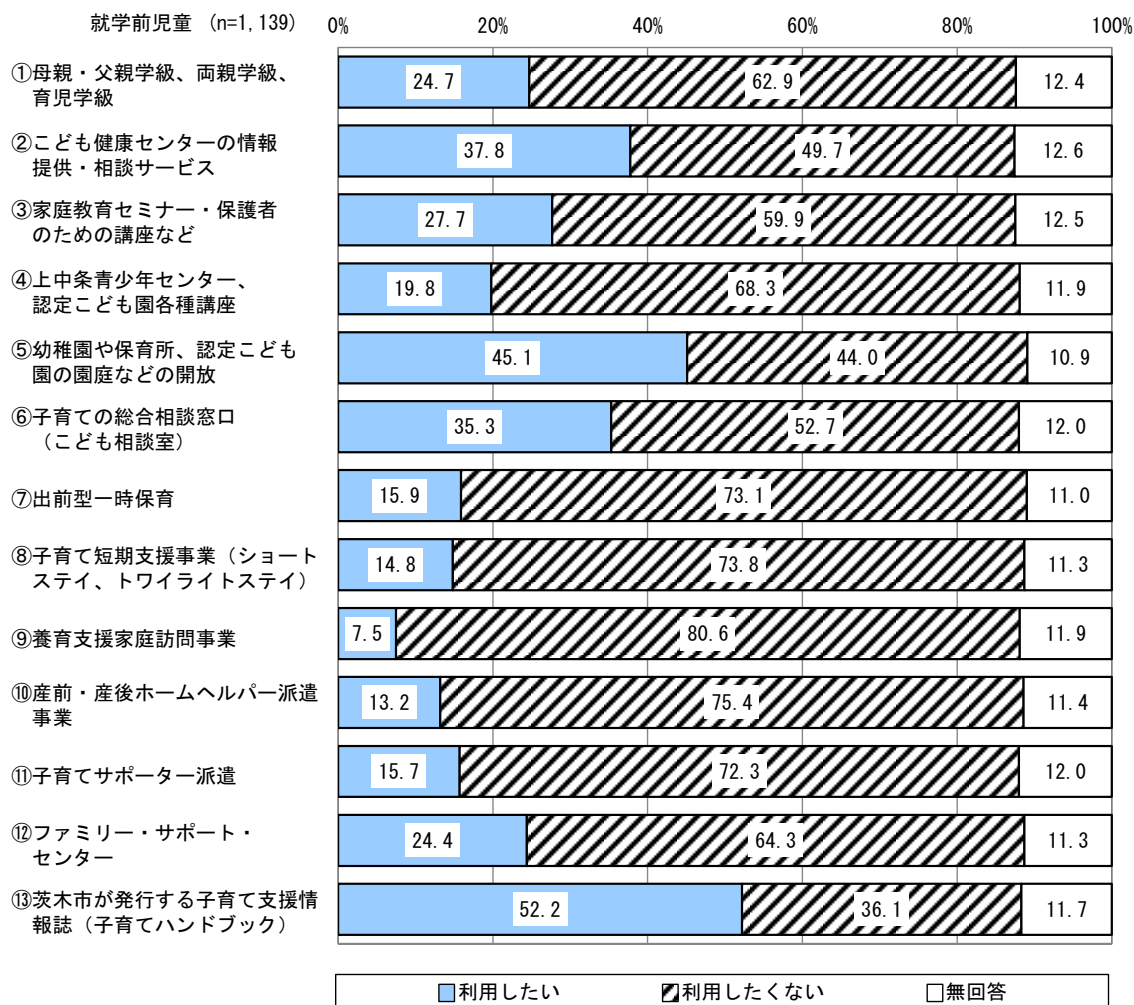
②利用経験

「利用したことがある」割合が最も高い事業は、「⑬茨木市が発行する子育て支援情報誌（子育てハンドブック）」の51.1%である。これに次いで「⑤幼稚園や保育所、認定こども園の園庭などの開放」の45.0%で、「①母親・父親学級、両親学級、育児学級」の38.5%などが続く。



③今後の利用意向

「利用したい」割合が最も高い事業は、「⑬茨木市が発行する子育て支援情報誌（子育てハンドブック）」の52.2%である。これに次いで「⑤幼稚園や保育所、認定こども園の園庭などの開放」の45.1%で、以下、「②こども健康センターの情報提供・相談サービス」（37.8%）、「⑥子育ての総合相談窓口（こども相談室）」（35.3%）、「③家庭教育セミナー・保護者のための講座など」（27.7%）などが続く。



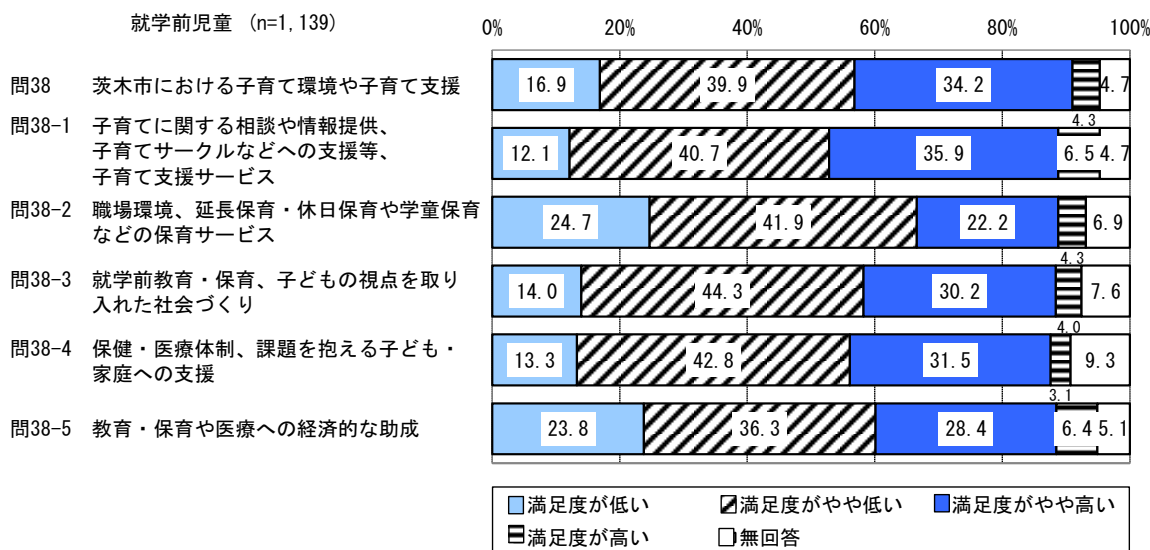
11 市役所などへの要望について

(1) 茨木市における子育てに関する満足度

[就学前児童…問38、問38-1～5、小学生…問22-1～4]

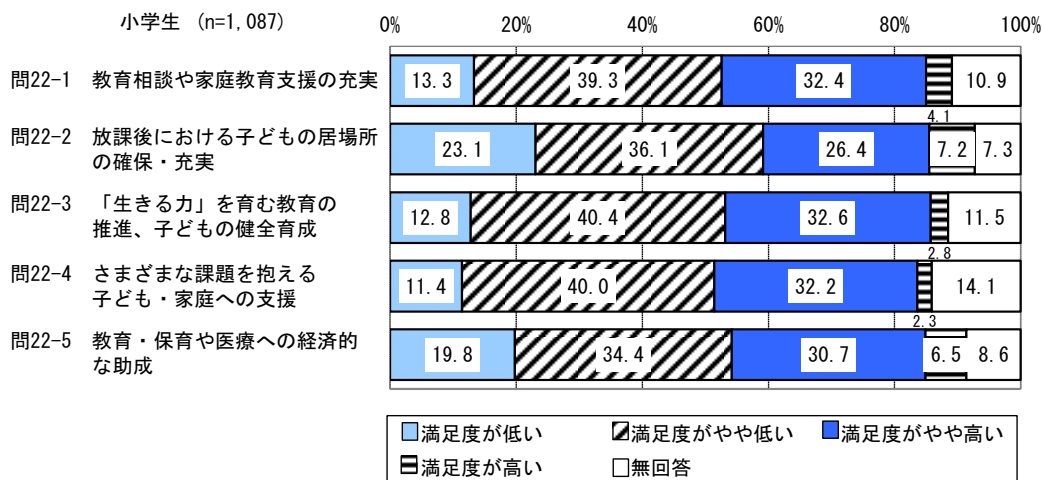
□就学前児童

茨木市における子育て環境や子育て支援などの満足度について、就学前児童では、全体的に「満足度がやや低い」が多くなっている。『職場環境、延長保育・休日保育や学童保育などの保育サービス』は「満足度が低い」が24.7%となっている。



□小学生

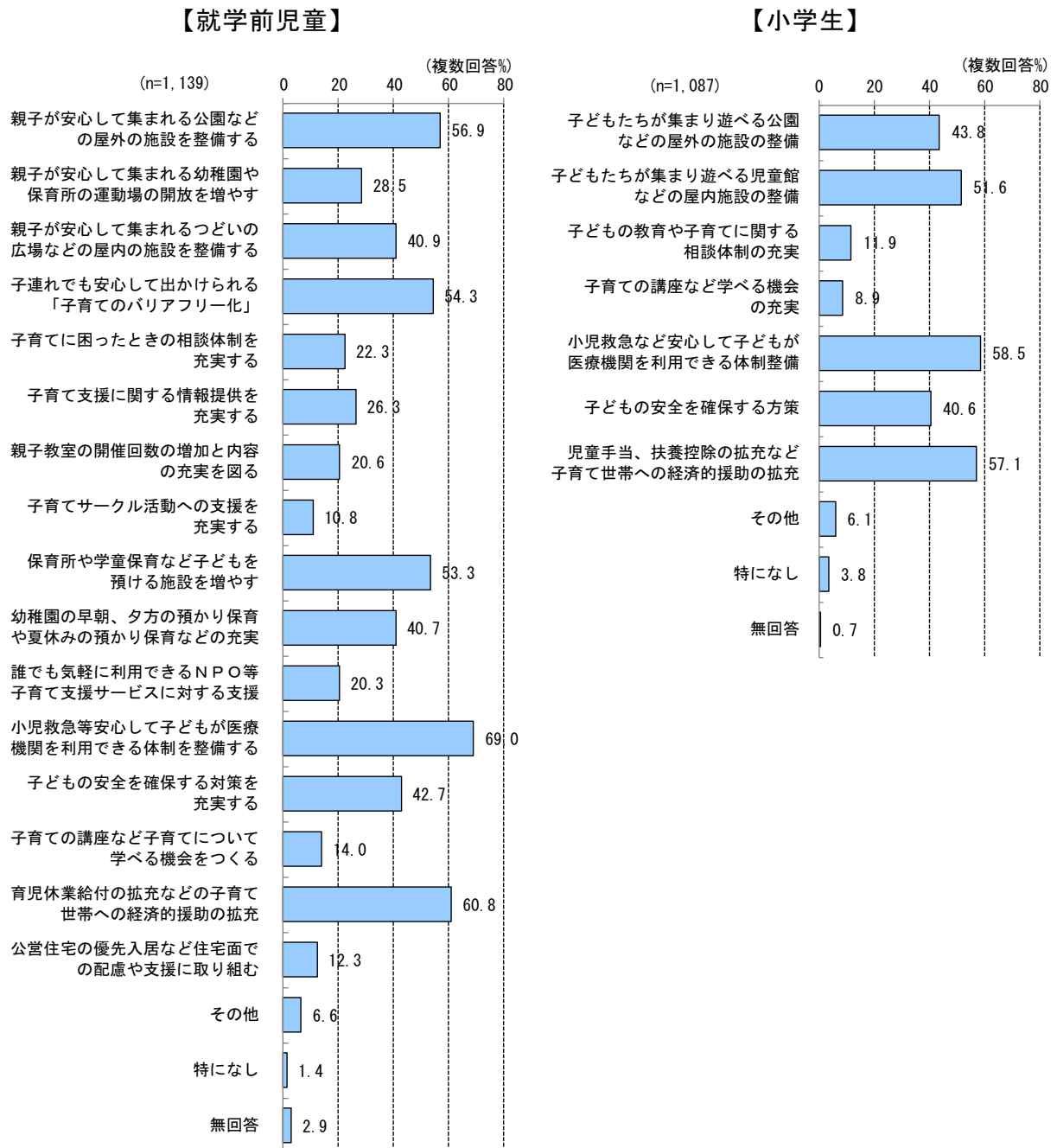
小学生では、全体的に「満足度がやや低い」が多くなっている。『放課後における子どもの居場所の確保・充実』は「満足度が低い」が23.1%となっている。



(2) 市役所などに対して充実してほしいサービス [就学前児童…問39、小学生…問22]

就学前児童の保護者では、「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が69.0%で最も多く、次いで「育児休業給付の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充」の60.8%となっている。

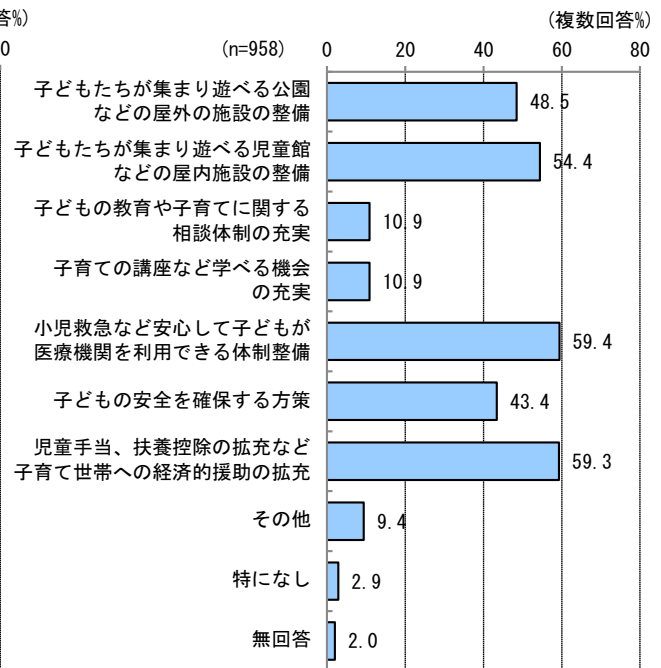
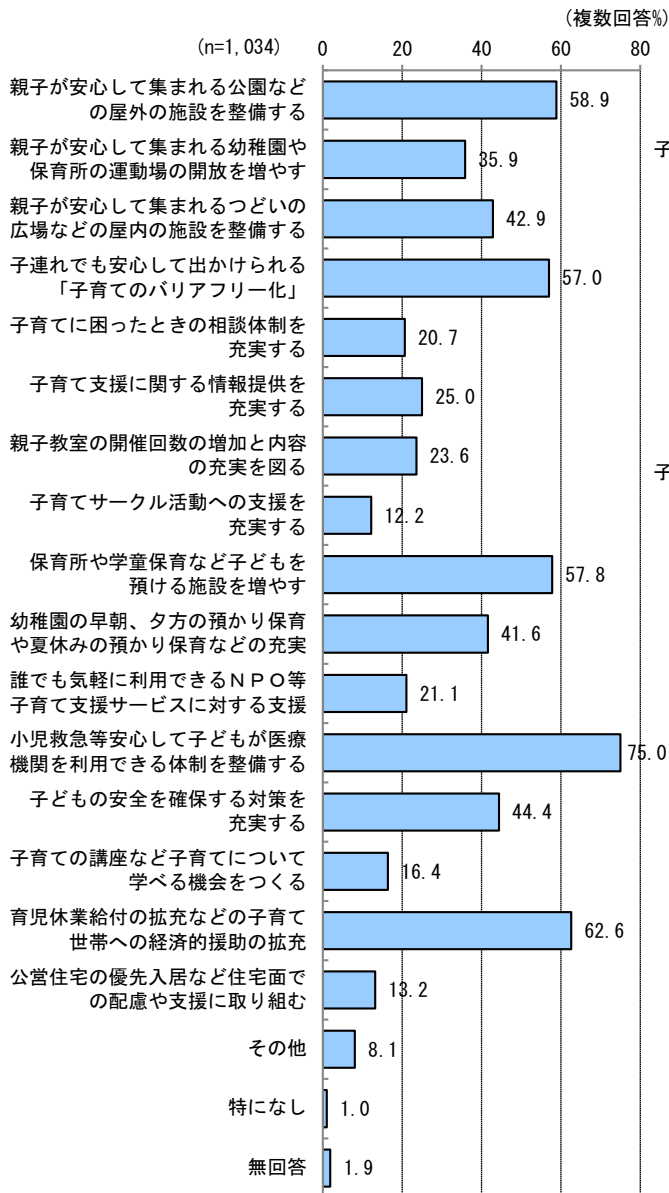
小学生の保護者も「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が58.5%で最も多く、次いで「児童手当、扶養控除の拡充など子育て世帯への経済的援助の拡充」(57.1%)、「子どもたちが集まり遊べる児童館などの屋内施設の整備」(51.6%)などとなっている。



【参考】平成25年度調査

【就学前児童】

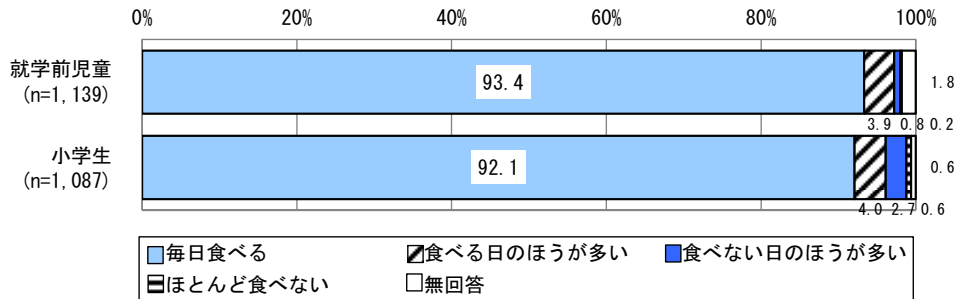
【小学生】



12 子どもの生活習慣について

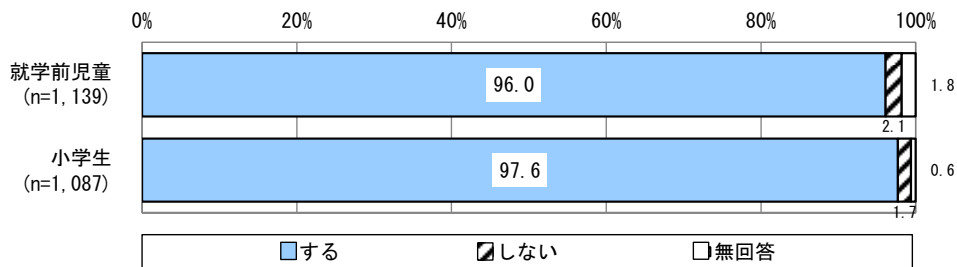
(1) 朝ごはんを食べるか [就学前児童…問40(1)、小学生…問23(1)]

就学前児童、小学生とも「毎日食べる」が9割を占める。



(2) 1日1回は家族と一緒に食事をするか [就学前児童…問40(2)、小学生…問23(2)]

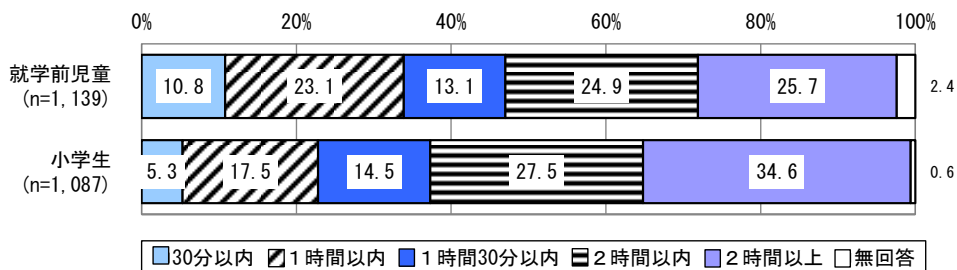
就学前児童、小学生とも「する」が9割を占める。



(3) 平日のテレビ・ビデオ（ゲームを含む）の1日あたり平均視聴時間

[就学前児童…問40(3)、小学生…問23(3)]

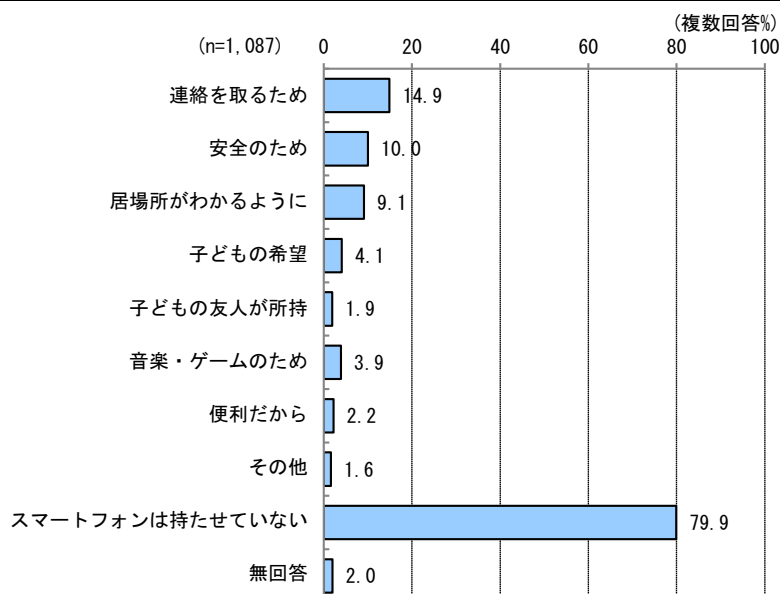
就学前児童、小学生とも「2時間以上」が最も多く、全体の半数以上が1日に1時間30分以上視聴している。



(4) 子どもに自分専用のスマートフォンを持たせているか、また持たせている理由

[小学生…問23(4)]

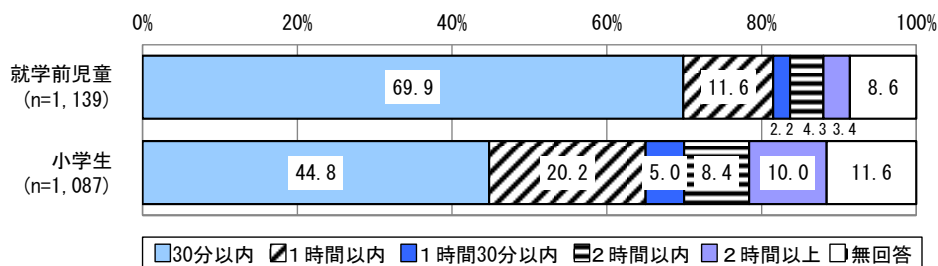
小学生の子どもに自分専用のスマートフォンを持たせていない家庭が79.9%となっている。また、持たせている理由は「連絡を取るため」が14.9%で最も多い。



(5) 平日のインターネット・スマートフォンの1日あたりの平均利用時間

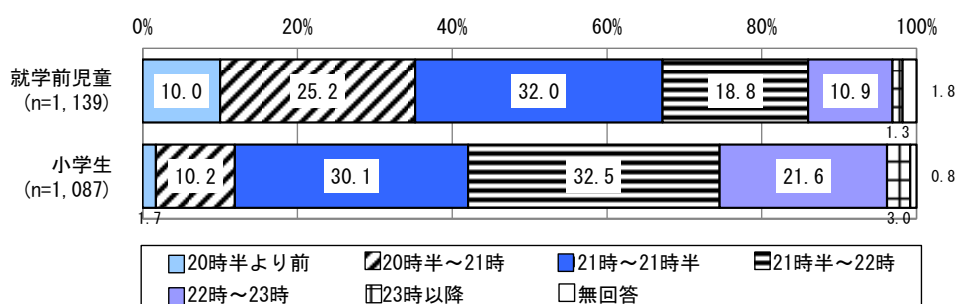
[就学前児童…問40(4)、小学生…問23(5)]

就学前児童、小学生とも「30分以内」が最も多く、30分を超えて利用している子どもの割合は小学生に多い。



(6) 就寝時刻 [就学前児童…問40(5)、小学生…問23(6)]

就学前児童は「21時～21時半」(32.0%)、小学生は「21時半～22時」(32.5%)がそれぞれ最も多い。小学生は24.6%が22時以降に就寝している。



13 子どものふだんの過ごし方

(1) 子どもの普段の過ごし方 [小学生…問24]

平日14～16時は「授業などで学校にいる」(74.4%)が、平日16～18時は「家や公園などで友達と過ごす」(37.4%)が、平日18時以降は「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」がそれぞれ多くなっている。

(n=1,087)

(%)

上段：件数 下段：%	授業などで学校にいる	児童保育室で過ごす	放課後子ども教室に参加する	放課後等児童デイサービスを利用する	保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす	家事代行サービスなどを利用する	家や公園などで友達と過ごす	設に図書館など公共の施設	ポ(子ども会活動、スポーツ活動)	地域活動に参加する	く学習塾や習い事へ行く	す家で、ひとりで過ごす	その他	無回答
平日14～16時	809 74.4	70 6.4	9 0.8	4 0.4	38 3.5	-	54 5	-	-	13 1.2	8 0.7	2 0.2	80 7.4	
平日16～18時	3 0.3	99 9.1	6 0.6	11 1	168 15.5	-	407 37.4	1 0.1	11 1	251 23.1	66 6.1	10 0.9	54 5	
平日18～20時	-	8 0.7	-	-	780 71.8	3 0.3	20 1.8	3 0.3	11 1	149 13.7	24 2.2	15 1.4	74 6.8	
平日20時以降	1 0.1	-	-	-	931 85.6	2 0.2	15 1.4	4 0.4	-	19 1.7	20 1.8	18 1.7	77 7.1	
休日	1 0.1	-	-	-	732 67.3	-	89 8.2	8 0.7	78 7.2	79 7.3	8 0.7	7 0.6	85 7.8	

子どもの普段の過ごし方 × 子どもの学年別 [小学生]

子どもの学年別にみると、低学年・高学年とも放課後の過ごし方には違いはみられないが、高学年では、16時～20時の時間帯で「学習塾や習い事へ行く」が多くなり、「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」の割合が低くなっている。

【低学年】

上段：件数 下段：%	合計	授業などで学校にいる	児童保育室で過ごす	放課後子ども教室に参加する	放課後等児童デイサービスを利用する	保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす	家事代行サービスなどを利用する	家や公園などで友達と過ごす	設に図書館など公共の施設	ポ(子ども会活動、スポーツ活動)	地域活動に参加する	く学習塾や習い事へ行く	す家で、ひとりで過ごす	その他	無回答
平日14～16時	451 100.0	268 59.4	68 15.1	6 1.3	2 0.4	26 5.8	-	31 6.9	-	-	9 2.0	3 0.7	1 0.2	37 8.2	
平日16～18時	451 100.0	1 0.2	96 21.3	3 0.7	5 1.1	71 15.7	-	149 33.0	-	2 0.4	86 19.1	12 2.7	3 0.7	23 5.1	
平日18～20時	451 100.0	-	8 1.8	-	-	357 79.2	-	9 2.0	-	1 0.2	24 5.3	8 1.8	6 1.3	38 8.4	
平日20時以降	451 100.0	-	-	-	-	393 87.1	-	4 0.9	-	-	2 0.4	6 1.3	7 1.6	39 8.6	
休日	451 100.0	-	-	-	-	320 71.0	-	38 8.4	2 0.4	23 5.1	26 5.8	-	3 0.7	39 8.6	

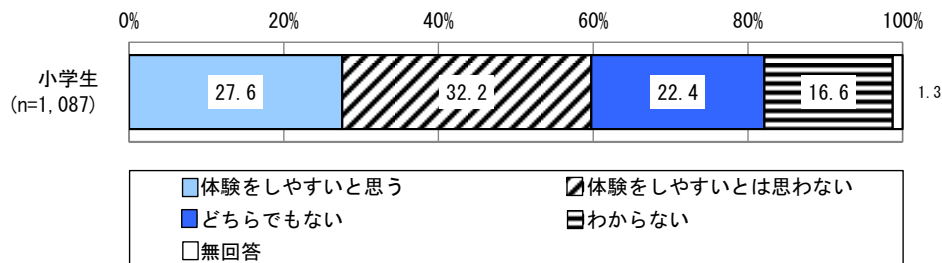
【高学年】

上段：件数 下段：%	合計	授業などで学校にいる	児童保育室で過ごす	放課後子ども教室に参加する	放課後等児童デイサービスを利用する	保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす	家事代行サービスなどを利用する	家や公園などで友達と過ごす	設に図書館など公共の施設	ポ(子ども会活動、スポーツ活動)	地域活動に参加する	く学習塾や習い事へ行く	す家で、ひとりで過ごす	その他	無回答
平日14～16時	612 100.0	524 85.6	2 0.3	3 0.5	2 0.3	11 1.8	-	22 3.6	-	-	4 0.7	5 0.8	1 0.2	38 6.2	
平日16～18時	612 100.0	2 0.3	1 0.2	3 0.5	6 1.0	92 15.0	-	253 41.3	1 0.2	9 1.5	162 26.5	51 8.3	6 1.0	26 4.2	
平日18～20時	612 100.0	-	-	-	-	403 65.8	3 0.5	11 1.8	3 0.5	10 1.6	123 20.1	16 2.6	9 1.5	34 5.6	
平日20時以降	612 100.0	1 0.2	-	-	-	517 84.5	2 0.3	11 1.8	4 0.7	-	17 2.8	14 2.3	11 1.8	35 5.7	
休日	612 100.0	1 0.2	-	-	-	395 64.5	-	50 8.2	6 1.0	55 9.0	51 8.3	7 1.1	4 0.7	43 7.0	

14 子どもの地域での自然体験などへの参加などについて

(1) 居住地が子どもにとって自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であると思うか [小学生…問25]

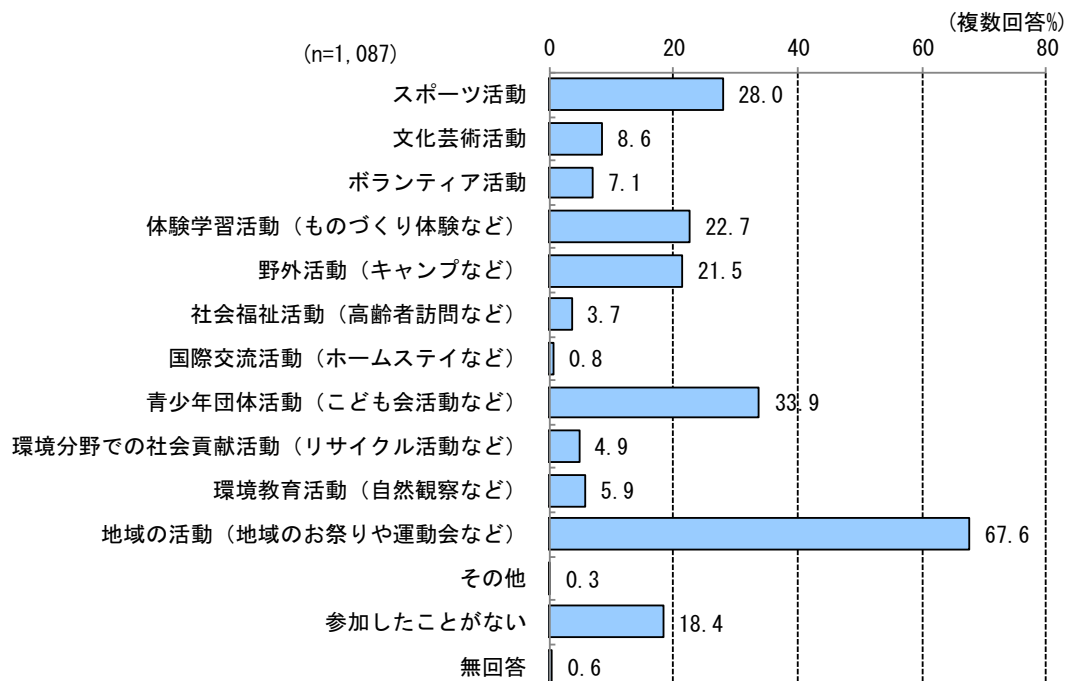
「体験をしやすいと思わない」が32.2%に対し、「体験をしやすいと思う」が27.6%となっている。



(2) 地域での自然体験、社会参加、文化活動への参加状況

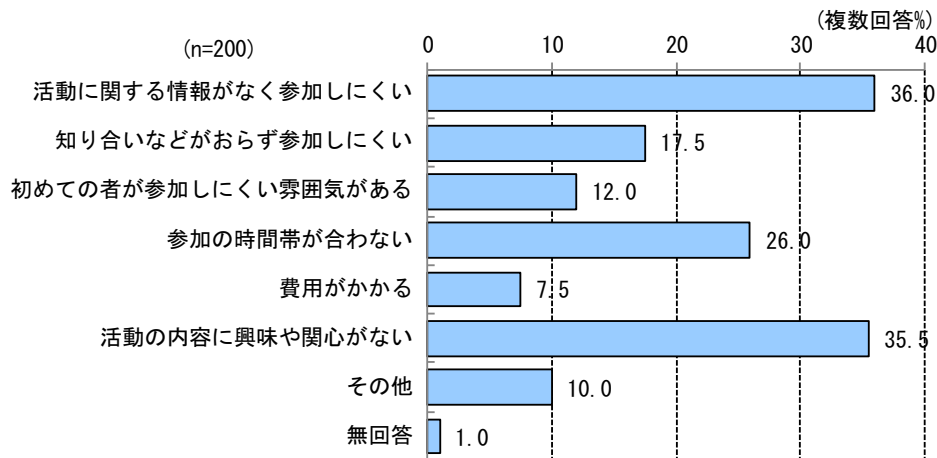
① 参加したことがある地域での自然体験、社会参加、文化活動 [小学生…問26]

参加したことがある地域での自然体験、社会参加、文化活動は「地域の活動（地域のお祭りや運動会など）」が67.6%で最も多く、次いで「青少年団体活動（こども会活動など）」が33.9%、「スポーツ活動」が28.0%となっている。



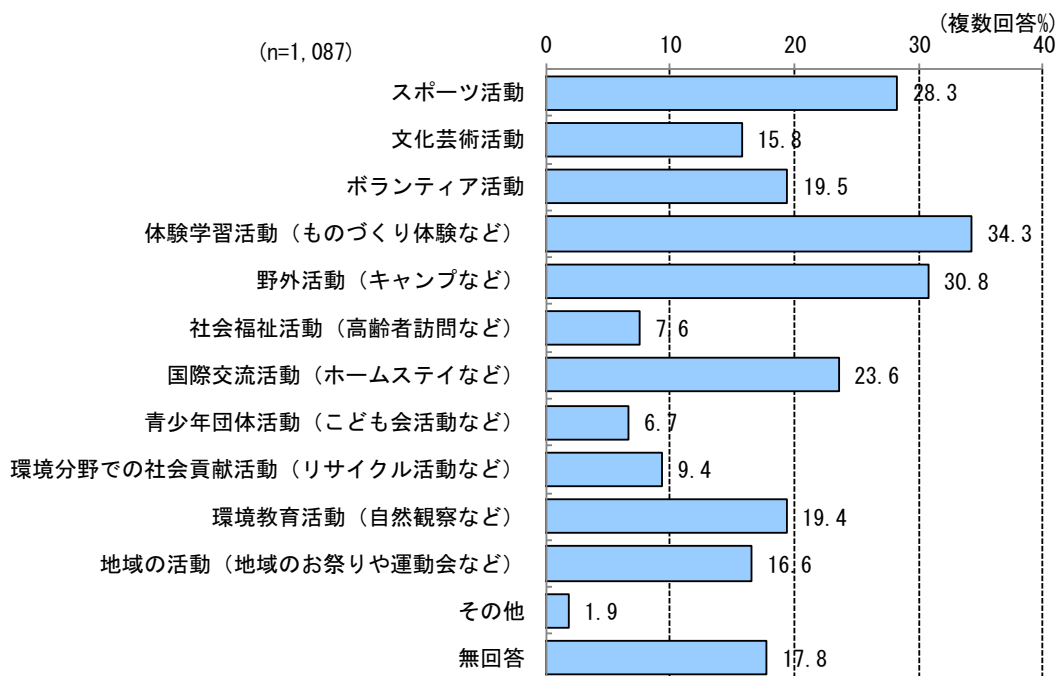
②地域での自然体験、社会参加、文化活動に参加していない理由 [小学生…問26-1]

「活動に関する情報がなく参加しにくい」(36.0%)や「活動の内容に興味や関心がない」(35.5%)が多くなっている。



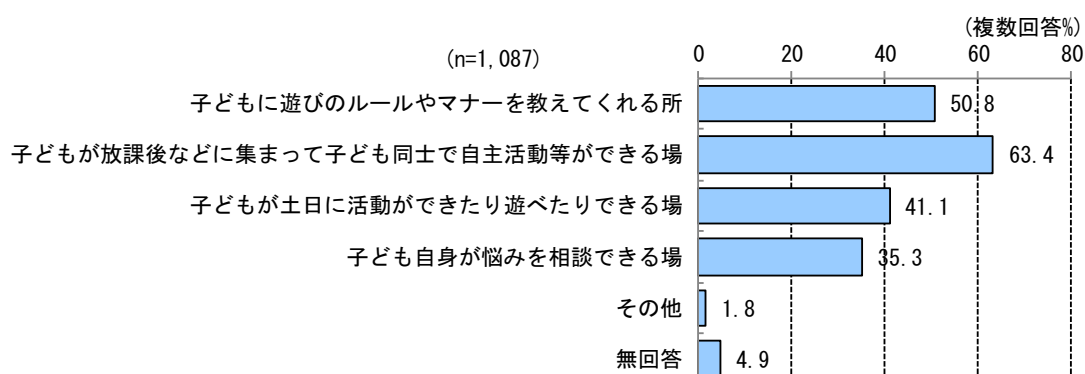
(3) 今後参加させたいと思っている地域における自然体験、社会参加、文化活動 [小学生…問27]

今後参加させたいと思っている地域での自然体験、社会参加、文化活動は「体験学習活動(ものづくり体験など)」が34.3%で最も多く、次いで「野外活動(キャンプなど)」(30.8%)、「スポーツ活動」(28.3%)となっている。



(4) 身近な地域で子ども同士が交流等を行うことのできる場への希望 [小学生…問28]

「子どもが放課後などに集まって子ども同士で自主活動などができる場」が63.4%で最も多く、次いで「子どもに遊びのルールやマナーを教えてくれる所」が50.8%となっている。



身近な地域で子ども同士が交流等を行うことのできる場への希望 × 子どもの学年別 [就学前児童]

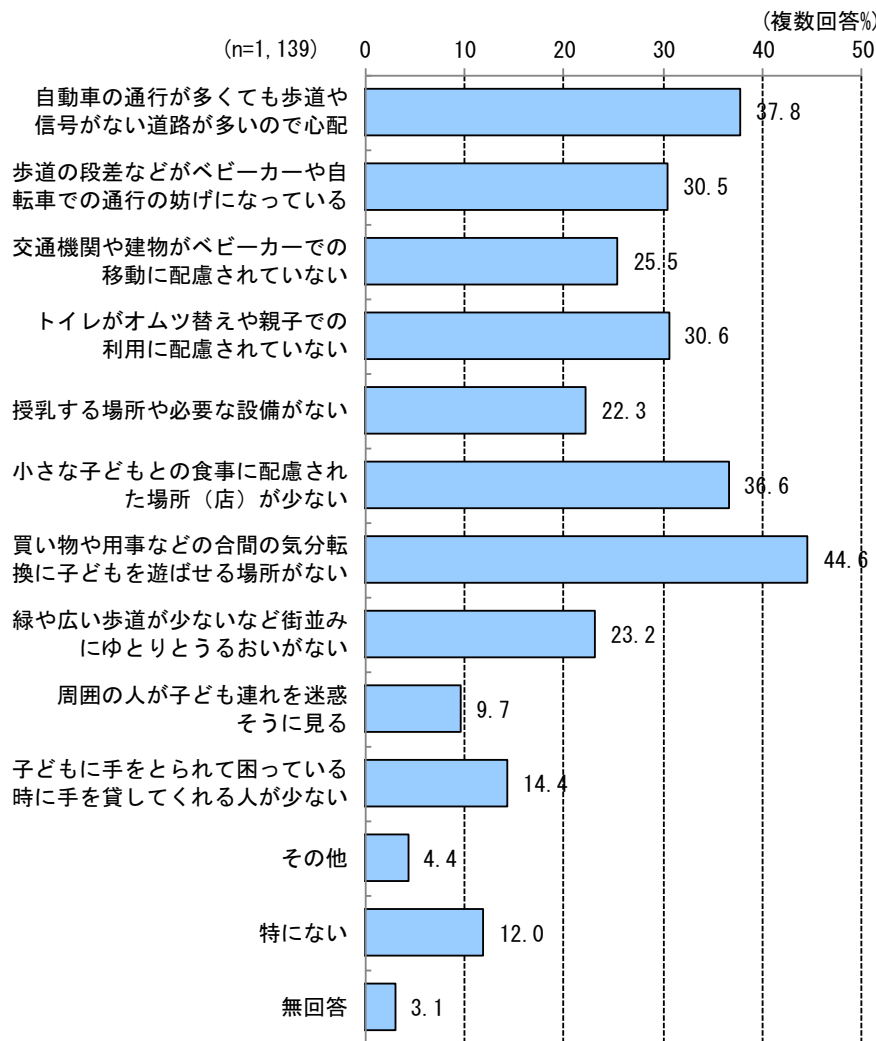
子どもの学年別にみると、学年に関わらず「子どもが放課後などに集まって子ども同士で自主活動などができる場」が最も多くなっている。

上段：件数 下段：%	合計	子どもに遊びのルールやマナーを教える所	子ども同士が集まることができる場所	子どもが土日に活動できたり遊べたりできる場	子ども自身が悩みを相談できる場	その他	無回答
全体	1,087 100.0	552 50.8	689 63.4	447 41.1	384 35.3	20 1.8	53 4.9
低学年	451 100.0	248 55.0	302 67.0	195 43.2	161 35.7	6 1.3	16 3.5
高学年	612 100.0	290 47.4	376 61.4	241 39.4	213 34.8	14 2.3	35 5.7
無回答	24 100.0	14 58.3	11 45.8	11 45.8	10 41.7	-	2 8.3

15 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保について

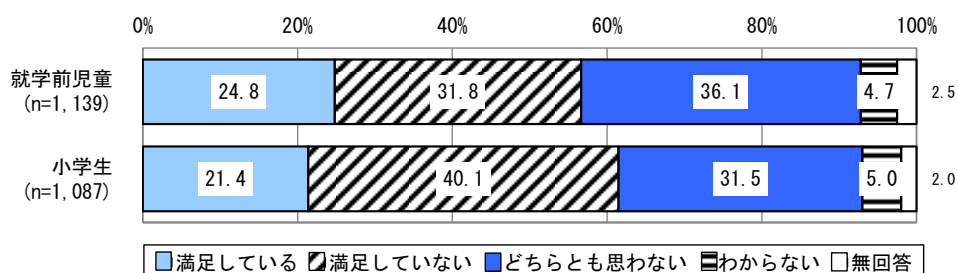
(1) 子どもと外出するときに、困ること、困ったこと [就学前児童…問41]

「買い物や用事などの合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない」が44.6%で最も多く、次いで「自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多いので心配」が37.8%、「小さな子どもとの食事に配慮された場所(店)が少ない」が36.6%となっている。



(2) 地域における子どもの遊び場に関する満足度 [就学前児童…問42、小学生…問29]

就学前児童の保護者で、地域の子どもの遊び場に対し、「満足している」は24.8%に対し、「満足していない」は31.8%で不満の割合が高い。小学生の保護者では、「満足している」は21.4%に対し、「満足していない」は40.1%で不満の割合が高い。

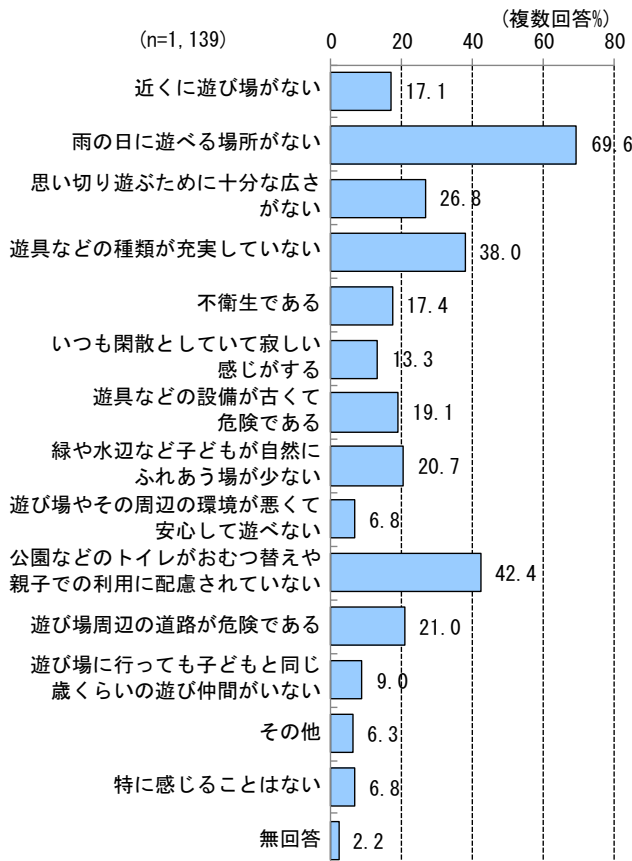


(3) 地域の子どもの遊び場について日ごろ感じること

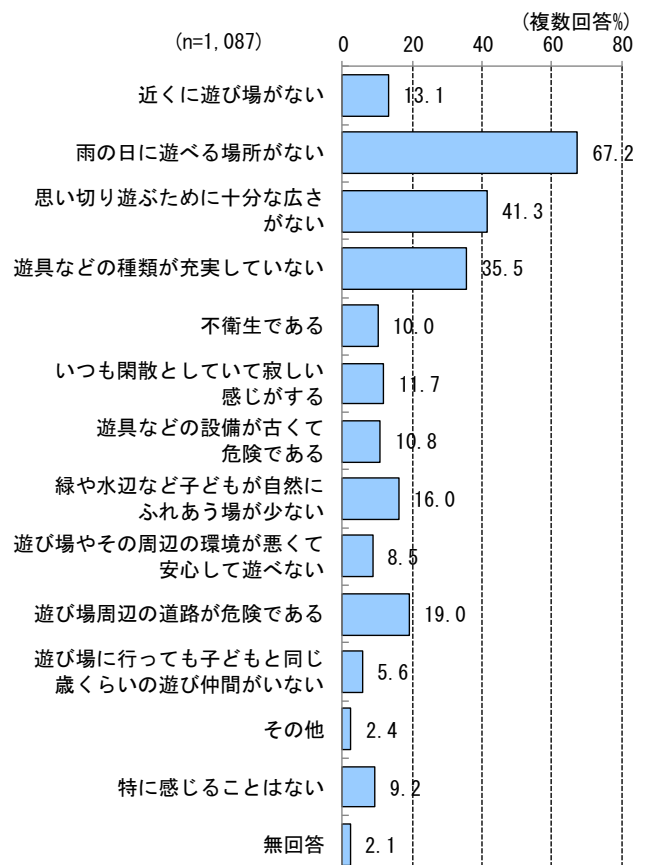
[就学前児童…問43、小学生…問30]

就学前児童では、「雨の日に遊べる場所がない」が69.6%で最も多く、次いで「公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」の42.4%となっている。小学生も「雨の日に遊べる場所がない」が67.2%で最も多く、「思い切り遊ぶために十分な広さがない」(41.3%)、「遊具などの種類が充実していない」(35.5%)などが続く。

【就学前児童】

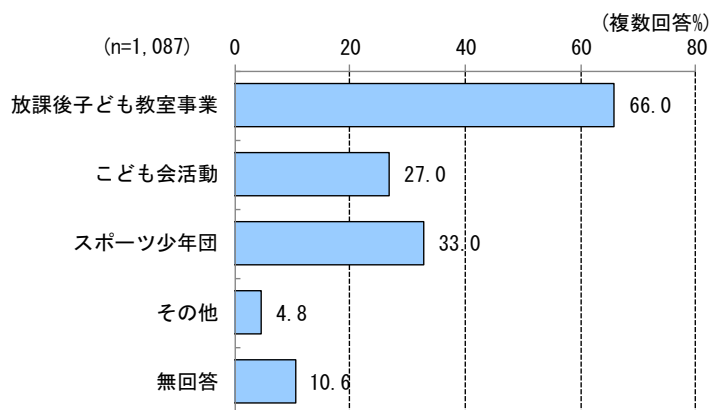


【小学生】



(4) 地域において子育てを支援する生活環境のために必要、あるいは効果があると思われる事業や取組 [小学生…問31]

子育てを支援する生活環境のために必要、あるいは効果があると考えられているものは、「放課後子ども教室事業」が66.0%で最も多く、次いで「スポーツ少年団」の33.0%、「こども会活動」(27.0%)となっている。



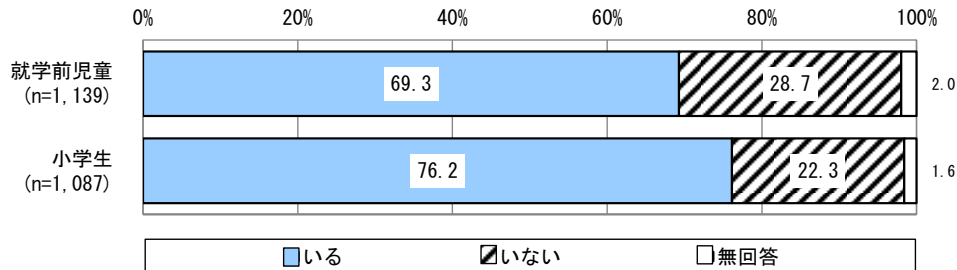
□その他記述

	件数	%
児童館、公民館、屋内施設など	7	24.1
親の負担がかからないもの	5	17.2
集える場所、遊び場、居場所	4	13.8
その他	13	44.8
合計	29	100.0

16 子育てに対する意識について

(1) 近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人の有無 [就学前児童…問44、小学生…問32]

近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人がいる割合は、就学前児童で69.3%、小学生で76.2%となっている。



近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人の有無 × 家庭類型別

□就学前児童

家庭類型別にみると、『その他』を除く家庭類型では「いる」が最も多くなっている。「いない」の割合は、『ひとり親』『フルタイム共働きの家庭』で高くなっている。

【就学前児童】 上段：件数 下段：%	合計	いる	いない	無回答
全体	1,139 100.0	789 69.3	327 28.7	23 2.0
ひとり親	20 100.0	12 60.0	8 40.0	—
フルタイム共働きの家庭	299 100.0	184 61.5	109 36.5	6 2.0
フルタイム・パートタイム 共働きの家庭	285 100.0	202 70.9	78 27.4	5 1.8
夫婦の一方が家事に 専念している家庭	405 100.0	301 74.3	95 23.5	9 2.2
その他	3 100.0	1 33.3	2 66.7	—
無回答	127 100.0	89 70.1	35 27.6	3 2.4

□小学生

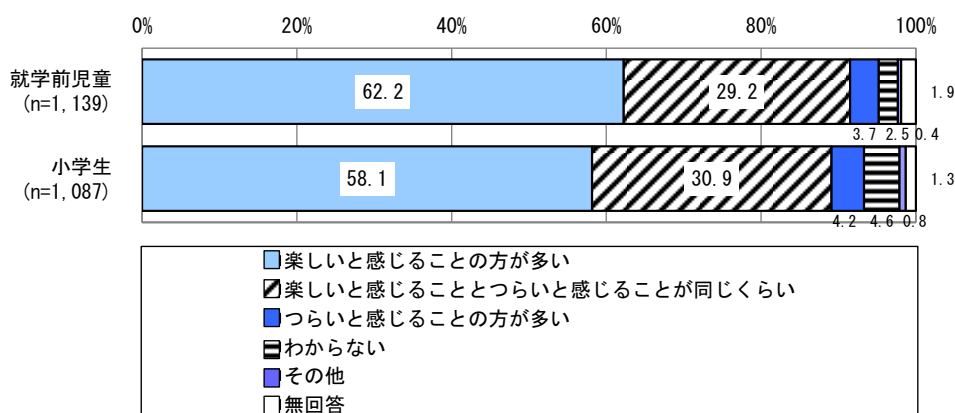
家庭類型別にみると、いずれの家庭類型も「いる」が最も多くなっている。「いない」の割合は、『ひとり親』『フルタイム共働きの家庭』で高くなっている。

【小学生】 上段：件数 下段：%	合計	いる	いない	無回答
全体	1,087 100.0	828 76.2	242 22.3	17 1.6
ひとり親	40 100.0	28 70.0	11 27.5	1 2.5
フルタイム共働きの家庭	204 100.0	145 71.1	55 27.0	4 2.0
フルタイム・パートタイム 共働きの家庭	467 100.0	368 78.8	96 20.6	3 0.6
夫婦の一方が家事に 専念している家庭	232 100.0	190 81.9	40 17.2	2 0.9
その他	2 100.0	2 100.0	—	—
無回答	142 100.0	95 66.9	40 28.2	7 4.9

(2) 子育てに対する負担感の状況

① 子育てに対する負担感 [就学前児童…問45、小学生…問33]

子育てを「楽しいと感じることの方が多い」が就学前児童、小学生とも6割前後で、「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」が3割前後となっている。



子育てに対する感じ方 × 同居・近居者別 [就学前児童]

一緒に住んでいる人別にみると、『父と母と一緒に住んでいる』『祖父が近所に住んでいる』『祖母が近所に住んでいる』で「楽しいと感じることの方が多い」の割合が6割を超え高くなっている。

上段：件数 下段：%	合計	楽しいと感じることの方が多い	楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい	つらいと感じることの方が多い	わからない	その他	無回答
全体	1,139 100.0	708 62.2	333 29.2	42 3.7	29 2.5	5 0.4	22 1.9
父と母と一緒に住んでいる	1,081 100.0	679 62.8	315 29.1	36 3.3	26 2.4	4 0.4	21 1.9
父と一緒に住んでいる (父子家庭)	7 100.0	3 42.9	3 42.9	1 14.3	-	-	-
母と一緒に住んでいる (母子家庭)	48 100.0	25 52.1	15 31.3	5 10.4	3 6.3	-	-
祖父と一緒に住んでいる	54 100.0	26 48.1	21 38.9	6 11.1	1 1.9	-	-
祖母と一緒に住んでいる	68 100.0	32 47.1	30 44.1	4 5.9	1 1.5	-	1 1.5
祖父が近所に住んでいる	254 100.0	157 61.8	74 29.1	9 3.5	6 2.4	1 0.4	7 2.8
祖母が近所に住んでいる	297 100.0	192 64.6	83 27.9	10 3.4	4 1.3	1 0.3	7 2.4
その他	20 100.0	15 75.0	3 15.0	-	-	1 5.0	1 5.0
無回答	-	-	-	-	-	-	-

子育てに対する感じ方 × 同居・近居者別〔小学生〕

一緒に住んでいる人別にみると、『父と一緒に住んでいる（父子家庭）』『祖父と一緒に住んでいる』『祖父が近所に住んでいる』で「楽しいと感じることの方が多し」の割合が6割を超え高くなっている。

上段：件数 下段：%	合計	方 楽 し い と 感 じ る こ と の 多 い	同 じ く ら い と 感 じ る こ と が と 多 い	方 つ ら い と 感 じ る こ と の 多 い	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全 体	1,087 100	632 58.1	336 30.9	46 4.2	50 4.6	9 0.8	14 1.3
父と母と一緒に住んでいる	992 100	578 58.3	307 30.9	40 4	46 4.6	9 0.9	12 1.2
父と一緒に住んでいる（父子家庭）	6 100	4 66.7	2 33.3	-	-	-	-
母と一緒に住んでいる（母子家庭）	82 100	45 54.9	27 32.9	6 7.3	2 2.4	-	2 2.4
祖父と一緒に住んでいる	55 100	34 61.8	17 30.9	1 1.8	1 1.8	-	2 3.6
祖母と一緒に住んでいる	95 100	56 58.9	30 31.6	4 4.2	4 4.2	-	1 1.1
祖父が近所に住んでいる	196 100	119 60.7	59 30.1	9 4.6	6 3.1	2 1	1 0.5
祖母が近所に住んでいる	235 100	138 58.7	75 31.9	11 4.7	6 2.6	3 1.3	2 0.9
その他	6 100	3 50.0	1 16.7	-	2 33.3	-	-
無回答	1 100	1 100	-	-	-	-	-

子育てに対する感じ方 × 気軽に相談できる人別〔就学前児童〕

気軽に相談できる人別にみると、『いる／ある』では「楽しいと感じることの方が多し」が最も多く、『いない／ない』では「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」が最も多い。

上段：件数 下段：%	合計	方 楽 し い と 感 じ る こ と の 多 い	同 じ く ら い と 感 じ る こ と が と 多 い	方 つ ら い と 感 じ る こ と の 多 い	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全 体	1,139 100.0	708 62.2	333 29.2	42 3.7	29 2.5	5 0.4	22 1.9
いる／ある	1,071 100.0	680 63.5	305 28.5	37 3.5	25 2.3	4 0.4	20 1.9
いない／ない	63 100.0	25 39.7	28 44.4	5 7.9	4 6.3	1 1.6	-
無回答	5 100.0	3 60.0	-	-	-	-	2 40.0

子育てに対する感じ方 × 気軽に相談できる人別〔小学生〕

気軽に相談できる人別にみると、『いる／ある』『いない／ない』どちらも「楽しいと感じることの方が多し」が最も多いが、『いない／ない』では「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」も多くなっている。

上段：件数 下段：%	合計	方 案 が 多 い と 感 じ る こ と の	同 じ く ら い と 感 じ る こ と が と	つ ら い と 感 じ る こ と の	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全 体	1,087 100.0	632 58.1	336 30.9	46 4.2	50 4.6	9 0.8	14 1.3
いる／ある	1,020 100.0	604 59.2	313 30.7	40 3.9	44 4.3	8 0.8	11 1.1
いない／ない	62 100.0	24 38.7	22 35.5	6 9.7	6 9.7	1 1.6	3 4.8
無回答	5 100.0	4 80.0	1 20.0	- -	- -	- -	- -

子育てに対する感じ方 × 近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人の有無別〔就学前児童〕

近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人の有無別にみると、いずれも「楽しいと感じることの方が多し」が最も多いが、その割合は『いない』のほうが低くなっている。

上段：件数 下段：%	合計	方 案 が 多 い と 感 じ る こ と の	同 じ く ら い と 感 じ る こ と が と	つ ら い と 感 じ る こ と の	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全 体	1,139 100.0	708 62.2	333 29.2	42 3.7	29 2.5	5 0.4	22 1.9
いる	789 100.0	521 66.0	227 28.8	22 2.8	14 1.8	3 0.4	2 0.3
いない	327 100.0	185 56.6	104 31.8	19 5.8	14 4.3	2 0.6	3 0.9
無回答	23 100.0	2 8.7	2 8.7	1 4.3	1 4.3	- -	17 73.9

子育てに対する感じ方 ×近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人の有無別〔小学生〕

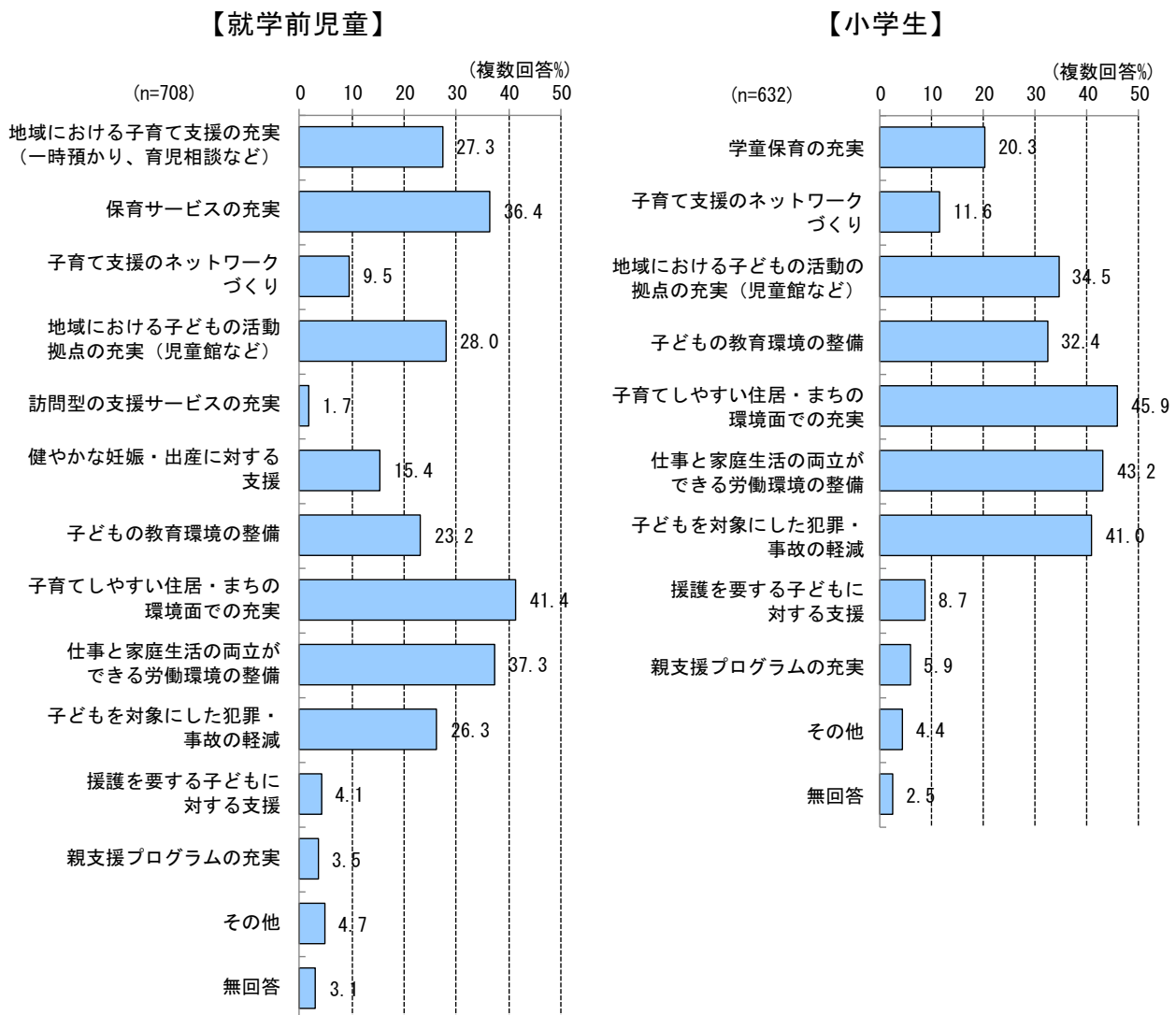
近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人の有無別にみると、いずれも「楽しいと感じることの方が多い」が最も多いが、その割合は『いない』のほうが低くなっている。

上段：件数 下段：%	合計	方 楽 が し 多 い と 感 じ る こ と の	同 じ く ら い と 感 じ る こ と が	つ ら い と 感 じ る こ と の	つ ら い と 感 じ る こ と の	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全 体	1,087 100.0	632 58.1	336 30.9	46 4.2	50 4.6	9 0.8	14 1.3	
いる	828 100.0	504 60.9	259 31.3	23 2.8	32 3.9	7 0.8	3 0.4	
いない	242 100.0	124 51.2	74 30.6	23 9.5	18 7.4	2 0.8	1 0.4	
無回答	17 100.0	4 23.5	3 17.6	- -	- -	- -	10 58.8	

①で「楽しいと感じることの方が多い」を選んだ方

②子育てにとって有効な支援・対策 [就学前児童…問45-1、小学生…問33-1]

子育てを「楽しいと感じることの方が多い」と回答した保護者を対象に、子育てにとって有効な支援・対策をたずねた。就学前児童は「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が41.4%で最も多く、次いで「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」(37.3%)や「保育サービスの充実」(36.4%)が多い。一方、小学生は「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」(45.9%)、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」(43.2%)に加えて、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」(41.0%)となっている。



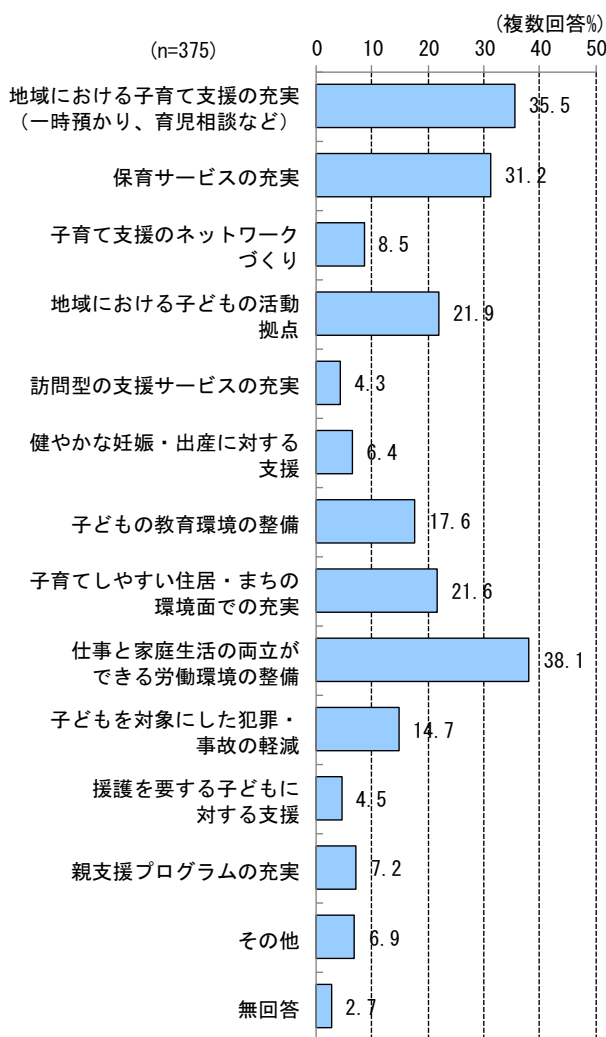
①で「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」または「つらいと感じることの方が多い」を選んだ方

③子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策

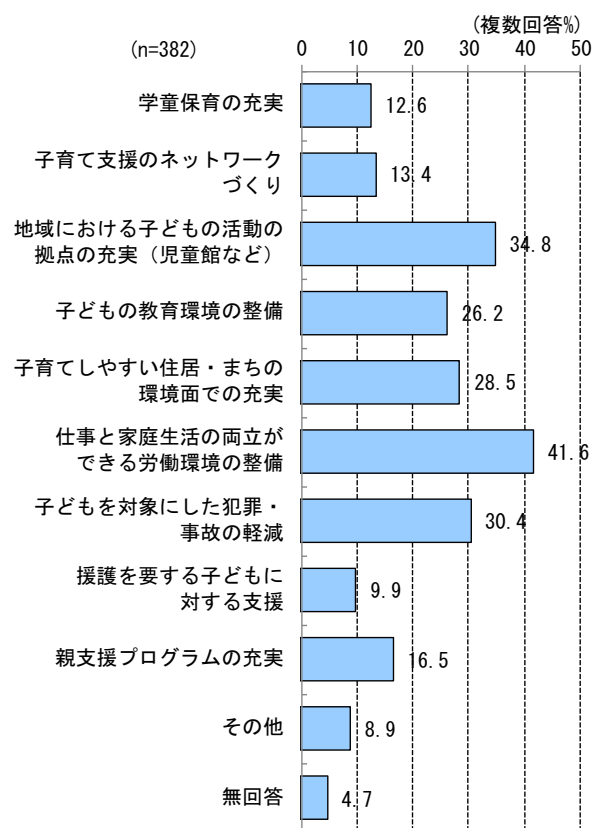
[就学前児童…問45-2、小学生…問33-2]

子育てを「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」または「つらいと感じることの方が多い」と回答した保護者を対象に、子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策をたずねた。就学前児童は「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が38.1%で最も多く、次いで「地域における子育て支援の充実」(35.5%)や「保育サービスの充実」(31.2%)となっている。一方、小学生も「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」(41.6%)が最も多く、次いで「地域における子どもの活動の拠点の充実」(34.8%)や「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」(30.4%)となっている。

【就学前児童】



【小学生】



子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策 × 家族類型別

□就学前児童

家族類型別にみると、『ひとり親』では「保育サービスの充実」と「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が、『フルタイム共働きの家庭』『フルタイム・パートタイム共働きの家庭』では「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が、『夫婦の一方が家事に専念している家庭』では「地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）」が最も多い。

【就学前児童】 上段：件数 下段：%	合計	地域の充実（一時預かり、育児相談など）	保育サービスの充実	子育て支援のネットワークづくり	地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）	訪問型の支援サービスの充実	健康やかな妊娠・出産に対する支援	子どもの教育環境の整備	子育てしやすい住居・まちな環境面での充実	仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備	子どもを対象にした犯罪・事故の軽減	支援を要する子どもに対する支援	親支援プログラムの充実	その他	無回答
全体	375 100.0	133 35.5	117 31.2	32 8.5	82 21.9	16 4.3	24 6.4	66 17.6	81 21.6	143 38.1	55 14.7	17 4.5	27 7.2	26 6.9	10 2.7
ひとり親	4 100.0	1 25.0	2 50.0	-	-	-	-	-	1 25.0	2 50.0	1 25.0	-	-	-	-
フルタイム共働きの家庭	79 100.0	15 19.0	35 44.3	5 6.3	13 16.5	5 6.3	4 5.1	11 13.9	21 26.6	47 59.5	12 15.2	5 6.3	1 1.3	3 3.8	1 1.3
フルタイム・パートタイム共働きの家庭	95 100.0	24 25.3	33 34.7	5 5.3	19 20.0	2 2.1	5 5.3	19 20.0	18 18.9	40 42.1	15 15.8	1 1.1	7 7.4	7 7.4	4 4.2
夫婦の一方が家事に専念している家庭	147 100.0	81 55.1	38 25.9	19 12.9	42 28.6	8 5.4	10 6.8	28 19.0	34 23.1	32 21.8	19 12.9	7 4.8	16 10.9	11 7.5	3 2.0
その他	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-
無回答	49 100.0	12 24.5	9 18.4	3 6.1	7 14.3	1 2.0	5 10.2	8 16.3	7 14.3	21 42.9	8 16.3	4 8.2	2 4.1	5 10.2	2 4.1

□小学生

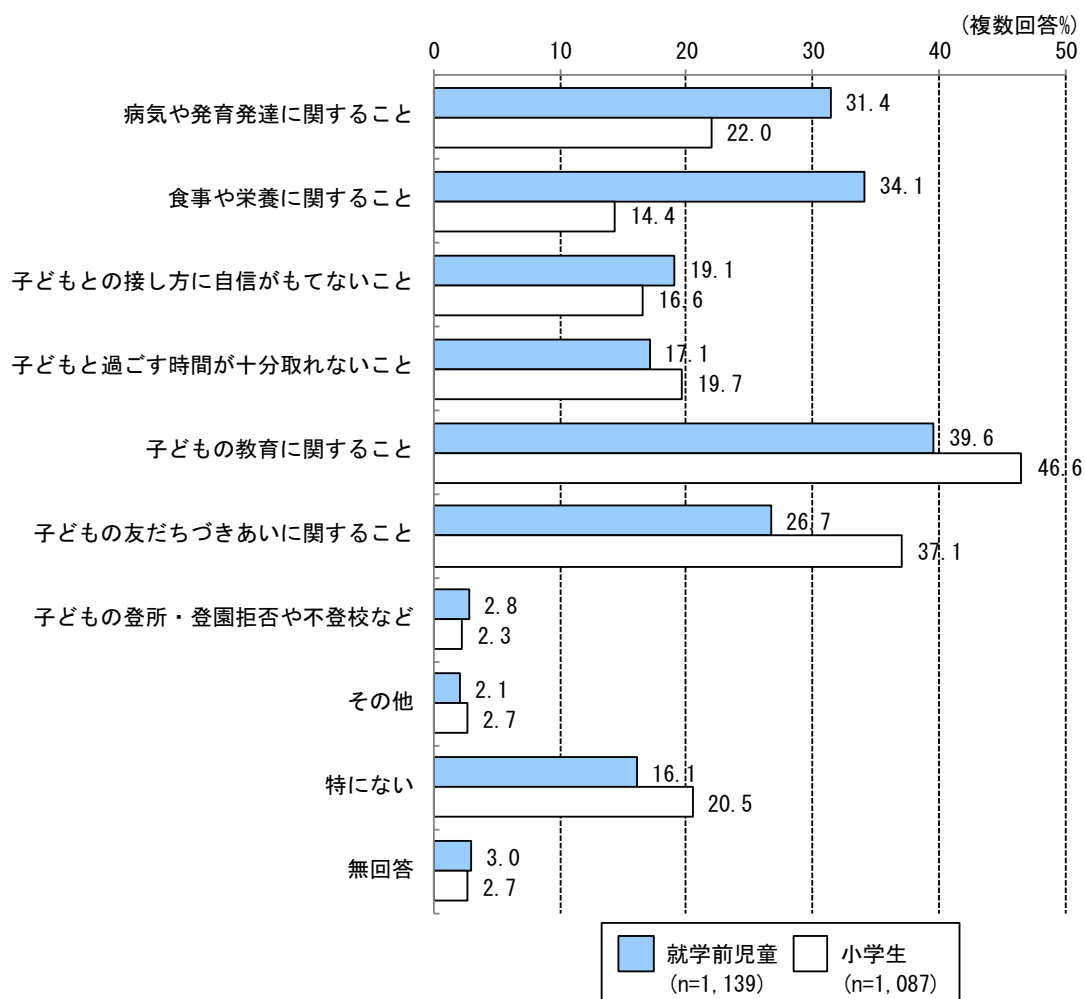
家族類型別にみると、『ひとり親』『フルタイム共働きの家庭』『フルタイム・パートタイム共働きの家庭』では「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が最も多い。『夫婦の一方が家事に専念している家庭』は「地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）」が最も多い。

【小学生】 上段：件数 下段：%	合計	学童保育の充実	子育て支援のネットワークづくり	地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）	子どもの教育環境の整備	子育てしやすい住居・まちな環境面での充実	仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備	子どもを対象にした犯罪・事故の軽減	支援を要する子どもに対する支援	親支援プログラムの充実	その他	無回答
全体	382 100.0	48 12.6	51 13.4	133 34.8	100 26.2	109 28.5	159 41.6	116 30.4	38 9.9	63 16.5	34 8.9	18 4.7
ひとり親	13 100.0	1 7.7	1 7.7	2 15.4	2 15.4	4 30.8	5 38.5	5 38.5	1 7.7	1 7.7	1 7.7	2 15.4
フルタイム共働きの家庭	69 100.0	17 24.6	8 11.6	23 33.3	12 17.4	14 20.3	44 63.8	22 31.9	8 11.6	12 17.4	5 7.2	2 2.9
フルタイム・パートタイム共働きの家庭	167 100.0	20 12.0	16 9.6	53 31.7	40 24.0	49 29.3	71 42.5	48 28.7	15 9.0	27 16.2	19 11.4	10 6.0
夫婦の一方が家事に専念している家庭	81 100.0	3 3.7	16 19.8	33 40.7	30 37.0	31 38.3	17 21.0	28 34.6	8 9.9	11 13.6	4 4.9	2 2.5
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	52 100.0	7 13.5	10 19.2	22 42.3	16 30.8	11 21.2	22 42.3	13 25.0	6 11.5	12 23.1	5 9.6	2 3.8

(3) 子育てに関する悩みや気になること [就学前児童…問46、小学生…問34]

①子どもに関すること

子どもに関する悩みごとで最も多いものは、就学前児童、小学生とも「子どもの教育に関すること」で就学前児童が39.6%、小学生が46.6%となっている。これに次いで、就学前児童では「食事や栄養に関すること」(34.1%)、「病気や発育発達に関すること」(31.4%)などが多い。小学生では「子どもの友だちづきあいに関すること」(37.1%)が2番目に多くなっている。



子どもに関する悩みや気になること × 子どもの年齢別〔就学前児童〕

子どもの年齢別にみると、0歳～2歳までの各年齢では「食事や栄養に関すること」が最も多くなっている。3歳以上の各年齢では「子どもの教育に関すること」がそれぞれ最も多くなっている。また、0歳～2歳までの各年齢では「病気や発育発達に関すること」の割合も高い。

【就学前児童】 上段：件数 下段：%	合計	病気や発育発達に関すること	食事や栄養に関すること	子どもとの接し方に自信がもてないこと	子どもと過ごす時間が十分取れないこと	子どもの教育に関すること	子どもの友だちづきあいに関すること	子どもの不登校など	特になし	その他	無回答
全体	1,139 100.0	358 31.4	388 34.1	218 19.1	195 17.1	451 39.6	304 26.7	32 2.8	183 16.1	24 2.1	34 3.0
0歳	155 100.0	58 37.4	83 53.5	31 20.0	16 10.3	42 27.1	22 14.2	1 0.6	20 12.9	1 0.6	4 2.6
1歳	176 100.0	62 35.2	84 47.7	31 17.6	31 17.6	70 39.8	39 22.2	4 2.3	20 11.4	4 2.3	3 1.7
2歳	164 100.0	56 34.1	68 41.5	39 23.8	35 21.3	67 40.9	39 23.8	3 1.8	24 14.6	2 1.2	4 2.4
3歳	163 100.0	49 30.1	50 30.7	35 21.5	27 16.6	56 34.4	46 28.2	3 1.8	34 20.9	6 3.7	3 1.8
4歳	165 100.0	41 24.8	40 24.2	31 18.8	32 19.4	74 44.8	45 27.3	7 4.2	35 21.2	7 4.2	8 4.8
5歳	159 100.0	46 28.9	32 20.1	26 16.4	27 17.0	64 40.3	54 34.0	5 3.1	26 16.4	3 1.9	8 5.0
6歳	149 100.0	43 28.9	29 19.5	23 15.4	25 16.8	76 51.0	58 38.9	9 6.0	24 16.1	-	4 2.7
無回答	8 100.0	3 37.5	2 25.0	2 25.0	2 25.0	2 25.0	1 12.5	-	-	1 12.5	-

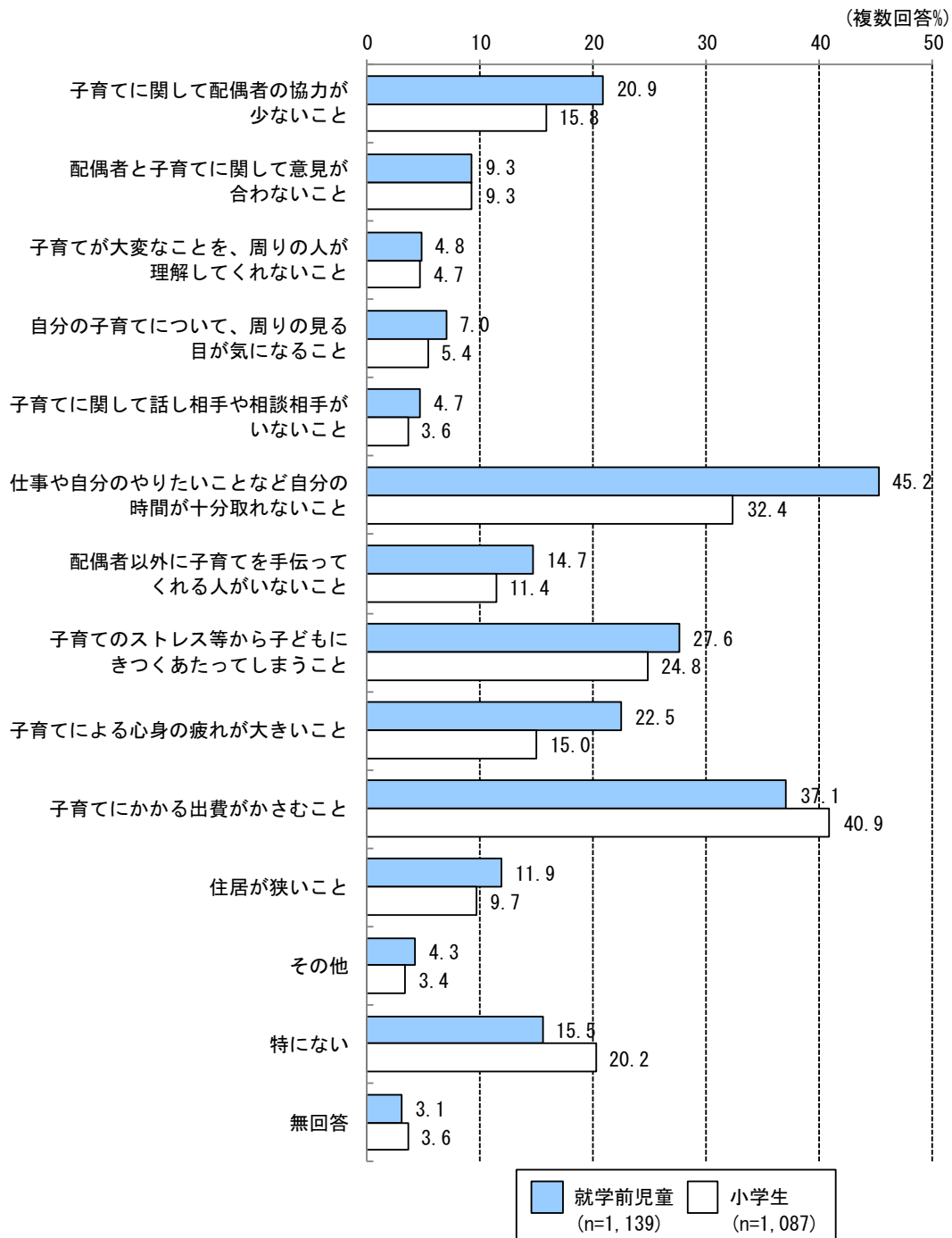
子どもに関する悩みや気になること × 子どもの学年別〔小学生〕

子どもの学年別にみると、低学年・高学年とも「子どもの教育に関すること」が最も多く、これに次いで「子どもの友だちづきあいに関すること」が多くなっている。

【小学生】 上段：件数 下段：%	合計	病気や発育発達に関すること	食事や栄養に関すること	子どもとの接し方に自信がもてないこと	子どもと過ごす時間が十分取れないこと	子どもの教育に関すること	子どもの友だちづきあいに関すること	子どもの不登校など	その他	特になし	無回答
全体	1,087 100.0	239 22.0	157 14.4	180 16.6	214 19.7	507 46.6	403 37.1	25 2.3	29 2.7	223 20.5	29 2.7
低学年	451 100.0	105 23.3	70 15.5	81 18.0	88 19.5	202 44.8	163 36.1	4 0.9	7 1.6	98 21.7	12 2.7
高学年	612 100.0	127 20.8	86 14.1	96 15.7	120 19.6	295 48.2	233 38.1	21 3.4	20 3.3	118 19.3	16 2.6
無回答	24 100.0	7 29.2	1 4.2	3 12.5	6 25.0	10 41.7	7 29.2	-	2 8.3	7 29.2	1 4.2

②自身に関すること

保護者自身に関する悩みごとをみると、就学前児童の保護者では「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」(45.2%)が最も多い。これに次いで、「子育てにかかる出費がかさむこと」(37.1%)、「子育てのストレス等から子どもにきつくあたってしまうこと」(27.6%)、「子育てによる心身の疲れが大きいこと」(22.5%)などが多い。小学生では「子育てにかかる出費がかさむこと」(40.9%)が最も多く、次いで、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」(32.4%)、「子育てのストレス等から子どもにきつくあたってしまうこと」(24.8%)などが多くなっている。



子育てに関する悩みや気になること × 家庭類型別

□就学前児童

家庭類型別にみると、『その他』を除くどの家庭類型でも「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が最も多くなっている。『フルタイム・パートタイム共働きの家庭』『夫婦の一方が家事に専従している家庭』では「子育てにかかる出費がかさむこと」の割合も高くなっている。

【就学前児童】 上段：件数 下段：%	合計	子育てに関して配偶者の協力が 少ないこと	配偶者と子育てに関して意見が 合わないこと	子育てが大変なことを、周りの 人が理解してくれないこと	自分の子育てについて、周りの 見る目が気になること	子育てに関して話し相手や相談 相手がいないこと	仕事や自分のやりたいことなど 自分の時間が十分取れないこと	配偶者以外に子育てを手伝って くれる人がいないこと	子育てのストレス等から子ども にきつくあたってしまうこと	子育てによる心身の疲れが大きい こと	子育てにかかる出費がかさむこ と	住居が狭いこと	特 に ない	そ の 他	無 回 答
全 体	1,139 100.0	238 20.9	106 9.3	55 4.8	80 7.0	53 4.7	515 45.2	167 14.7	314 27.6	256 22.5	423 37.1	135 11.9	177 15.5	49 4.3	35 3.1
ひとり親	20 100.0	1 5.0	-	-	-	-	9 45.0	-	7 35.0	3 15.0	6 30.0	1 5.0	6 30.0	3 15.0	-
フルタイム共働きの家庭	299 100.0	60 20.1	32 10.7	20 6.7	17 5.7	17 5.7	155 51.8	44 14.7	78 26.1	72 24.1	92 30.8	31 10.4	43 14.4	19 6.4	9 3.0
フルタイム・パートタイム 共働きの家庭	285 100.0	68 23.9	36 12.6	18 6.3	24 8.4	9 3.2	128 44.9	44 15.4	80 28.1	51 17.9	121 42.5	38 13.3	39 13.7	10 3.5	11 3.9
夫婦の一方が家事に 専念している家庭	405 100.0	86 21.2	30 7.4	15 3.7	34 8.4	23 5.7	175 43.2	70 17.3	117 28.9	105 25.9	163 40.2	48 11.9	62 15.3	8 2.0	9 2.2
その他	3 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	2 66.7	-	-
無回答	127 100.0	23 18.1	8 6.3	2 1.6	5 3.9	4 3.1	48 37.8	9 7.1	32 25.2	24 18.9	40 31.5	16 12.6	25 19.7	9 7.1	6 4.7

□小学生

家庭類型別にみると、いずれの家族類型も「子育てにかかる出費がかさむこと」が多くなっている。『フルタイム共働きの家庭』では「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」も多くなっている。

【小学生】 上段：件数 下段：%	合計	子育てに関して配偶者の協力が 少ないこと	配偶者と子育てに関して意見が 合わないこと	子育てが大変なことを、周りの 人が理解してくれないこと	自分の子育てについて、周りの 見る目が気になること	子育てに関して話し相手や相談 相手がいないこと	仕事や自分のやりたいことなど 自分の時間が十分取れないこと	配偶者以外に子育てを手伝って くれる人がいないこと	子育てのストレス等から子ども にきつくあたってしまうこと	子育てによる心身の疲れが大きい こと	子育てにかかる出費がかさむこ と	住居が狭いこと	そ の 他	特 に ない	無 回 答
全 体	1,087 100.0	172 15.8	101 9.3	51 4.7	59 5.4	39 3.6	352 32.4	124 11.4	270 24.8	163 15.0	445 40.9	105 9.7	37 3.4	220 20.2	39 3.6
ひとり親	40 100.0	2 5.0	1 2.5	2 5.0	2 5.0	4 10.0	13 32.5	-	14 35.0	5 12.5	15 37.5	7 17.5	-	8 20.0	2 5.0
フルタイム共働きの家庭	204 100.0	41 20.1	22 10.8	12 5.9	10 4.9	7 3.4	78 38.2	29 14.2	53 26.0	32 15.7	77 37.7	11 5.4	13 6.4	37 18.1	7 3.4
フルタイム・パートタイム 共働きの家庭	467 100.0	72 15.4	52 11.1	18 3.9	26 5.6	11 2.4	153 32.8	45 9.6	119 25.5	66 14.1	204 43.7	42 9.0	16 3.4	89 19.1	15 3.2
夫婦の一方が家事に 専念している家庭	232 100.0	29 12.5	15 6.5	8 3.4	9 3.9	10 4.3	62 26.7	38 16.4	51 22.0	36 15.5	83 35.8	22 9.5	5 2.2	60 25.9	11 4.7
その他	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2 100.0	1 50.0	-	-	-
無回答	142 100.0	27 19.0	11 7.7	11 7.7	12 8.5	7 4.9	46 32.4	12 8.5	33 23.2	24 16.9	64 45.1	22 15.5	3 2.1	26 18.3	4 2.8

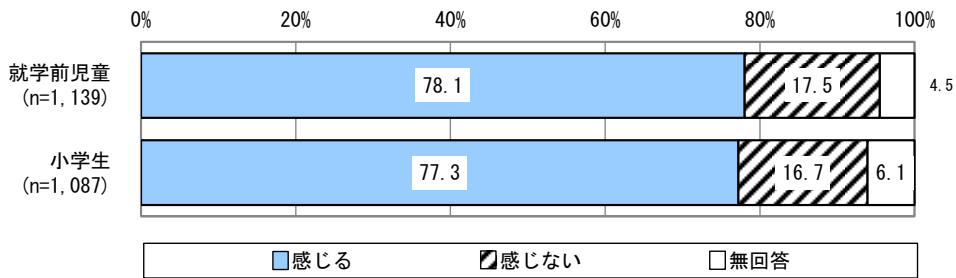
(4) 地域での子育て支援に対する実感の有無 [就学前児童…問47、小学生…問35]

子育てが地域の人や社会に支えられていると感じる割合は、就学前児童の保護者が78.1%、小学生の保護者が77.3%となっている。

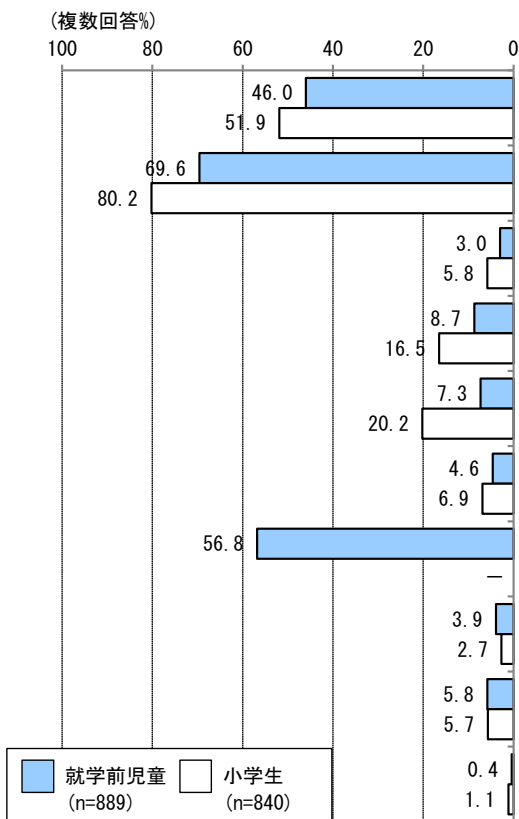
それが誰から支えられていると感じるのかについては、就学前児童、小学生とも「同じ世代の子どもを持つ保護者」(就学前69.6%、小学生80.2%)が最も多く、特に小学生の保護者の割合が高い。これに次いで就学前児童の保護者では、「幼稚園や保育所、認定こども園、地域子育て支援拠点などの職員」(56.8%)が、小学生の保護者では「近所の人」(51.9%)がそれぞれ多くなっている。

一方、子育てが地域の人や社会に支えられていないと感じない割合は、就学前児童が17.5%、小学生の保護者が16.7%となっており、そのような回答をした保護者が特に誰から支えてほしいのかについては、就学前児童では「幼稚園や保育所、認定こども園、地域子育て支援拠点などの職員」(36.2%)、「同じ世代の子どもを持つ保護者」(31.2%)が多く、小学生では「同じ世代の子どもを持つ保護者」(34.8%)が多い。また、小学生では「地域活動を行っているNPOなどの人」(15.5%)の割合が就学前児童に比べ高い。

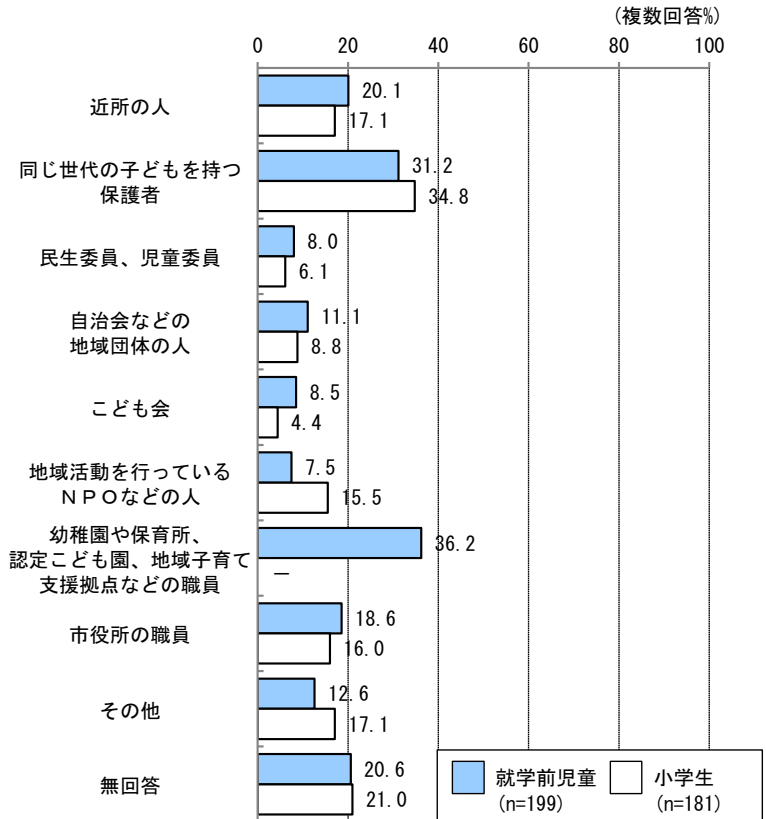
□自身の子育てが、地域の人や社会に支えられていると感じますか。



□特に支えられていると感じる人



□特に支えてほしい人



地域での子育て支援に対する実感の有無 × お子さんの面倒を見てもらえる人別

□就学前児童

お子さんの面倒を見てもらえる人別にみると、『いずれもない』と回答した人は、面倒を見てもらえる人がいると回答した人に比べて、「感じる」割合が低くなっている。「感じる」割合は『日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる』『緊急時などに子どもをみてもらえる友人や知人がいる』では9割にのぼる。

【就学前児童】 上段：件数 下段：%	合計	感じる	感じない	無回答
全体	1,139 100.0	889 78.1	199 17.5	51 4.5
日常的に自身や配偶者の親、 親せきにみてもらえる	323 100.0	269 83.3	37 11.5	17 5.3
緊急時などには自身や配偶者の親、 親せきにみてもらえる	689 100.0	554 80.4	107 15.5	28 4.1
日常的に子どもをみてもらえる 友人や知人がいる	42 100.0	38 90.5	1 2.4	3 7.1
緊急時などに子どもをみてもらえる 友人や知人がいる	186 100.0	176 94.6	5 2.7	5 2.7
いずれもない	198 100.0	129 65.2	62 31.3	7 3.5
無回答	5 100.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0

□小学生

お子さんの面倒を見てもらえる人別にみると、『いずれもない』と回答した人は、面倒を見てもらえる人がいると回答した人に比べて、「感じる」割合が低くなっている。「感じる」割合は『日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる』では9割にのぼる。

【小学生】 上段：件数 下段：%	合計	感じる	感じない	無回答
全体	1,087 100.0	840 77.3	181 16.7	66 6.1
日常的に自身や配偶者の親、 親せきにみてもらえる	396 100.0	332 83.8	44 11.1	20 5.1
緊急時などには自身や配偶者の親、 親せきにみてもらえる	598 100.0	476 79.6	85 14.2	37 6.2
日常的に子どもをみてもらえる 友人や知人がいる	100 100.0	91 91.0	6 6.0	3 3.0
緊急時などに子どもをみてもらえる 友人や知人がいる	334 100.0	288 86.2	30 9.0	16 4.8
いずれもない	133 100.0	71 53.4	49 36.8	13 9.8
無回答	1 100.0	1 100.0	-	-

地域での子育て支援に対する実感の有無 × 子育てに対する負担感の程度別

□就学前児童

子育てに対する負担感の程度別にみると、楽しいと感じることが多い人ほど、地域に支えられていると「感じる」割合が高くなっている。

【就学前児童】 上段：件数 下段：%	合計	感じる	感じない	無回答
全 体	1,139 100.0	889 78.1	199 17.5	51 4.5
楽しいと感じることの方が多い	708 100.0	589 83.2	99 14.0	20 2.8
楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい	333 100.0	239 71.8	75 22.5	19 5.7
つらいと感じることの方が多い	42 100.0	28 66.7	12 28.6	2 4.8
わからない	29 100.0	19 65.5	9 31.0	1 3.4
その他	5 100.0	3 60.0	2 40.0	- -
無回答	22 100.0	11 50.0	2 9.1	9 40.9

□小学生

子育てに対する負担感の程度別にみると、楽しいと感じることが多い人ほど、地域に支えられていると「感じる」割合が高くなっている。『つらいと感じることの方が多い』人は「感じない」割合の方が高くなっている。

【小学生】 上段：件数 下段：%	合計	感じる	感じない	無回答
全 体	1,087 100.0	840 77.3	181 16.7	66 6.1
楽しいと感じることの方が多い	632 100.0	529 83.7	74 11.7	29 4.6
楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい	336 100.0	241 71.7	71 21.1	24 7.1
つらいと感じることの方が多い	46 100.0	20 43.5	21 45.7	5 10.9
わからない	50 100.0	35 70.0	11 22.0	4 8.0
その他	9 100.0	8 88.9	1 11.1	- -
無回答	14 100.0	7 50.0	3 21.4	4 28.6

□就学前児童

地域での子育て支援に対する実感の有無別に近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人の有無をみると、『地域の人や社会に支えられていると感じる』で「近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人がいる」の割合が高く、『地域の人や社会に支えられていると感じない』では「近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人がいない」の割合のほうが高くなっている。

【就学前児童】 上段：件数 下段：%	合計	いる	いない	無回答
全 体	1,139 100.0	789 69.3	327 28.7	23 2.0
感じる	889 100.0	675 75.9	204 22.9	10 1.1
感じない	199 100.0	83 41.7	112 56.3	4 2.0
無回答	51 100.0	31 60.8	11 21.6	9 17.6

□小学生

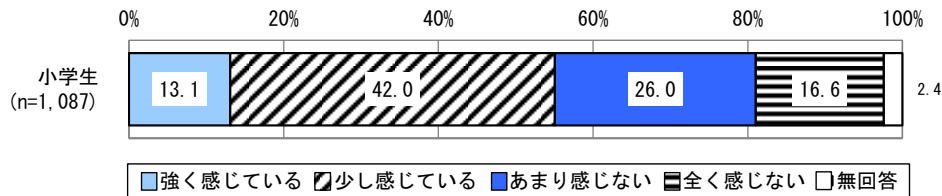
地域での子育て支援に対する実感の有無別に近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人の有無をみると、『地域の人や社会に支えられていると感じる』で「近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人がいる」の割合が8割にのぼるのに対し、『感じない』は5割台となっている。

【小学生】 上段：件数 下段：%	合計	いる	いない	無回答
全 体	1,087 100.0	828 76.2	242 22.3	17 1.6
感じる	840 100.0	693 82.5	136 16.2	11 1.3
感じない	181 100.0	92 50.8	86 47.5	3 1.7
無回答	66 100.0	43 65.2	20 30.3	3 4.5

(5) 就学前から小学校入学にあたっての不安について

① 就学前から小学校入学にあたっての不安の程度 [小学生…問36]

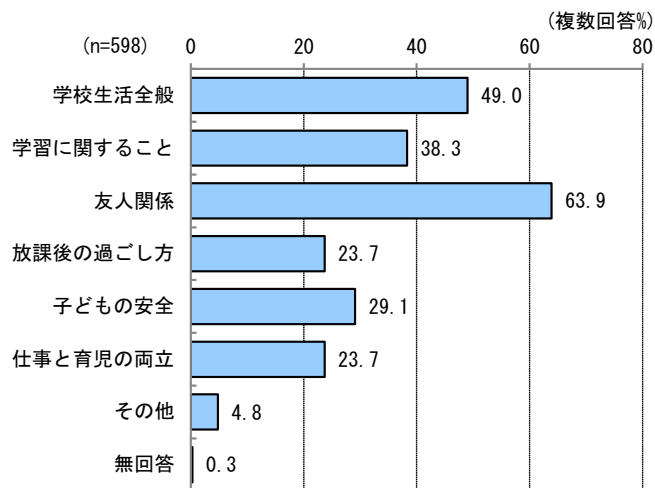
不安を感じている割合（「強く感じている」と「少し感じている」の割合の合計）は55.1%に対し、不安を感じていない割合（「全く感じない」と「あまり感じない」の割合の合計）は42.6%で、不安を感じている割合が高くなっている。



①で「強く感じている」または「少し感じている」を選んだ方

② 就学前から小学校入学にあたっての不安内容 [小学生…問36-1]

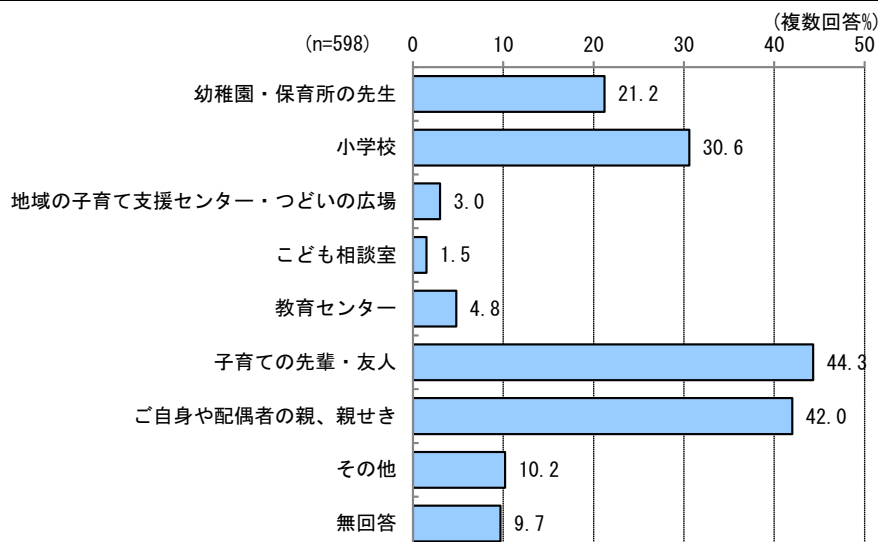
不安を感じている場合の内容は、「友人関係」（63.9%）が最も多く、これに次いで「学校生活全般」（49.0%）、「学習に関すること」（38.3%）となっている。



①で「強く感じている」または「少し感じている」を選んだ方

③ 就学前から小学校入学にあたっての不安の相談先 [小学生…問36-2]

不安に関する相談先は、「子育ての先輩・友人」が44.3%で最も多く、これに次いで「ご自身や配偶者の親、親せき」（42.0%）、「小学校」（30.6%）となっている。



17 自由意見

【就学前児童…問 48、小学生…問 37】

【就学前児童】

540 件 (47.4%) 延 771 件

意見の要点等

意見の要点等	
(ア) 施設の整備について (231 件)	
	近隣の公園は遊具やトイレが古く、また草が伸びていたり、吸いながらゴミが落ちていたりして、子どもを安心して遊ばせられません。
	近くの公園がボール遊び禁止の為、道路で遊ばざるをえない。ボール遊びができる公園を増やしたり、大きな子から小さな子まで遊べる広い公園を整備してほしい。
	地域子育て支援センター、つどいの広場が近しくなく、気軽に行けない。
	授乳やおむつ替えのスペースを設置してほしい。
(イ) 生活環境について (195 件)	
	道路の段差の解消、歩道の整備等、安全に通行できる道路を整備してほしい。
	歩道が狭い道があるので事故が心配。信号のない横断歩道で譲ってくれる車がほとんどいない。
	夕方暗くなると街灯もなく、不安。
	とにかく道が狭く車の交通量の多い危険な状態をなんとかしてほしい。
(ウ) 防犯について (80 件)	
	不審者情報が多く不安である。
	公園、道路など子どもが利用するエリアに監視カメラの設置が進めば、防犯効果があると思います。
	幼稚園や学校の行き帰り等、子どもたちが移動する時間帯のパトロールの強化があったりすると安心。
(エ) 子育て支援について (65 件)	
	初めての土地で一人でとても孤独だった。思うようにいかないとき、どこに相談したいのかわからず、わかってもうまく相談できなかった。
	つどいの広場やスマイルの一時預かりを利用したいが、すぐに予約でいっぱいになってしまい、使えないことが多いので、是非拡充をお願いしたい。
	親同士が知り合える場が欲しい。
	茨木市役所の HP に子育て広場、サロンの情報は掲載されているが、情報が少ないように感じる。
(オ) 保育について (42 件)	
	平日、親が仕事で休みの場合でも保育園で預かってほしい（美容院など自分の時間が全く取れない）。
	兄弟で保育園を利用して、どちらかが熱などで休む場合、元気な方は預かってほしい。
	フルタイムでなければ、子どもが保育所に入るのは至難であるが、なぜパートタイマーは差別されるのか。みんなが希望した保育所に入れるようにしてほしい。入れないのであればそれなりに支援を厚くしてほしい。
	小規模保育園を増やしても 3 歳児以降どうなるのか…働いている者にとっては不安。

(カ) 幼稚園・学校について (40件)	
	夏休み、春休みなどの長期の休みになると、仕事を休まなくてはならなくなる。長期休みに子どもを預ける場所があれば助かる。パートだが、短時間でも見てくれれば、社会とのつながりが主婦にもできる。
	学童保育が小3までなのが不安です。小6まで利用できるようにしてほしい。
(キ) 経済的支援について (30件)	
	経済的な援助が今以上に受けられたらありがたい。
	働かないとお金がない。子どもとの時間を取りたいが、パートのフルタイムでも大変である。もっと人を育てる、人材を育てるために経済支援をしてほしい。
(ク) 保健・医療について (27件)	
	インフルエンザ予防接種や医療の補助をもっと充実させてほしい。
	夜間救急病院、小児救急を充実してほしい
(ケ) アンケートについて (19件)	
	今回のアンケートで茨木市が子育て政策に積極的であることを理解した。
	質問が多すぎる。
(コ) その他 (42件)	
	地域のみんなで子育てできるような環境ができれば、もっとみんなが優しくなれるのではないか。
	子育て世代が集まっている街は何故、集まっているのか、茨木市と何が違うのかを検証していただきたい。

意見の要点等

意見の要点等	
(ア) 学童保育について (65件)	
	学童の利用条件が厳しいと感じる。就労時間にかかわらず利用できれば助かる。そのためにも学童の指導員数の増加、安全の確保が必要になってくると思う。
	学童保育を、夏休みや冬休みなど短期のみで利用できるようにしてほしい。子どもを日中ひとりで過ごさせるのに不安がある。働くのをあきらめた人もいる。
	学童保育を小6までにしてほしい。
(イ) 施設の整備について (58件)	
	子どもがボール遊びや思いっきり体を動かせる場所が無い。子ども達が集まって遊べる公園や広場がほしい。
	子どもが自由に遊べる環境がほしい。特に屋内施設が足りない。図書館は遠く、児童館もない。
(ウ) 地域の子育て支援について (48件)	
	近所の公的施設などで子どもが気軽に利用できる文化教室等が色々開催されているとありがたい。
	放課後に学校を開放して子ども達が自由に過ごせるようにしてほしい。
	市民体育館以外でも色々なスポーツ教室を開催してほしい。
(エ) 経済的支援について (47件)	
	金銭面での援助をもっとしてほしい。
	経済的な支援においては、所得制限をかけないでほしい。
(オ) 小学校について (39件)	
	教職員の質と数の向上を望みます。
	小学校のトイレが古くて、子どもが学校のトイレはあまり使いたくないと言っています。
(カ) 保健・医療について (35件)	
	医療費助成の拡充やインフルエンザワクチン費用の助成をしてほしい。
	小児科を増やしてほしい。
(キ) 生活環境について (22件)	
	せまい通りや段差、溝などが通学路になっていて、いつも危険を感じています。道路の整備に力を入れてほしいです。
	住宅街のため、人通りは少なく、もし子ども達に不安や危険な事があった時に助けを求められる商業施設や公共施設が少ない。
(ク) 防犯について (12件)	
	朝の登校の際、子どもを見守るボランティアをつけてほしいです。
	公園にはカメラの設置をお願いしたいです。
(ケ) アンケートについて (12件)	
	アンケートをとった以上、何かしらの変化はほしい。
	まずは今回このようなアンケートをさせて頂いて、子どもに関する事を改めて考えるとても良い機会になったと思います。

(コ) その他 (113件)

中学校は給食にしてほしい。

今後の教育費等にいくらかかるかと思うと、それが一番の悩みです。このような理由で兄弟姉妹をうみたいと思わない方がたくさんいます。子を持つ親がより働きやすい環境づくり、子どもを産みたいと思えるような支援、制度のますますの充実をよろしく願っています。

共働き世帯の増加や猛暑対策など変化してきたライフスタイルに対応した子育て環境が不十分。予算のこともあり、すぐに対応できなくても、声を出しやすい環境を作り、10年後の子育て環境に役立ててほしい。

Ⅲ. 調査結果からみえてきた今後の課題

1. 理想とする子どもの数が持てるための対策の充実

就学前児童の保護者調査（以下「就学前児童調査」）の結果では、希望した子どもの数を生み育てている割合は、現在の子どもの人数が『1人』では89.5%となっているが、『2人』では59.8%、『3人』では37.1%、『4人以上』では33.3%と、現在の子どもの人数が増えるほど希望どおりの子どもの数を生んでいる割合は低くなっている。2人以上子どもを生み育てたいと考えている人の39.5%が「生みたいと思う」と回答し、そのために必要な環境として49.4%は「収入が増えれば生みたい」としている。この割合は、平成25(2013)年度調査の結果では42.1%で、また市に充実してほしいサービスでは、「育児休業給付の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充」が2番目に多いなど、子どもを生み育てるにあたっては依然経済的な面での支援が課題となっている。

さらに、もう一人子どもを生むために必要な環境に関するその他の意見として「年齢の問題（もう高齢、もっと若ければ）」など、晩婚化の影響もうかがえる記述もあった。結婚が遅くなることで、晩産化や高齢出産などの問題が生じるだけでなく、初産が遅くなることで一人の女性が生む子どもの数が減ることにつながることから、子育て支援や政府が進める働き方改革などに呼応した対策を進めることが必要である。

2. 市の子育て支援策の充実による子育て家庭の満足度の向上

就学前児童調査では、茨木市における子育て環境や子育て支援に対し「満足度が低い」（「満足度が低い」と「満足度がやや低い」の各割合の計）は56.8%で半数を超えている。また、市に充実してほしいサービスとして、「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」「育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充」「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」「保育所や学童保育など子どもを預ける施設を増やす」などが、また小学生児童の保護者調査（以下「小学生調査」）の結果では、小児医療体制の整備のほか「児童手当、扶養控除の拡充など子育て世帯への経済的援助の拡充」「子どもたちが集まり遊べる児童館などの屋内施設の整備」など、子育て支援に関してソフト面・ハード面など多岐にわたる支援や環境整備が求められている。

これらの要望は、平成25(2013)年度調査結果の順位とほとんど変わっておらず、市の取組が子育て家庭にとって十分な満足を得られる成果に依然至っていない状況にある。引き続き、子育て家庭の満足の向上を図るための取組を進め、その成果を客観的に評価し改善していくことが必要である。

3. 子育て家庭の母親の就労率の高まりに応じた両立支援の充実

就学前調査及び小学生調査の結果から母親の就労状況をみると、「以前は働いていたが、今は働いていない」「これまで働いたことはない」の各割合は平成25(2013)年度調査の結果から低下し、パートを中心に就労する母親の割合は大きく上昇している。（母親の就労割合：就学前児童・平成25(2013)年度）44.7%→今回58.0%、小学生・平成25(2013)年度）59.1%→今回73.0%

また、現在就労していない無職の母親のうち、就学前児童では5人に1人、小学生児童では4人に1人が「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」と回答しており、子育て家庭の母親の就労率の一層の上昇が見込まれる。

就学前児童調査の結果から就労する母親の育児休業の取得率をみると、「育児休業を取った、あるいは、今取っている」割合は33.7%で、平成25(2013)年度調査の29.6%からやや上昇しているものの、父親の取得率は3.8%（平成25(2013)年度調査2.7%）と依然低いままとなっている。母親の育児休業を取得しなかった理由は「収入減となり、経済的に苦しくなる」「職場に育児休業の制度がなかった」「出産後すぐに仕事に復帰したかった」「保育所などに預けることができた」などが上位となっている。また、育児休業を取らず離職した理由は「子育てや家事に専念するため」に次いで「仕事に戻るのが難しかった」が2番目に多く、収入面での問題に加え、子育てと仕事の両立支援に対する職場の理解が必ずしも十分でない状況がうかがえる。企業の子育てと仕事の両立支援に対する理解の一層の促進が必要である。

一方、育児休業を取った後、職場に復帰した母親は7割を超え、希望の復帰時期を保育所の入所のタイミングに合わせるため、半年程度早めて復帰する母親が多くなっている。現在、教育・保育施設やサービスを利用していない理由として「利用したいが、幼稚園や保育所、認定こども園などに空きがない」が2番目に多かったことから、希望した時期に入所できるよう就学前の教育・保育施設やサービスの充実に努めることが必要である。

また、母親の就労が継続し、現在就学前児童が就学期を迎えた場合、学童保育に対するニーズへの高まりも予想される。就学前児童の結果から就学後の放課後の過ごし方の希望をみると、低学年時は「自宅」「習い事」に次いで3番目に「学童保育」が多くなっている。また、小学生調査の結果では、現在学童保育を利用している家庭の希望する放課後の過ごし方として「学童保育を利用したい」が7割を占め、平成25(2013)年度調査の6割から上昇している。小学生の母親の就労率の上昇傾向を踏まえると、学童保育に対するニーズの一層の高まりが見込まれる。就学前から就学期に至る切れ目のない保育の提供体制の充実に必要である。

4. 幼児教育の無償化などを背景とする潜在的なニーズに対応した教育・保育提供体制の充実

育児休業を取得する母親は、復帰時期を早めて教育・保育事業を利用したい意向がある一方、就学前児童の保護者の4人に1人が就学前の希望する子育てについて「自宅で子育てをした後、私立幼稚園に通わせたい」と回答している。また、「自宅で子育て後、子育て支援施設に通わせたい」と回答した人の52.6%が、3歳までは自宅で子育てをすることを望んでいる。このような意向は夫婦の一方が家事に専念している家庭で多くなっている。

就学前児童調査の結果では、平日に定期的に利用したい施設やサービスとして、「認定こども園」と「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」など比較的長時間預けることができる教育施設への利用希望が「認可保育所」より多くなっている。

保育所の入所しにくさをカバーできるようこれらの施設の充実に努めることが必要である。また、「認定こども園」は0～2歳児の保護者のニーズが高いが、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」は3歳以上の児童の保護者のニーズが特に高く、利用を見込む上では、幼児教育の無償化の導入による潜在ニーズの増大を考慮する必要がある。

5. 地域での子育て支援サービスの充実

子育てと仕事を両立させる上での課題は、就学前調査及び小学生調査の結果では、就

学前児童、小学生とも、「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」が最も多く、平成25(2013)年度調査の結果から回答傾向にはほとんど変化はない。

就学前児童で平日に定期的に幼稚園や保育所、認定こども園などを利用している子どもが病気やけがなどをしたことがあった家庭では、父親や母親が休んで対応する場合は8割を超え、そのうち4人に1人は病児・病後児保育施設を利用したかったと回答している。特に0歳児のニーズが高くなっているが、「病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」「病気の子どもは家族がみるべきである」という意見もあり、安心して子どもを預けられる施設を確保し、子育てと仕事の両立ができる支援の充実が必要である。

保護者の通院や不定期な仕事などを理由に子どもを不定期に預かるサービスの利用は、「幼稚園の預かり保育」が最も多く、これに次いで「一時預かり」となっている。また、保育所や子育て支援総合センターなどで実施している一時預かりの利用希望は4割となっている。働き方が多様化する中で、一時預かりに対するニーズも高まっており、提供体制の充実を図ることが必要である。

一方、定期的に教育・保育施設やサービスを利用せず、在宅で子どもを養育する家庭も少なくない。このような家庭の地域での子育て支援として、「地域子育て支援拠点事業」を実施している。この事業は0・1歳児では3～4割近くが利用し、現在利用している児童を含め今後の利用意向率は25%程度となっている。利用希望者が利用したいと思うサービスは「常設の子育て親子の交流の場の提供」(61.2%)、「子育てに関する相談・援助」(51.6%)、「地域の子育て関連情報の提供」(34.5%)などが多くなっており、交流機能や情報提供を充実させるなど、地域子育て支援拠点事業を利用しやすくし、在宅で子どもを養育する保護者の子育てに関する不安や悩みの軽減につなげる必要がある。

6. 相談・情報提供体制の充実

就学前児童調査では、ふだんの相談先は、就学前児童・小学生とも「配偶者」「ご自身や配偶者の親、親せき、(同居している)家族」「友人や知人」が上位を占めている。

一方、茨木市における子育てに関する相談や情報提供、子育てサークルなどへの支援等に対し「満足度が低い」(「満足度が低い」と「満足度がやや低い」の各割合の計)は52.8%で半数を超えている。就学前児童調査の自由意見では「初めての土地で、一人でとても孤独だった。思うようにいかないとき、どこに相談したいのかわからず、わかってもうまく相談できなかった」や「親同士が知り合える場が欲しい」「市役所のHPに子育て広場、サロンの情報は掲載されているが、情報が少ないように感じる」などの意見がみられ、特に転入して間もない子育て家庭の相談体制やホームページなど市からの一方的な情報提供方法なども相談や情報提供に対する満足度を低くしている原因のひとつと考えらる。

そのため、相談したいとき、最初にどこに相談すればよいのか窓口の明確化を図ることのほか、効果的な情報提供と、身近な地域において妊娠・出産・子育ての切れ目のない相談や必要な支援を行うワンストップ拠点の整備・充実が必要である。

また、近所(お住まいの近く)で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人がいる保護者の割合は、就学前児童、小学生とも7割前後を占めている。このような人が身近にいたり、気軽に相談したりできる相手がいる人ほど、子育てを「楽しいと感じることの方が多い」と回答する割合が高くなっている。子育てのつらさを軽減するため

にも、地域で子育て家庭を見守り、支えることができるコミュニティづくりが必要である。

7. 男性の家庭生活への関わりの一層の促進

「子どもと接する時間が少ないこと」や「配偶者の協力が得られないこと」が子育てと仕事を両立させる上での課題の上位となっている。父親の平日の就学前の子どもと接する時間をみると、母親に比べかなり少なく、不十分であるとの評価が多くなっている。また、父親の家事に関わっている時間も短い。このような傾向は、平成25(2013)年度調査の結果からほとんど変わっていない。

男性が子育てなどにおいて「参加」というサポートではなく、「主たる」役割を担う存在となることが求められる。母親と同じように子育てに関わることを推し進めるため、男性の働き方の見直しとともに、男性を対象とした「男性の子育て支援プログラム」の充実が必要である。

8. 子どものネット依存等の防止対策

就学前児童調査及び小学生調査の結果では、平日のテレビ・ビデオ（ゲームを含む）の1日あたり平均視聴時間は、就学前児童、小学生とも「2時間以上」が最も多く、半数以上の子どもが1日に1時間半以上視聴している。また、小学生の子どもに自分専用のスマートフォンを持たせている家庭は18.1%で、その理由は「連絡を取るため」が14.9%で最も多くなっている。平日のインターネット・スマートフォンの1日あたりの平均利用時間をみると、就学前児童、小学生とも「30分以内」が最も多く、30分を超えて利用している子どもの割合は小学生に多い。

小学校低学年の段階から、学校においてインターネットの正しい使い方について教育を進め、ネット利用にあたってセルフコントロールができる能力を習得させることが必要である。